

平成24年度

岩手県農業研究センター 年報

平成25年10月



# 目 次

## I 農業研究センターの概要

1 組織機構・職員数	I - 1
2 会議、委員会、部会等の運営	I - 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	I - 2
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ 岩手県農業技術開発会議	
オ 試験研究推進アドバイザー	
(2) 機関評価委員会	I - 8
(3) 企画運営会議、全体会議	I - 8
(4) 委員会等の運営	I - 12
ア ほ場管理委員会	
イ 研究報告等企画編集委員会	
ウ 参観デー等企画運営委員会	
エ 特許審査委員会	
オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
カ 環境美化委員会	
キ 職員衛生委員会	
ク 原種等生産管理委員会	
ケ その他	
(5) その他会議	I - 15
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
エ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
オ 岩手県試験研究機関評価に係る公設試所長等会議	
カ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議	
キ 東北農業試験研究推進会議	
ク 東北地域研究・普及連絡会議	
ケ 県内で開催された関係学会	
コ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議	

## II 試験研究の推進

1 研究活動の概要	II - 1
2 トピックス	II - 2
(1) 特許・品種登録出願状況	II - 2
(2) 表彰等受賞状況	II - 2
(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進	II - 2
(4) その他	II - 4

<b>3 研究室・課の動き</b>	II-	6
(1) プロジェクト推進室	II-	6
(2) 企画管理部	II-	6
(3) 技術部	II-	7
(4) 環境部	II-	11
(5) 病害虫防除部	II-	12
(6) 畜産研究所	II-	12
(7) 県北農業研究所	II-	14
<b>4 平成24年度試験研究課題</b>	II-	15
(1) 細目課題分類	II-	15
(2) 試験研究課題一覧	II-	16
(3) 平成25年度試験研究を要望された課題とその措置一覧	II-	25
<b>5 共同研究等の推進</b>	II-	27
(1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業	II-	27
(2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	II-	27
(3) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	II-	27
(4) 研究成果最適展開支援事業	II-	29
(5) その他独法等からの委託	II-	29
(6) 民間委託試験	II-	29
(7) (公財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	II-	29
(8) 他の公設試との共同研究	II-	30
(9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	II-	30
(10) その他共同研究	II-	30
(11) 産学官連携	II-	31
<b>6 現地試験の実施</b>	II-	32
<b>III 試験研究の成果</b>		
<b>1 試験研究成果</b>	III-	1
(1) 平成24年度成果数	III-	1
(2) 平成24年度成果名一覧	III-	2
<b>2 追跡評価</b>	III-	5
(1) 評価視点	III-	5
(2) 追跡評価の調査方法	III-	5
<b>3 東北農業試験研究成果</b>	III-	6
(1) 研究成果数	III-	6
(2) 研究成果名	III-	6
<b>IV 試験研究成果の発表</b>		
<b>1 試験成績書等刊行物</b>	IV-	1
<b>2 研究レポート</b>	IV-	3
<b>3 岩手県農業研究センター研究報告</b>	IV-	5
<b>4 学会等研究報告</b>	IV-	6
(1) 学術論文	IV-	6
(2) 学会発表	IV-	9

<b>5 雑誌等掲載</b> .....	IV- 14
(1) 専門雑誌等 .....	IV- 14
(2) 月刊農業普及 .....	IV- 14
(3) 岩手の畜産 .....	IV- 14
(4) 岩手りんごタイムス .....	IV- 14
(5) その他の雑誌等 .....	IV- 15
<b>6 新聞等掲載</b> .....	IV- 17
<b>7 テレビ・ラジオ放送</b> .....	IV- 20
(1) テレビ .....	IV- 20
(2) ラジオ .....	IV- 20
<b>8 指導資料等掲載</b> .....	IV- 21
<b>9 図書資料収集・提供</b> .....	IV- 23
<b>10 ホームページ</b> .....	IV- 23

## V 指導・啓発活動

<b>1 技術伝達研修等への対応</b> .....	V- 1
<b>2 現地指導・研修会等への講師派遣</b> .....	V- 3
<b>3 視察者、見学者の受け入れ状況</b> .....	V- 13
<b>4 春季一般公開及び参観デー</b> .....	V- 13
<b>5 現地ふれあい農業研究センター</b> .....	V- 13
<b>6 一日子供農業研究員</b> .....	V- 13
<b>7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者</b> .....	V- 13
<b>8 研修生の受け入れ</b> .....	V- 14
(1) 海外研修 .....	V- 14
(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修) .....	V- 14
(3) 短期研修生 .....	V- 14
(4) 体験学習の受け入れ .....	V- 14
ア 小中学校の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
ウ インターンシップ等に対応したもの	
<b>9 協議会、委員会等委員</b> .....	V- 16

## VI 職員研修

<b>1 大学院派遣</b> .....	VI- 1
<b>2 海外派遣・研修</b> .....	VI- 1
<b>3 国内研修への派遣</b> .....	VI- 1
(1) 依頼研究員 .....	VI- 1
(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣) .....	VI- 1
(3) 農林水産関係研究リーダー研修 .....	VI- 2
(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修 .....	VI- 2
(5) 農林水産関係研究者研修 .....	VI- 2
(6) その他 .....	VI- 2
<b>4 所内研修等</b> .....	VI- 7
(1) 岩手県総務部人事課主催研修 .....	VI- 7
(2) 岩手県農林水産部主催研修 .....	VI- 8
(3) 所内研修 .....	VI- 9
<b>5 所内セミナー等</b> .....	VI- 10

## VII 試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種	VII-	1
(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	VII-	1
(2) その他原々種種子の生産	VII-	1
2 作物の原種の採種	VII-	2
(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	VII-	2
(2) その他原種種子の生産	VII-	2
3 種苗等の配布	VII-	3
(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	VII-	3
(2) その他種苗の配布	VII-	4
4 県有種雄牛の精液の供給	VII-	5
(1) 黒毛和種	VII-	5
(2) 日本短角種	VII-	5
5 種豚、種鶏等の配布	VII-	6
(1) 種豚の配布	VII-	6
(2) 銘柄鶏の配布	VII-	6
6 寄託放牧	VII-	6
(1) 牛	VII-	6
(2) 馬	VII-	6

## VIII 人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算	VIII-	1
2 建物、用地の面積及び飼養家畜数	VIII-	2
(1) 建物・用地の面積	VIII-	2
(2) 飼養家畜頭数	VIII-	2
3 種苗登録、特許等	VIII-	3
(1) 種苗登録	VIII-	3
(2) 特許、実用新案	VIII-	5
(3) 一般に公開しているプログラム等	VIII-	5
4 表彰	VIII-	6
5 職員名簿	VIII-	9

## IX 東日本大震災津波への対応

1 農業研究センター復旧・復興支援プロジェクトチームの活動	IX-	1
(1) 地域の復旧・復興対策会議等への対応	IX-	1
(2) 復旧支援業務の実施	IX-	1
(3) 復興支援業務の実施	IX-	1
2 放射性物質に係る農業技術対策調査検討チームの活動	IX-	1
3 復旧・復興支援の取組み紹介	IX-	1

X 沿革	X-	1
------	----	---

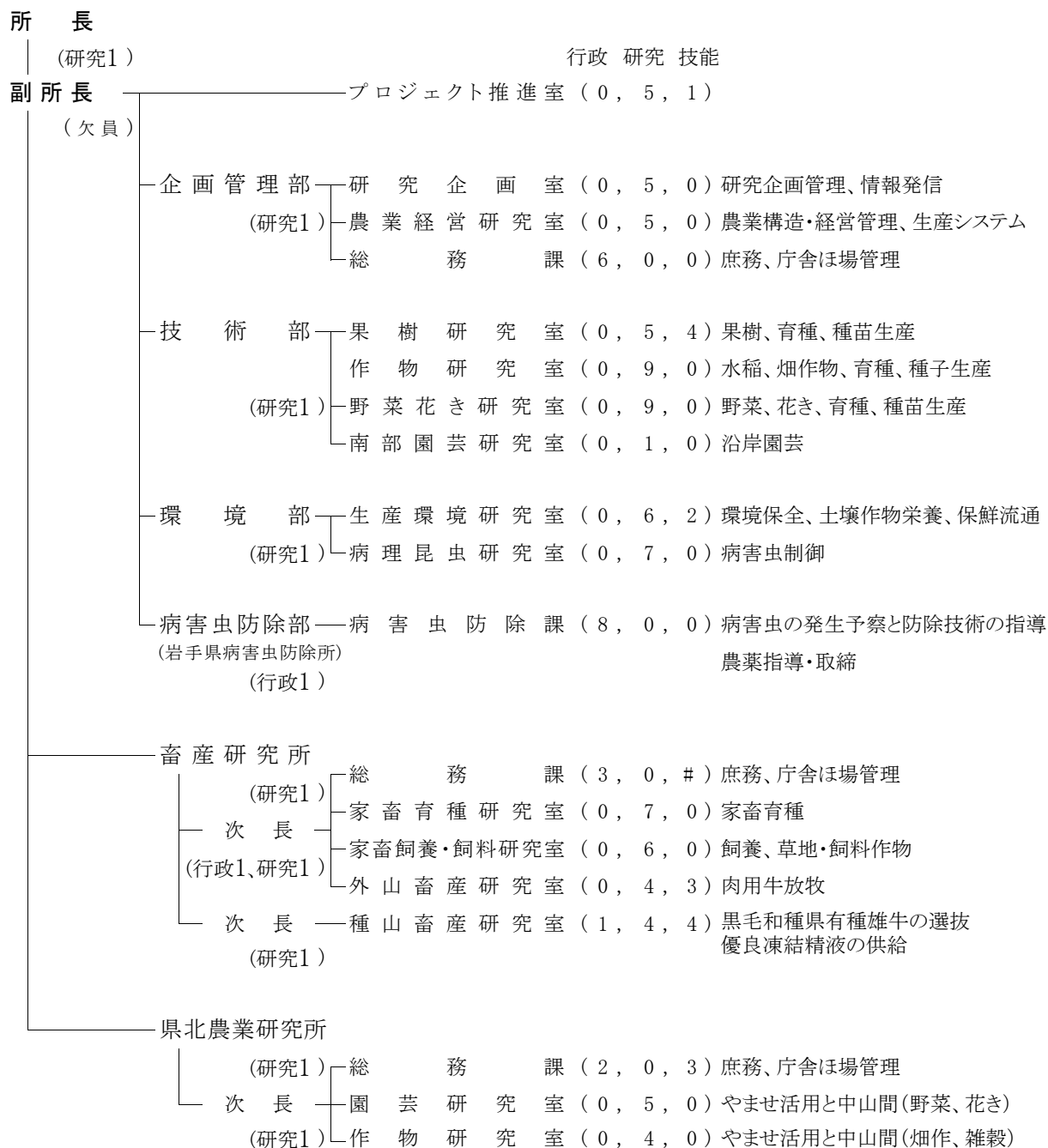
# 農業研究センターの概要





# I 農業研究センターの概要

## 1 組織機構・職員数



〈職員数〉

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	15	0	4	0	1	2	22
研究	57	1	15	4	5	11	93
技能	7	0	20	3	4	3	37
合計	79	1	39	7	10	16	152

※欠員の職員3名(副所長、本部環境部生産環境研究室員、県北研園芸研究室長)及び本部技術部作物研任期付研究員研究員1名を含む。

## 2 会議、委員会、部会等の運営

### (1) 農業試験研究推進会議等の開催

#### ア 新規試験研究課題の評価と選定

#### (ア) 第1回内部検討会議

##### a 開催日及び出席要請機関

部会名等		農産	園芸	畜産
開催日		H24.8.6(月)	H24.8.7(火)	H24.8.10(金)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	○	○
	農林水産企画室	○	○	○
	流通課	○	○	○
	農業振興課	○	—	—
	農業普及技術課	○	○	○
	農村計画課	○	—	—
	農村建設課	○	—	—
	農産園芸課	○	—	○
	畜産課	○	—	○
	中央家畜保健衛生所	—	—	○
	県北家畜保健衛生所	—	—	○
	県南家畜保健衛生所	—	—	○
	農業大学校	○	○	○
	中央農業改良普及センター(県域)	○	○	○
	中央農業改良普及センター(軽米)	—	—	○
	中央農業改良普及センター(地域)	○	—	—
	中央農業改良普及センター(遠野)	—	—	—
	中央農業改良普及センター(西和賀)	—	○	—
	盛岡農業改良普及センター	○	—	—
	八幡平農業改良普及センター	○	○	○
	奥州農業改良普及センター	○	○	—
	一関農業改良普及センター	○	—	○
	大船渡農業改良普及センター	—	—	—
	宮古農業改良普及センター	—	—	—
	宮古農業改良普及センター(岩泉)	—	—	—
	久慈農業改良普及センター	○	—	—
	二戸農業改良普及センター	—	—	—
	盛岡広域振興局農政部	—	—	○
	県南広域振興局農政部	—	—	○
	県南広域振興局花巻農林振興センター	—	—	—
	県南広域振興局遠野農林振興センター	—	—	—
	県南広域振興局一関農林振興センター	—	—	○
	沿岸広域振興局農林部	—	—	—
	沿岸広域振興局大船渡農林振興センター	—	—	—
沿岸広域振興局宮古農林振興センター	○	—	—	
県北広域振興局農政部	—	—	—	
県北広域振興局二戸農林振興センター	—	—	—	

##### b 協議事項

- (a) 平成25年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (b) 平成25年度新規試験研究課題(案)について
- (c) その他

(イ) 第1回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	農産	園芸			畜産
		(果樹)	(野菜)	(花き)	
開催日	H24.9.14(金)	—	H24.9.13(木)		H24.9.12(水)
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○		○
	東北農政局盛岡地域センター	—	—		—
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○		—
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○		—
	岩手県植物防疫協会	○	○		—
	岩手家農薬卸商業協同組合	○	○		—
	岩手県農業公社	—	—		○

注1) 園芸部会(果樹)は平成25年度新規試験研究課題の提案が無いため、開催せず

注2) 園芸部会、畜産部会には試験研究推進アドバイザーの他、生産者、生産組合に出席要請

b 協議事項等

(a) 平成25年度新規試験研究課題について

(b) 平成24年度試験研究成果(案)について

注1) 試験研究成果案は農産部会で1課題提案

(ウ) 第1回評価調整会議

a 開催日 平成24年10月1日(月) 13:00～

b 協議事項等

(a) 平成25年度実施要望課題の措置について

(b) 平成25年度新規試験研究課題(案)について

(c) 平成24年度試験研究成果(案)について

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

イ 試験研究成果の採択

(ア) 第2回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	農産	園芸			畜産
		(果樹)	(野菜)	(花き)	
開催日	H24.12.3(月)	H24.12.6(木)			H24.12.4(火)
参 集 範 囲	(公財)岩手生物工学研究センター	○	—	—	—
	流通課	○	○	—	—
	農業振興課	○	—	—	—
	農業普及技術課	○	○	—	○
	農村計画課	—	○	—	—
	農村建設課	—	—	—	—
	農産園芸課	○	○	—	—
	畜産課	—	—	—	○
	中央家畜保健衛生所	—	—	—	○
	県北家畜保健衛生所	—	—	—	○
	県南家畜保健衛生所	—	—	—	○
	農業大学校	○	○	—	○
	中央農業改良普及センター(県域)	—	○	—	○
	中央農業改良普及センター(軽米)	—	○	—	○
	中央農業改良普及センター(地域)	○	○	—	○
	中央農業改良普及センター(遠野)	—	—	—	○
	中央農業改良普及センター(西和賀)	—	—	—	—
	盛岡農業改良普及センター	○	○	—	○
	八幡平農業改良普及センター	○	○	—	○
	奥州農業改良普及センター	○	○	—	○
	一関農業改良普及センター	○	○	—	○
	大船渡農業改良普及センター	○	—	—	—
	宮古農業改良普及センター	○	—	—	○
	宮古農業改良普及センター(岩泉)	—	—	—	○
	久慈農業改良普及センター	○	○	—	—
	二戸農業改良普及センター	—	○	—	—
	盛岡広域振興局農政部	○	○	—	○
	県南広域振興局農政部	○	○	—	○
	県南広域振興局花巻農林振興センター	○	—	—	○
	県南広域振興局遠野農林振興センター	—	—	—	○
	県南広域振興局一関農林振興センター	○	—	—	○
	沿岸広域振興局農林部	—	—	—	○
	沿岸広域振興局大船渡農林振興センター	○	—	—	○
沿岸広域振興局宮古農林振興センター	○	—	—	○	
県北広域振興局農政部	○	○	—	○	
県北広域振興局二戸農林振興センター	○	—	—	○	

b 協議事項

(a) 平成24年度試験研究成果(案)について

(b) その他

(イ) 第2回外部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	農産	園芸			畜産	
		(果樹)	(野菜)	(花き)		
開催日	H25.1.9(水)	H25.1.8(火)	H25.1.10(木)	H25.1.10(木)	H25.1.11(金)	
参集範囲	試験研究推進アドバイザー	○	○	○	○	○
	東北農政局盛岡地域センター	○	—	—	—	—
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○	○	○	—
	岩手県農業共済組合連合会	○	—	—	—	○
	岩手県土地改良事業団体連合会	○	—	—	—	—
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	—	○	—
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○	—
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○	—
	岩手県農業公社	○	—	—	—	○
	岩手県農業機械協会	○	—	—	—	—
	岩手県果樹協会	—	—	—	—	—
	岩手県畜産協会	—	—	—	—	—
	家畜改良事業団盛岡種雄牛センター	—	—	—	—	○

注1) 農産部会、園芸部会(果樹)、畜産部会には試験研究推進アドバイザーの他、生産者、生産組合に出席要請

b 協議事項

- (a) 平成24年度試験研究成果(案)について
- (b) 研究トピックスの紹介について
- (c) その他

(ウ) 第2回評価調整会議

a 開催日 平成25年1月21日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a) 平成24年度試験研究成果(案)について
- (b) その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び出席要請機関

部会名等	プロジェクト推進室・技術部(作物研)	企画管理部	技術部		環境部	畜産研究所	県北農業研究所
			(果樹関係)	(野菜花き・南部園芸)			
開催日	H25.2.28(木)	H25.2.27(水)	H25.2.27(水)	H25.2.26(火)	H25.2.25(月)	H25.3.1(金)	H25.3.4(月)
(公財)岩手生物工学研究センター	○	—	○	○	○	—	—
農林水産企画室	○	—	—	—	—	—	—
流通課	○	—	○	○	○	○	○
農業振興課	○	○	—	—	—	—	—
農業普及技術課	○	○	○	○	○	○	○
農村計画課	○	—	—	—	—	—	—
農産園芸課	○	○	○	○	○	—	○
畜産課	—	—	—	—	—	○	—
盛岡広域振興局農政部	—	—	—	—	—	○	○
県南広域振興局農政部	—	—	—	—	—	○	—
〃 花巻農林振興センター	—	—	—	—	—	○	○
〃 遠野農林振興センター	—	—	—	—	—	○	—
〃 一関農林振興センター	—	—	—	—	—	○	—
沿岸広域振興局農林部	—	—	—	—	—	○	—
〃 大船渡農林振興センター	○	○	—	○	○	○	—
〃 宮古農林振興センター	—	○	—	—	—	○	—
県北広域振興局農政部	—	—	—	—	—	○	○
〃 二戸農林振興センター	—	—	—	—	—	○	○
中央家畜保健衛生所	—	—	—	—	—	○	—
県北家畜保健衛生所	—	—	—	—	—	○	—
県南家畜保健衛生所	—	—	—	—	—	○	—
農業大学校	—	—	—	—	—	○	—
中央農業改良普及センター(県域)	○	—	○	○	○	○	○
中央農業改良普及センター(地域)	○	—	○	○	○	○	—
盛岡農業改良普及センター	○	—	—	○	○	○	○
八幡平農業改良普及センター	○	—	—	○	○	○	○
奥州農業改良普及センター	○	—	○	○	○	○	—
一関農業改良普及センター	○	—	—	○	○	○	—
大船渡農業改良普及センター	○	○	—	○	○	—	—
宮古農業改良普及センター	—	○	—	—	—	○	—
久慈農業改良普及センター	—	—	—	—	—	—	○
二戸農業改良普及センター	—	—	—	—	—	—	○

参集範囲

b 協議事項

(a) 平成24年度試験研究課題の試験設計について

(b) その他

(イ) 第3回評価調整会議

a 開催日 平成25年3月14日(木) 13:00～

b 協議事項

(a) 年度評価・事後評価について

(b) 平成24年度新規試験研究課題について

(c) 試験研究推進計画の改訂について

(d) その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

## エ 岩手県農業技術開発会議

### (ア) 第1回

- a 開催日 平成25年2月13日(水) 15:30～
- b 報告・協議事項
- (a) 農業研究センターにおける技術開発について
  - (b) 沿岸被災地の農業復興に向けた試験研究の取組について
  - (c) 生物工学研究センターにおける技術開発について
- c 参集範囲
- (公財)岩手生物工学研究センター  
 農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター  
 農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

### オ 試験研究推進アドバイザー

所属部会	氏名	役職名	出席者	
			第1回	第2回
農産 (水稲)	新田 義修	岩手県立大学総合政策学部講師	○	○※1
	片山 勝之	東北農業研究センター 水田作研究領域(大仙研究拠点)・上席研究員	○	
	石母田 れい子	岩手県農業農村指導士	○	○
	高橋 信	岩手県農業農村指導士 (有)高橋農産・代表取締役	○	○
	岩崎 隆	岩手県青年農業士	○	○
農産 (畑作)	千葉 丈	全農岩手県本部営農対策部・次長	○	○
	小野 正一	岩手県農業農村指導士 (農)アグリパーク舞川・専務理事	○	○
	武田 純一	岩手大学農学部農学生命課程・教授		○
園芸 (果樹)	小森 貞男	岩手大学農学部農学生命課程・准教授		○
	阿部 和幸	果樹研究所リンゴ研究チーム・チーム長		○
	小岩 克宏	岩手県果樹協会・副会長岩手県農業農村指導士		○
	菅原 栄一	岩手県農業農村指導士		
	岩渕 壽子	岩手県農業農村指導士		○
園芸 (野菜)	由比 進	東北農業研究センター畑作園芸研究領域・上席研究員	○	
	門田 育生	東北農業研究センター環境保全型農業研究領域(福島研究拠点)・上席研究員	○	○
	三浦 正美	岩手県農業農村指導士	○	○
	橋本 正成	(株)銀河農園 代表取締役	○	○
	照井 勝也	全農岩手県本部園芸部・次長		○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	東北農業研究センター畑作園芸研究領域野菜・主任研究員	○	○
	高橋 俊一	(株)T&Gバイオナーサリー・代表取締役	○	○
	遠藤 満	八幡平市花き研究開発センター・主任技師	○	○
	南川 信一	岩手県農業農村指導士	○	○
畜産	押部 明徳	東北農業研究センター・畜産飼料作研究領域 領域長	○	○
	富手 研司	(社)岩手県畜産協会 総務部長	○	
	小田 伸一	岩手大学農学部動物科学課程・准教授	○	○
	小原 俊英	全農岩手県本部畜産酪農部・部長	○	
	及川 欣一	岩手県農業農村指導士	○	○
	千葉 一幸	岩手県農業農村指導士	○	○
	白戸 綾子	(独)家畜改良センター岩手牧場・場長	○	○
			22 名	23 名

※1 園芸(野菜)部会に関連成果の提案があったため、新田アドバイザーは園芸(野菜)に出席。

注1) 平成23年度に試験研究課題、試験研究成果の作成に関して、専門的かつ総合的な視点で助言を行う試験研究推進アドバイザーを新設

## (2) 機関評価委員会

- ア 開催日・場所 平成24年7月24日(火)
- イ 議題 (ア) 視察調査(軽米町内現地実証圃場、県北農業研究所圃場)  
 (イ) 意見交換(H23年度機関評価結果に対応した取組について)  
 (ウ) 委員講評
- ウ 機関評価委員  
 (ア) 外部評価(4人) 小田島 利昭 氏(全農県本部副本部長)  
 (五十音順) 小野 正一 氏(県農業農村指導士)  
 小野寺 純治 氏(岩手大学地域連携推進センター副センター長・教授)  
 今川 俊明 氏(東北農業研究センター企画管理部長)
- (イ) 所員 所長、各部長、各研究所長、事務局等

## (3) 企画運営会議、全体会議

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
24.4.6(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成24年度業務方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1)平成24年度当初予算について(6.1.11.,6.2.5 農業研究センター費) (2)特定課題検討チーム、連携プロジェクトチームについて (3)平成24年度競争的研究資金応募課題採否状況について(H24.4.5現在) (4)災害発生時における職員配備体制及び非常招集連絡系統図について (5)センター全体会議について (6)平成24年度広報計画について (7)各部長・研究所長から情報提供 (8) 4、5月の行事予定及び平成24年度年間行事計画について
24.4.13(金)	大会議室	(全体会議) ○ <b>第1部</b> センター本部職員(室課長、チーム長、転入者、新採用職員) (1)試験研究推進に係る諸規程等について (2)適正経理の実施について (3)情報セキュリティの徹底について (4)苦情処理マニュアルについて (5)その他 ○ <b>第2部</b> 所長、各部長・研究所長、センター本部全職員 (1)「農林水産技術立県いわて」技術開発基本方針について (2)農業研究センター研究推進計画について (3)平成24年度業務方針について ア 組織のプロフィール、基本方針、職員の資質向上 イ 各部・研究所の取り組み基本方針及び重点事項について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病害虫防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室 (4) 東日本大震災津波に係る取り組みについて (ア)「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」 (イ)「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」 (5) その他



開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
24.5.28(月)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1)試験研究課題の設定及び研究成果の評価等に関する取組について (2)①機関評価制度 2 連絡・報告事項 (1)平成24年度競争的研究資金課題の応募課題採否及び継続課題の契約状況について (2)報道機関への情報提供計画・実績(3月～7月) (3)各部長・研究所長からの情報提供等 (4)6月の行事予定
24.6.25(月)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1)機関評価(委員視察)の実施について (2)平成24年度向け競争的資金への応募課題について 2 連絡・報告事項 (1)試験研究会議(内部検討会)の開催について (2)平成24年度競争的研究資金課題の契約状況等について (3)経理事務のモニタリングについて (4)東北地域農業関係試験研究場所長会現地検討会の開催について (5)職員表彰の実施について (6)一日こども研究員の開催について (7)広報(らぼ・れたあ等)実績・計画(6～7月)について (8)各部長・研究所長からの情報提供 (9)7月の行事予定
24.7.23(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1)第1回内部検討会議について(研究評価者の指名を含む) 2 連絡・報告事項 (1)機関評価委員会(7/24開催)について (2)外部資金研究費の節別配分額について (3)各部長・研究所長からの情報提供等 (4)7, 8月の行事予定
24.10.1(月)	特別会議室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 (1)平成24年度追跡評価の実施について (2)平成25年度当初予算要求について 2 連絡・報告事項 (1)研究功労者表彰候補者の選定について (2)研究備品の更新需要調査の実施について (3)研究報告第12号の作成について (4)広報(らぼ・れたあ、プレスリリース等)実績・計画について (5)各部長・研究所長からの情報提供等 (6)10月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
24.10.29(月)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 農業研究センター研究報告第12号への掲載論文等の審査(採否)について 2 連絡・報告事項 (1) 平成25年度当初予算要求の概要について (2) 平成24年度外部研究資金に係る内部監査の実施について (3) 平成24年度第2回内部検討会議について (4) 平成25年度依頼研究員の派遣について (5) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (6) 11月の行事予定
24.12.27(月)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 試験研究成果(タイムリーな成果)について(生産環境研究室) (2) 試験研究を要望された課題へのフォローアップに係る調査の実施について (3) 「試験研究成果に由来するプログラム取扱要領」の見直しについて 2 連絡・報告事項 (1) 「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」について (2) 競争的資金等に対応した新規課題に関する手続きについて (3) 研究用備品更新計画について (4) 2月補正予算要求について (5) 外部研究資金に係る内部監査結果について (6) 職員意識調査の実施について (7) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (8) 12～1月の行事予定
25.1.21(月)	特別会議室	(第8回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 機関評価(内部)の進め方について (2) 農業技術開発会議(2/13)への対応について (3) 平成25年度向け競争的資金への応募課題について 2 連絡・報告事項 (1) 平成24年度外部資金委託研究に係る実績報告について (2) 第3回内部検討会議(設計)の開催について(日程等) (3) 試験研究推進計画の見直し(ローリング)について(日程等) (4) 平成24年度年報の作成について(日程等) (5) 平成25年度業務方針の作成につて(日程等) (6) 農林水産部長表彰候補者の推薦について (7) 岩手県農業農村指導士協会全体研修会(1/31)への対応について (8) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (9) 1～2月の行事予定
25.2.18(月)	特別会議室	(第9回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 機関評価(内部)①の結果について (2) 岩手県農業研究センター共同研究実施要領(案)等について 2 連絡・報告事項 (1) 試験研究推進計画の見直し(ローリング)について(進捗状況等) (2) 職員意識調査の結果について (3) 平成25年度依頼研究員の候補者の推薦について (4) 過去に回答した要望課題のフォローアップ状況調査結果 (5) 試験研究課題の進行管理について(年度評価・事後評価関係) (6) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (7) 2～3月の行事予定

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
25.3.14(木)	特別会議室	(第10回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成25年度業務方針(案)について 2 連絡・報告事項 (1) 機関評価(内部)②の結果について (2) 平成25年度試験研究課題実施に係る確認について (3) 平成25年度実施予定の外部資金研究課題について (4) 平成25年度依頼研究員の派遣について (5) 平成25年度農業研究センター全体会議の開催について (6) 各部長・研究所長からの情報提供 等 (7) 3～4月の行事予定

(4) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
24.4.12	水田関係	○水稲育苗管理にかかる打ち合わせ
24.4.17	水路清掃及び 圃場周辺環境整備	○水路清掃 ○圃場周辺の環境美化、ゴミ拾い作業
24.4.26	作業部会打合せ	○作業部会「ほ場使用及びほ場作業調整」の年間計画 ○平成24年度の岩手県農業公社への作業委託内容 ○圃場利用計画、E地区水稲育苗ハウスの利用計画 ○圃場用水の利用計画 ○E地区水稲育苗ハウス周辺の揚水ポンプの稼働
24.5.25	水田関係	○本田水管理にかかる打ち合わせ
24.5.29	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
24.6.26	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
24.7.26	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
24.8.28	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について ○水田関係打ち合わせ
24.9.4	水田関係圃場管理 打合せ	○秋作業の計画と調整
24.9.26	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
24.10.25	技術部圃場管理打合せ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
24.12.17	野鼠防除及び 圃場周辺環境整備	○野鼠防除 ○圃場周辺の環境美化、ゴミ拾い作業

イ 研究報告等企画編集委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
24.10.29	本部特別会議室	農業研究センター研究報告第12号への掲載論文等の審査(採否)について

(イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

ウ 参観デー等企画運営委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
(開催なし)		

## (イ)幹事会等

## (本部関係)

開催月日	場所	内 容
24.5.7	本部2階小会議室	(1) 平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 平成23年度の反省点について イ 平成24年度の参観デー開催計画について ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 参観デー開催期間における外部機関からの共催及び会場借用依頼について (3) 生物工学研究所一般公開について (4) その他
24.6.12	本部2階小会議室	(1) 平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 開催計画について(イベント内容について) イ 農業研究センター主催のセミナーについて ウ 今後のスケジュール(予定)について (2) 第67回岩手県全国農業機械実演展示会における農業技術・営農相談コーナーについて (3) 生物工学研究所一般公開について (4) その他
24.6.29	本部2階小会議室	(1) 平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 開催計画について(各部から提出されたイベント実施計画について) イ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究所一般公開について (3) その他
24.7.27	本部1階小会議室	(1) 平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 開催計画について(全体配置・イベント内容・人員配置について) (2) その他
24.8.30	本部2階小会議室	(1) 平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア マニュアルについて (2) その他
24.9.4	本部2階中会議室	平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー全体説明会 (1) 平成24年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 本部参観デーのイベントについて イ 準備作業等について (2) 生物工学研究所一般公開について (3) その他

## (畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
24.8.2	セミナー室	岩手県全国農業機械実演展示会に併せて開催 (1) 展示内容について (2) 準備、当日の対応者について

## (県北農業研究所関係)

開催月日	場所	内 容
24.5.24	ミーティング室	(1) 実行委員会の設置について (2) 準備状況について (3) 今後の進め方及びスケジュールについて
24.6.21	ミーティング室	(1) 実施計画の確認(確定)について (2) 準備役割分担について (3) 今後の準備作業について

エ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
24.4.12	(持ち回り協議)	(1)りんどう品種「いわてVLB-1号(いわて夢みつき)」の勤務発明審査について
24.5.11	本部所長室	(1)勤務発明「高設栽培用支持スタンド及び高設栽培装置」の審査について
24.5.16	(持ち回り協議)	(1)水稲品種「岩手91号」の勤務発明審査について (2)水稲品種「岩手酒98号(結の香)」の勤務発明審査について
25.2.18	本部2階特別会議室	(1)勤務発明「切断器具(リング摘果用器具)」の審査について

オ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
24.4.26	農業科学博物館	(1)「管理運営報告及び事業計画について

カ 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
24.4.23	2階小会議室	(1)平成23年度環境美化委員会活動実績について (2)平成24年度環境美化委員会活動計画について

キ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
24.6.28	特別会議室	(1)平成23年度事業実績について (2)平成24年度事業計画(案)について
24.12.11	特別会議室	(1)平成24年度定期健康診断の結果について (2)職場巡視点検結果について (3)事業実施状況について

ク 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
24.6.27		(1)生産計画 (2)圃場・施設の状況確認
24.7.19~20	平成24年度東北六県主要農作物原種・原々種生産に係わる情報交換会(秋田県)参加(1名)	(1)各県生産状況・意見交換 (2)現地視察
24.8.7 24.8.8 24.8.10	第1回外部審査	(1)水稲原種・原々種外部審査(出穂期)
24.9.4 24.9.5 24.9.10	第2回外部審査	(1)水稲原種・原々種外部審査(糊熟期)
25.2.7	第3回外部審査	(1)水稲および大豆原種・原々種外部審査(生産物)
25.2.22	第2回委員会	(1)24年度の実績について (2)25年度の計画について

ケ その他 (県北農業研究所関係)

雑穀栽培低コスト化研究会

開催月日	場所	内 容
24.5.30	大会議室	(1)研究会の設置について (2)大規模実証圃場の公開について (3)意見交換及び今後の進め方について
25.3.5	大会議室	(1)今年度の試験研究結果の報告 (2)意見交換 (3)次年度の取り組みについて

(5) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
24.6.22	茨城県つくば市 (農林水産技術会議事務局筑波事務所)	全国農業関係試験研究場所長会議 1 平成24年度全国農業関係試験研究場所長会議通常総会 2 平成24年度研究功労者表彰式

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
24.9.27 ～28	岩手県北上市 (農業研究センター)	1 議事 (1) 全国農業関係試験研究場所長会議アンケート調査について 2 情報交換 (1) 震災復興及び放射性物質対策への取組みについて (2) 現業職員の現状と課題について 3 施設等見学 (1) 農業研究センター研究ほ場等 (2) 農業科学博物館 (3) 公益財団法人岩手生物工学研究センター 4 現地調査 (1) JAIいわて花巻雑穀乾燥調製施設(花巻市) (2) 花巻市葡萄が丘農業研究所(花巻市) (3) (株)エーデルワイン(花巻市) (4) (株)銀河農園(紫波町)

ウ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
24.6.19	東京都文京区 (全国家電会館)	1 協議 (1)平成23年度事業報告及び収支決算について (2)平成24年度事業計画及び収支予算について (3)平成24年度会費の額及び徴収方法について 2 畜産研究功労者表彰 3 意見交換会「福島第一原発事故 その後の影響と対応」

エ 全国畜産関係場所長会議北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
24.9.19～20	北海道 上川郡新得町 (道総研畜産試験場)	1 重点研究課題・連携(共同)研究について 2 国・独立行政法人に対する要望、意見について 3 畜産研究功労者表彰・優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について 4 全国畜産関係場所長会議のあり方について 5 意見交換会の内容についての企画案について 6 畜産関係公設試における人員削減の対応策について

オ 岩手県試験研究機関評価に係る公設試所長等会議

開催月日	場 所	内 容
開催なし		

カ 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針検討会議

開催月日	場 所	内 容
24.9.18	盛岡市 (エスポワールいわて)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 作成に係る基本方針の周知等
24.11.12~13	北上市 (農業研究センター)	分科会(農業普及技術課主催): 防除機指針の原案及び要望事項の検討
24.12.20~21	北上市 (農業研究センター)	平成25年度県防除指針の改正内容について(病害虫防除所主催): チェック結果の妥当性の検討
25.2.8	盛岡市 (エスポワールいわて)	防除指針作成会議(農業普及技術課主催): 防除指針(案)の決定

キ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
<b>【稲推進部会】</b>		23年度までの作物推進部会が「稲推進部会」と「畑作物推進部会」に再編
24.8.30~31	岩手県 (農業研究センター) (現地視察) 花巻市西宮野目(実用 技術開発事業現地実証 圃) 紫波町宮手(「岩手酒98 号」生産状況)	<b>○東北地域水稲品種立毛検討会</b> 1 水稲育成系統等の試験実施状況の視察及び立毛観察調査
24.9.4~5	秋田県鹿角市 (鹿角パークホテル)	<b>○直播研究会</b> 1 現地調査 ・カルパーコーティング湛水直播(淡雪こまち、べこごのみ) ・無代かき直播(淡雪こまち) 2 検討会議 1) 東北地域の直播栽培の現状について 2) 各県における水稲直播栽培等の導入状況と推進方向 3) 水稲直播栽培の試験研究及び技術に関する情報提供 ・「無代かき湛水直播技術の開発」 ・「鉄jコーティング種子による湛水直播技術の現状と今後の課題」 ・「グレーンドリル利用による乾田直播技術の現状と今後の課題」
25.1.31~2.1	盛岡市 (東北農業研究セン ター)	<b>○東北地域水稲品種・系統検討会</b> 1 研究成果情報(稲育種)の検討 2 品種の作付け動向と要望される品種 3 奨励品種決定調査関係の検討 4 新配布系統の紹介 5 育種関係情報交換 <b>○稲栽培研究会</b> 1 検討課題「震災復旧農地における稲作の現状と課題および温暖化に対応した 高品質・良食味米生産技術」 2 研究成果情報候補課題の検討 <b>○直播研究会</b> 1 検討課題「直播栽培の技術的課題や試験成績についての話題提供」 <b>稲推進部会 本会議</b> 1 現場段階での重要な技術的課題の検討 2 次年度重点検討事項 3 共同研究課題の提案 4 重点検討事項「米の商品性を高める技術開発の現状と課題」「稲作における今 後の技術開発の方向」 5 検討会・研究会報告 6 その他



開催月日	場 所	内 容
<b>【畑作物推進部会】</b>		
23年度までの作物推進部会が「稲推進部会」と「畑作物推進部会」に再編		
24.8.23～24	青森県産業技術センター農林総合研究所  (現地視察)青森県青森市、五所川原市	<b>○畑作物栽培研究会(夏期)</b> 1 畑作物研究会:「今度こそ大豆収量の限界突破！」 2 各県の畑作物生育概況報告
24.8.31	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>○東北地域表・なたね品種・検討検討会</b> 1 麦・なたねの有望品種・系統及び新配布系統の成績検討
25.1.31～2.1	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>○畑作物栽培研究会</b> 1 検討課題「8月中旬以降の高温乾燥条件がダイズ収量・品質に与えた影響と対策技術」 2 研究成果情報候補課題の検討 <b>○畑作物品種検討会</b> 1 夏畑作物品種系統の検討 2 特産作物(ハトムギ・ソバ・雑穀等)有望品種・系統の検討 <b>畑作物推進部会 本会議</b> 1 現場段階での重要な技術的課題の検討 2 次年度重点検討事項 3 共同研究課題の提案 4 重点検討事項「東北農業に係る今後の技術開発の方向」 5 検討会・研究会報告 6 その他
<b>【農業生産基盤推進部会】</b>		
24.7.27	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>○東北地域農業経営研究会(夏期)</b> 1 震災後の農業・農村復興の取り組み状況とその担い手像
24.8.30～31	仙台市 (宮城大学食産業学部) 名取市 (宮城県農業・園芸総合研究所)	<b>○作業技術研究会(夏期)</b> 1 シンポジウム「被災地の復旧状況と復興に向けた取組と課題」 2 現地見学会(被災地視察等) 3 検討会(夏期研究会テーマに係る各県の現状と課題等)
25.1.31～2.1	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>○作業技術研究会</b> 1 重点検討事項(研究会)「東北の施設農業における再生可能エネルギー利用の技術的課題と研究方向」 2 重点検討事項(部会対応)「作業技術分野において東北農研および東北各県が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方策」の検討 3 研究成果情報の検討・確認 4 「農業新技術20XX」及び「1.5年プロ」候補課題の検討 5 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討 6 平成25年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換
25.2.5～6	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>○農業経営研究会</b> 1 研究成果情報候補の検討 2 「農業新技術2013」および「1.5年プロ」候補の選定 3 重点検討事項「農業経営分野において東北農研および東北各県試験研究機関が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方策」の検討 4 今後想定される産学官連携研究候補課題の検討 5 現段階での重要な技術的課題 6 ケースメソッドの紹介と研修会 7 新規研究課題の検討 8 夏期研究会の次年度開催計画の検討
25.2.6	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>農業生産基盤推進部会 本会議</b> 1 研究会報告 2 平成24年度主要研究成果の検討 3 農業新技術20XX候補及び1.5年プロ候補の選定 4 重点検討事項:農業経営、作業技術、流通加工分野において東北農研及び各県試験研究期間が重点的に取り組むべき研究・技術開発について 5 現場段階での重要な技術的課題への取り組み 6 その他

開催月日	場 所	内 容
<b>【生産環境推進部会】</b>		
24.7.5～6	青森県青森市 (アラスカ会館)	○ <b>土壌肥料研究会(夏期)</b> 1 土壌中のリン酸・カリ過剰蓄積に対応した試験研究の現状と課題 2 東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題
24.8.22	盛岡市 (アイーナ)	○ <b>病害虫研究会</b> 1 薬剤抵抗性に関する情報交換 2 農薬の効率的・効果的な使用に関する情報交換 3 近年の病害虫発生変動についての報告と対応策
25.1.29～30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○ <b>土壌肥料研究会</b> 1 研究成果情報の検討 2 特別講演「東北大学大学院農学研究課の震災復興支援の取組み」 3 東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題
25.1.29～30	盛岡市 (マリオス)	○ <b>病害虫研究会 病害分科会</b> 1 研究成果情報の検討 2 平成24年度試験研究成績の検討
		○ <b>病害虫研究会 虫害分科会</b> 1 研究成果情報の検討 2 平成24年度試験研究成績の検討
25.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	○ <b>農業気象研究会</b> 1 研究成果情報の検討 2 重要検討事項「メッシュ農業気象データの入手と活用法」の検討
25.1.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>生産環境推進部会 本会議</b> 1 研究成果情報の検討 2 生産環境分野における今後の技術開発の方向 3 東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題 4 現場段階での重要な技術的課題 5 各県からの情勢報告
<b>【畜産飼料作推進部会】</b>		
24.8.29～30	秋田市 (パーティーギャラリーイヤタカ)	1 分科会 大家畜:①放射能汚染の大家畜生産への影響の事例紹介 ②東日本大震災後に取り組む新規課題 中小家畜:①中小家畜の育種におけるゲノム解析の手法 ②飼料米を活用した中小家畜飼育技術の検討
	(秋田県立大学)	2 全体会議 共同連携方策、競争的資金および共同研究課題について 3 シンポジウム グローバリゼーションと東北畜産の発展戦略
25.1.30～31	盛岡市 (アイーナ会議室)	<b>畜産飼料作推進部会 本会議</b> 1 重点検討事項 (1) 飼料価格高騰対策に有効な自給飼料生産技術 (2)東北農研および東北各県試験研究機関が重点的に取り組むべき技術開発とその推進方策 2 現場段階での重要な技術的課題への取り組み 3 主要成果の紹介及び農業新技術200x候補の選定 4 平成25年度「主要新規試験研究計画」の検討
25.1.31	盛岡市 (アイーナ会議室)	○ <b>牧草飼料作物優良品種選定ネットワーク推進会議</b> 1 飼料用トウモロコシ品種の選定試験 2 優良品種選定試験 3 その他

開催月日	場 所	内 容
<b>【野菜花き推進部会】</b>		
24.7.19～20	盛岡市 (アイーナ)	○野菜研究会(夏期) 1 野菜の大規模経営における技術的課題
24.10.19～20	宮城県名取市	○花き研究会(夏期) 1 東北地域における花き生産の深化に向けた育種と技術
25.2.5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○野菜花き合同研究会 1 重点検討事項「施設環境制御の新技術」
25.2.4～5	盛岡市 (東北農業研究センター)	○野菜研究会、花き研究会 1 研究成果情報候補の検討
25.2.5	盛岡市 (東北農業研究センター)	<b>野菜花き推進部会 本会議</b> 1 試験研究の検討・評価 2 重点検討事項「施設環境制御の新技術」の検討 3 研究成果情報候補課題の採択 4 現場段階での重要な技術的課題の検討
<b>【果樹推進部会】</b>		
24.8.23	青森県平川市	○果樹研究会(夏期) 1 リンゴ減農薬栽培に関する取り組みの現状と今後の課題
25.1.28～29	盛岡市 (労働福祉会館)	1 現場段階での重要な技術的課題への取り組み 2 東北農業に係る今後の技術開発方向 3 重点検討事項:気象温暖化を踏まえた東北地域におけるリンゴ等果樹生産に係わる技術的課題と研究推進方向 4 重点検討事項:果樹における放射性物質の現状と対策 5 平成24年度成果情報 6 主要新規課題の計画概要 7 今後の会議運営
25.2.7～8	盛岡市 (サンセール盛岡)	<b>果樹推進部会 本会議</b> ○全体会議 リンゴの新需要創出 料理素材としての可能性を探る ○分科会 栽培]果実貯蔵における1-MCP利用の現状と対策 病害]リンゴ紋羽病防除研究の現状と課題 虫害]寒冷地果樹を加害する枝幹害虫の発生と防除対策 土壌・肥料]寒冷地果樹治定肥料分野における問題点と研究方向
<b>【戦略会議】</b>		
24.10.19	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 東北農業に係る今後の技術開発の方向 2 競争的資金、共同研究課題等 3 共同連携方策 4 その他
<b>【本会議】</b>		
25.2.21	盛岡市 (東北農業研究センター)	1 東北農研に求められる研究・技術開発 2 各県公設試験研究機関に求められる研究・技術開発 3 研究・技術開発の取り組みと連携方法などについての意見交換

#### ク 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
24.10.26	名取市 (宮城県農業・園芸総合研究所)	参加者:所長 1 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補等の選定について 2 「農業新技術2013」候補の選定について 3 「東北農業新技術実用化促進プロジェクト(1.5年プロ)」実証技術の選定について 4 意見交換(先端技術展開事業の成果の普及及びその課題等) 5 その他

ケ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
(開催なし)		

コ 北東北3県農業試験研究センター企画室長等会議

開催月日	場 所	内 容
24.11.7	秋田市 (秋田地方総合庁舎)	1 研究職員交流の取組みについて 2 北東北3県の試験研究連携課題について 3 情報交換(新規課題設定方法、研究予算の確保等)

# 試験研究の推進



## II 試験研究の推進

### 1 研究活動の概要

岩手県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（以下「技術開発基本方針」という。）を策定した（平成 22 年 3 月）。

技術開発基本方針に基づき、農業研究センターでは平成 26 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定した（平成 22 年 3 月、平成 24 年 3 月研究期間を 30 年度まで延長し改訂）。

技術開発基本方針の 6 つの農業技術開発の方向に即し、19 分野 56 の取組により、安全・安心で高品質な農畜産物を効率的・安定的に生産するための高度な技術の開発を進め、「農林水産技術立県いわて」の確立に取り組んでいる。

本年度は 19 分野のうち作物バイオテクノロジー分野を廃止し、震災復興分野を追加する変更を行った（分野数は増減なし）。

平成 24 年度の試験研究にあたっては、以下の 3 つの基本方針に沿って、新規 17、継続 114、合計 131（小課題数ベースで、分野を重複する小課題はカウントしている）の研究課題に取り組んだ。

- 1 顧客の視点に立った試験研究等業務の着実な推進  
〔・所得向上につながる普及性の高い技術開発  
・産地づくりをリードする革新的な技術開発など〕
- 2 プロジェクト研究の推進によるスピーディーな課題解決  
〔・課題設定から普及定着まで、研究、行政、普及、地域が一体的に推進  
・連携軸強化による効率的・効果的かつ戦略的な技術開発〕
- 3 情報発信の強化による県民への業務の「見える化」の推進  
〔・知的財産の実用化促進  
・研究成果活用・PR 強化〕

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波被害等への対応として設置した「震災復旧・復興支援プロジェクトチーム」及び「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」では、津波被災地での営農再開支援や放射性物質による汚染実態の把握と対策技術マニュアルの策定に継続して取り組んだ。放射性物質については、特に牧草や大豆での吸収を低減する技術開発を行った。

県独自予算の研究に加え、競争的資金等の活用や産学官連携による共同研究を推進し、農産部門で 27 課題（うち新規 7 課題）、畜産部門で 6 課題（うち新規 1 課題）、合計 33 課題の共同研究に取り組んだ。中でも、農林水産省の新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業（地域連携強化型研究、以下「実用技術開発事業」という。）で採択された「北東北地域向け非主食用多用途稲の直播品種及び直播栽培等関連技術の開発（H22～24）」は初めて代表機関として取り組んだ課題で、最終年度のまとめとして研究成果発表会を青森市及び盛岡市で開催し、成果の普及と成果に対する顧客満足度を把握した。

産学官連携では、水稻、小麦及び大豆で実需者や加工業者等との情報交換会を開催するとともに、いわて産学官連携フォーラム等に出展して研究成果を積極的に PR し、新たなニーズの掘り起こしを行った。

知的財産では企業と取り組んだ「樹皮繊維培土」が特許を取得し、種苗では水稻 2 品種（「結の香（岩手酒 98 号）」、「岩手 91 号」）及びりんどう 1 品種（「いわて夢みつき（いわて VLB-1 号）」）を登録出願した。

新たな農作物品種として、糯アワ品種「アワ岩手糯 3 号」を育成し、また、新たな黒毛和種基幹種雄牛として「花安勝」及び「平花丸」を作出した。

本年度の試験研究から得られた成果は、内部及び外部（試験研究推進アドバイザー・生産者等）の評価を経て、51 の研究成果（普及区分 9、指導区分 24、行政区分 17、研究区分 1）にとりまとめ公表した。

平成 24 年度に設置した機関評価委員会を、7 月 24 日県北農業研究所を会場として開催し、昨年度の評価意見に対応した本年度の取組状況や試験研究の進捗状況等を報告するとともに、試験研究全般に関し意見交換を行った。

## 2 トピックス

### (1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願・登録内容	担当
特許	樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土 【特許 5013558 号(2012/6/15)】	技術部 南部園芸研究室
種苗 登録	水稲 結の香 【出願番号 27277、出願公表 2012/11/08】 ・国内最高の酒米「山田錦」以上の醸造適性を有する大吟醸酒 向け酒造好適米品種	技術部 作物研究室
	水稲 岩手 91 号 【出願番号 27998、登録出願 2013/3/15】 ・冷凍米飯用途や米加工品に適する県中北部向け低アミロ ース米品種	技術部 作物研究室
	りんご 大夢(岩手 5 号) 【登録番号 22369、登録 2013/3/6】 ・ 11 月上旬に成熟する大玉で多汁のりんご	技術部 果樹研究室
	ぶどう エーデルロツ 【登録番号 22547、登録 2013/3/25】 ・耐寒性が強く食味良好な赤色・大粒種ぶどう	技術部 果樹研究室
	りんどう いわて夢みつき(いわて VLB-1 号) 【出願番号 27278、出願公表 2012/11/8】 ・ 10 月上旬開花の切り花向け青色リンドウ F <sub>1</sub> 品種	技術部 野菜花き研究室

### (2) 表彰等受賞状況

#### ア 平成 24 年度事績顕著表彰(機関表彰)

畜産研究所種山畜産研究室が、黒毛和種優良種雄牛の造成とその普及推進により、著しい業績をあげたとして、事績顕著表彰を受けた(平成 24 年 10 月 31 日)。

種山畜産研究室では、肉牛の能力の指標となる育種価、受精卵移植及び DNA 解析といった改良手法を、近年特に積極的に活用することによって、全国トップクラスの種雄牛(菊福秀、来待招福、菊安舞鶴など)を相次いで造成したこと、さらに家畜市場等で農家の繁殖雌牛の能力を最大限に引き出す県有種雄牛の交配法などをより分かり易く情報提供してきたことによって県有種雄牛精液の県内流通シェアを引き上げたこと等が評価されたもの。

### (3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進

#### ア 特定課題検討チーム\*

なし

(\*多岐にわたる課題あるいは今後重要と見込まれる事項について研究的観点から検討するチーム)

#### イ 連携プロジェクト\*\*

(\*\*多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
個別 課題 解決	リンドウこぶ症連携 プロジェクト [H21~]	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(公財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター
	水稲種子病害対策 連携プロジェクト [H24~]	◎水稲細菌病類を主体とした種子伝染性病害防除対策に係る試験研究並びに指導機関と連携した技術対応	環境部 技術部	・病害虫防除所 ・中央農業改良普及センター



(イ)取組概要

名称	検討内容	検討結果
リンドウ こぶ症	こぶ症の発生原因を解明するため、関連ウイルスの病原性について研究を進めている生工研との連携を図るため、連携プロジェクトを継続。主な検討は生工研主催の部門別連携会議(病害部門)の中で実施し、研究の進捗状況等について情報共有を図った。 ○H24.7.2 リンドウで GKaV がこぶ症の原因である可能性が極めて濃厚であることが生工研の試験結果から明らかとなったことから、今後の対応について協議した。	○今後は生工研の取り組みと併行して、GKaV の伝搬経路を特定することが最終的な防除対策を構築する上でも急務であると判断し、GKaV 伝搬経路の特定のための新規課題を立ち上げることとし(具体的には、①媒介生物、保毒雑草、保毒微生物の探索と、②花粉・種子伝染の確認試験)、本年度から予備試験に着手することとした。
水稻種子 病害対策	○第1回チーム会議(H24.8.11) チームの立ち上げ並びに今後の活動計画の検討	次年度対策に向けた取り組みとして、①多発要因解析(耕種面・薬剤面)からみた管理上のポイント整理(担当:病虫害防除所)、②採種圃管理上の問題点整理と改善策の検討(担当:中央普及県域担当)、③一般種子のモニタリング調査(担当:病虫害防除所、病理昆虫研)、④薬剤耐性菌検定(担当:病理昆虫研農研)を実施することとした。
	○第2回チーム会議(H24.11.19) 活動の進捗状況の確認	1 育苗センター及び普及センターに対するアンケート調査結果から多発要因を解析。温度管理以外では循環式催芽機の使用が汚染拡大に繋がった恐れあり。 2 次年度春作業で使用するチェックシートについて、採種圃担当者意見交換会の場で既に配布済み。チェックシート活用は各普及員に任せるとともに、確実に使用してもらうために、植防実績検討会、稲作技術対策会議及び採種圃設置会議でも活用する方向で検討することとした。 3 H24 採種圃産種子のモニタリング調査は、對馬氏の培地について CCNT 培地やマツダ培地と検出精度を比較検証し、より迅速な判定が可能な培地を検討する。 4 病理昆虫研究室で実施中の発病苗調査の進捗状況を共有。 5 H24 産原種については、通常より強く選別をかけるなどの対策を講じている。
	○第3回チーム会議(H25.1.29) 活動実績の検討	次年度細菌病対策に向けた各役割分担に基づく取り組み実績(途中経過も含む)を共有するとともに、喫緊の2月1日に開催予定の水稻種子伝染性病害対策会議に向けた現場レベルでの意識統一を図った。また、原種・原原種の生産過程における細菌病対策として今後新たに取り組める内容がないか検討した。

## ウ 震災復旧・復興支援プロジェクトチーム

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大地震津波で甚大な被害を被った沿岸地域の農業の復旧・復興に向けた具体的な技術支援対策を実施するため設置した本プロジェクトチームの活動として、異なる塩分濃度設定下での水稲生育反応を検討し、除塩後に水稲を作付する際の土壌中の塩類濃度は、生育や生理障害の発生程度等から EC0.6dS/m 以下が適切であることを明らかにした。また、本件は土壌肥料学会東北支部会において報告する予定である。

また、イチゴの閉鎖型高設栽培システムを被災地の園芸復興モデルの一環として新たに陸前高田市および大槌町に導入拡大し現地普及支援組織とともに指導にあたった。

地域の農業復興に向けた技術研究ニーズのアンケート調査を行ない、平成 25 年度からの現地実証研究を立案した。

## エ 放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム

東京電力福島第一原子力発電所事故の事故による放射性物質への対策を講じるため、農業研究センターと中央農業改良普及センターで「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」を設置し(平成 23 年 9 月)、環境部長をチーム長として、県産農産物のモニタリング調査や放射性セシウムの吸収抑制対策に取り組んだ。

24 年度の取組みの成果としては、大豆の生産性向上のための低コスト施肥改善対策として、「大豆の安定生産のための土壌 pH 改良効果」を提示するとともに、大豆のセシウム吸収抑制対策として「カリ施用による大豆子実中の放射性セシウム低減効果」について非公表として関係各課に示し、成果の内容は、「放射性物質影響防止のための農作物生産管理マニュアル」の改訂に反映させた。

## (4) その他

### ア 東北地域農業関係試験研究場所長会の開催

持ち回りで開催している東北地域場所長会を本年は岩手県が当番となり、9 月 27 日(木)～28 日(金)の 2 日間開催した。東北各県の試験研究場所長及びアドバイザーとして(独)農業・食品産業技術総合研究機構東北農業研究センター企画管理部長センターほか 14 名が参加した。初日の会議では、全国農業関係試験研究場所長会からのアンケートへの東北地域としての回答内容や震災復興・放射性物質対策への取組みについて協議した。その後、農研センター研究ほ場、農業科学博物館及び公益財団法人岩手生物工学研究センターを見学した。二日目は、JA いわて花巻雑穀乾燥調製施設、花巻市葡萄が丘農業研究所、(株)エーデルワイン及び(株)銀河農園の現地調査を行った。



水稲育種ほ場見学  
(農研センター)



ぶどうの試食  
(花巻市葡萄が丘農業研究所)

## イ JICA(独立行政法人国際協力機構)からの協力依頼によるフィリピンへの農業支援

JICA は、当センターと(有)イグノス社が共同開発した、簡易土壌分析装置「スキャナライザー(T-C/T-N 版)」をフィリピンの農地土壌の地力改善に役立てるため、当センター職員をフィリピンに派遣。大友英嗣主任専門研究員は、フィリピンにおいて、スキャナライザーのセッティングと現地指導を行った。今後、スキャナライザーで土壌の炭素量を測定することにより、フィリピンでの堆肥の利用促進が期待される。

## ウ 「英国王立キュー植物園等主催の震災復興祈念イベント(4/3、英国:ロンドンにて開催)に本県在来雑穀種子を贈呈～震災支援に対する御礼」

東日本大震災に対して、英国から多大なるご支援と心温まる多数の激励、そして、速やかな救助活動を頂いたことに、深い感謝の意を表すとともに、被災地の一日も早い復興を願い、復興祈念イベントが4月3日、英国(ロンドン)において、英国王立キュー植物園、在英国日本大使館等主催により開催され、被災地から収集した県北農業研究所所有の在来雑穀4系統が英国王立キュー植物園に贈呈された。

この寄贈する種子には、震災支援に対する英国や世界への感謝の気持ち、被災地の早期復興への願い、種子の保存を通じた大震災の記憶等の次世代への継承などの思いが込められ、イベント当日は、本県山田町織笠小学校の児童が現地を訪れ、お礼の気持ちを伝えた。

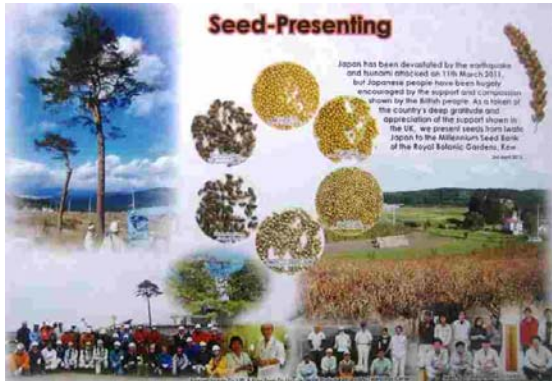


図1 現地の紹介パネル

(提供元：財団法人 都市緑化機構)



図2 県北農業研究所から寄贈した雑穀種子

### 3 研究室・課の動き

#### (1)プロジェクト推進室

水稻の湛水直播栽培安定多収技術の開発、及び水田転換畑における麦・大豆の安定多収を実現する新技術等の開発を行い、これらを軸に、土地利用型作物の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。

業務推進にあたっては、競争力・社会貢献力のある技術シーズの開発を目指し、現地実証試験やビジネスパートナーとのコミュニケーションの強化によって、生産現場に即した技術の実用化を図った。

##### <水稻直播栽培の安定多収技術の開発>

新たに開発した低コストで製作可能な作溝同時直播装置による非主食用米湛水直播栽培技術について、現地実証試験(八幡平市、花巻市、一関市)を行い、その実用性を明らかにした(研究成果:普及区分 水稻湛水作溝同時直播栽培における新たな低コスト作溝装置)。また、直播での非主食用米の生育予測技術を開発し、目標収量別の播種期間を設定した(普及区分 湛水土中直播栽培における「つぶみのり」、「つぶゆたか」の出穂期予測に基づく目標収量別の播種期間の設定)。

##### <有機栽培支援技術の開発>

水稻有機栽培を支援する技術(機械除草)の開発では、現地(一関市大東町)有機栽培圃場を中心に、「プラウによる反転耕」、「荒代かきと植代かきの間隔をあけた2回代かき」、「枕地ならし機構付き田植機」、「株間除草機」の組合せによって、一年生雑草、多年生雑草ともに高い除草効果が得られ、除草コストが有機慣行体系より抑えられることを明らかにした(研究成果:普及区分 水稻有機栽培における機械除草を中心とした除草体系)。

##### <水田大豆・小麦の多収、低コスト技術の開発>

水田転換畑における作物の生産性向上技術の開発を進めた。大豆については、小畦立て播種栽培に適應できる機械除草技術、麦類については、密条用小畦立て播種栽培に適應できる管理作業技術の開発を進めた。また、ディスク式中耕除草機を汎用利用した畦立て播種技術を開発した(研究成果:普及区分 ディスク式畑用中耕除草機を改良した麦・大豆用畦立て播種機)。

小麦及び大麦の密条小畦立て播種について現地実証試験(盛岡市玉山区、花巻市、金ケ崎町、奥州市江刺区)を実施し、好成績が得られた。

このほか、宮古農業改良普及センターからの要請による「津波被災復旧水田への大豆の小畦立て播種栽培実証」、釜石地域農業技術サポート会議からの要請による「ソバにおける湿害軽減播種技術の栽培実証」への技術提供等、沿岸被災地域への支援活動に取り組んだ。

#### (2)企画管理部

##### 研究企画室

農業試験研究のアクションプランである「農業研究センター試験研究推進計画」に基づき、研究員の円滑な試験研究の支援、生産者や県民に開かれた農業研究センターを目指し、以下の事項について重点的に取り組んだ。

##### <顧客視点の試験研究の推進>

顧客のニーズに対応した試験研究を推進するため、現地ふれあい農業研究センター(高設栽培イチゴ6月)、農業農村指導士との意見交換会(1月)及びセンター主催の成果発表会(非主食用米2月)等の開催に合わせアンケートを行い、顧客である農業者等のニーズを把握した。

試験研究推進計画については、平成24年度の研究実績を踏まえ、3月に30年度までの行程表を見直した。

試験研究推進の仕組みについては、研究課題の収集方法や研究成果の追跡評価方法を見直すとともに、平成23年度に制度化した試験研究推進アドバイザーを研究会議において活用し、顧客目線での助言を得た。

センター運営や試験研究推進に対する外部評価を得るため設置した機関評価委員会を県北農業研究所において7月24日に開催した。昨年度の評価意見への対応状況や県北農業研究所での試験研究の推進状況を報告し、試験研究に関し、質疑と意見交換を行った。

競争的研究資金等や次年度から開始される食料生産地域再生のための先端技術展開事業への応募のため、資金情報の提供や研究計画作成への助言を行うとともに、共同研究を推進するため、いわて産学官連携フォーラムへ出展し、研究シーズを大学・企業等へ紹介した。

#### <アウトカムを意識した研究成果の普及と情報発信>

研究センターの業務内容や研究成果の周知を図るため、マスコミへのプレスリリースやホームページにより積極的な情報発信を行なった。プレスリリースは年間36回(前年41回)行い、マスコミでの報道件数は83件(前年84件)であった。ホームページでは年間354万件(前年332万件)の閲覧数があり、また、研究活動の現在(いま)を分かり易く伝える「らぼ・れたあ」をメールやホームページにより年間77件(前年70件)発信した。さらに、Twitterによる情報発信では、ホームページの更新情報を中心にツイート数1,082回、フォロワー増加数310名であった。

センターを一般に開放する参観デーや一日子供農業研究員を開催するとともに、センターを県民に身近に感じてもらえるよう、小・中・高・大学生の職場体験学習やインターンシップの受け入れを行った。

参観デーにおいては「果樹用農薬飛散制御型防除機」に関する現地セミナーを独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センターと共同開催するとともに、農業における放射性物質対策技術研修会を開催した。また、震災被災地である陸前高田市でいちごの高設栽培技術を紹介する現地ふれあい農業研究センターを開催し、研究最終年度となった非主食用稲の直播技術等の研究成果に関する公開シンポジウムを青森市及び盛岡市で開催した。

#### <専門知識と技術を有する人材育成>

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定)に基づき、センター研究員研修計画を策定した。この研修計画にもとづき、依頼研究員(3人)及び北東北三県研究職員交流(6人)に研究員を派遣するとともに、新たに制度化した可能性(FS)調査に2件2名を派遣した。

予算管理面では、経理事務検討チームにより構築した「新たな予算の執行管理システム」を運用して、予算管理を行うとともに、「不正防止計画」に基づいたモニタリングと内部監査の実施により適正な経理事務を支援した。また、研究備品の更新計画をローリングした。

### 農業経営研究室

生産性の高い農業経営構造の確立に向け、①本県主要農産物の競争ポジショニングの提示、②主要な経営類型の経営管理方策の提示、③営農計画作成支援情報の提供、④本県農業構造の現状及び動向の提示を研究の柱として業務に取り組んできた。

- ① 本県主要農産物の競争ポジショニングの提示では、「なす」の需要動向について東京都中央卸売市場の統計分析により、岩手県は卸売数量の伸び率は高いが、市場シェアは低い状態にあることを明らかにした。また、本県のなすの産地拡大の方向として、年間労働力の確保が効果的な場合と栽培面積拡大が効果的な場合とそれぞれあることを示唆した。
- ② 主要な経営類型の経営管理方策の提示では、高規格ハウスによる大規模と専作経営の成立条件を示した。1ヘクタールあたりの売上が1億円以上の経営を成立させるためには、単収245~300t/haの収量を確保しながら、補助事業等の活用により初期投資を抑制すること、新技術導入により燃料費を抑制すること、直接取引等により流通経費を削減すること、独自ブランドの開発等により高単価を実現すること等が重要であることを示唆した。
- ③ 営農計画作成支援情報の提供では、岩手県農業技術体系については本庁関係各課等と連携しながら、新たに飼料用稲2品目(飼料用米、稲発酵粗飼料)を登録し計85品目を整備・拡充した。また、実用的な経営意志決定支援システムを提供するため、農業技術体系データ作成ブックとZ-BFM(営農計画策定支援システム:中央農研開発)とを連携させるツールを開発した。
- ④ 本県の農業構造の現状及び動向の提示では、2010農林業センサスによる野菜の経営体を軸に分析を行い、露地野菜については20~30a以上の階層で農家数が増加していること。施設野菜では専業農家が増加していることを示した。

### (3)技術部

#### 果樹研究室

果樹は、リンゴを主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。特に、早生から晩生までを網羅するオリジナルりんご品種の開発を掲げ、「つがる」に代わる早生品種と「ふじ」に匹敵する晩生種の開発を重点課題としている。また、温暖化によるリスクの解消、軽減を図るため、ツル割れや落葉遅延の原因解明を含め、凍霜害、裂果等のリスク対策の開発に努めると共に、果樹作業の軽労化につながる栽培技術の開発に向けた課題を実施している。

リンゴの品種開発では、平成22年までに中晩生種での新たなオリジナル品種1品種開発を目標に掲げ、りんごオリジナル品種の4番目となる「岩手5号」を品種登録申請(2012.12.28)した他、岩手系統の最終評価を進めている。

ブドウの品種開発では、平成22年に登録申請した耐寒性が強く食味良好な赤色品種「エーデルロツソ」の短梢栽培への適応性について引き続き検討しているほか、白色大粒品種「シャインマスカット」の栽培特性(短梢剪定栽培への適応性)につい

て検討を進めてきた。

以上の取り組みから、今年度は以下の3つの研究成果を公表した。

- (1) ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」が、第1、2節位の発芽率、花穂着生率が高いことから短梢仕立て栽培法に適していることを明らかにし、奨励品種として採用され、普及推進が図られることとなった。
- (2) りんご新規鮮度保持剤「1-MCP(スマートフレッシュ TM)」の利用する際は、収穫時にエチレン生成量が多い品種は収穫直後に4℃以下、24時間処理で鮮度保持効果が得られ、エチレン生成量の少ない品種は、収穫後4℃で貯蔵することで、収穫3日後の処理でも効果が期待できること等の留意点を明らかにした。
- (3) 県内で導入が進んでいるブルーベリーについて、多収、大玉、食味による品種特性を明らかにし、導入時の目安となる情報を明らかにした。

## 作物研究室

### <水稲育種チーム>

水稲の奨励品種決定調査および水稲品種開発に取り組んだ。

#### (水稲品種)

奨励品種決定調査では、本調査において粳7品種・系統、糯1系統を供試し、現地調査では粳を12か所、糯を2か所で検討した。本調査と予備調査結果を踏まえ、粳の早生で「ふ系233号」、「岩手106号」、中生で「越南239号」、「岩手107号」、晩生で「岩手108号」、「東北206号」、「つや姫」の2系統・1品種、糯で「ふ系糯229号」、「ふ系糯234号」を25年度の本調査に供試することとした(試験研究成果書(行-06)、(行-07)、(行-08))。

#### (水稲育種)

いわてブランド米品種開発推進事業(平成22年度まで「新しいわてオリジナル水稲品種開発事業」)に取り組んだ。生産力検定予備試験で21組合せ135系統を供試し、生育並びに収量調査および各種特性検定試験の結果に基づき、「岩手109号」(早生の中、直播適性の優れた非主食用多用途稲)、「岩手110号」(中生の中、「あきたこまち」よりやや優る良食味、収量は「あきたこまち」より多収)、「岩手111号」(晩生の中、「ひとめぼれ」並みの良食味、収量は「ひとめぼれ」より多収)の3系統を選抜した(行-08)。

育種の効率化を図るため、(公財)岩手生物工学研究センターと連携し、分子マーカーを用いた選抜に取り組んだ。特に、生工研を代表機関として共同で「イノベーション創出基礎的研究推進事業」に応募した課題「ひとめぼれゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成」が採択され、本年度から3年計画で「ひとめぼれ」突然変異系統群並びに組み替え近交系の遺伝資源を材料として「ひとめぼれ」に極良食味、高度いもち病抵抗性、初期伸長性、耐倒伏性を導入しDNAマーカー選抜法により「スーパーひとめぼれ」を育成することとなった。

平成22年度から(独)東北農業研究センターおよび(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所と共同で取り組んでいる「東北地域中北部向け多収品種の共同育成」は、23年度から農林水産省委託プロジェクトの「国産飼料(1系)コンソーシアム」の構成員として委託課題「11002c 多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成(東北地域中北部向けのいもち病抵抗性評価と多収性飼料用米系統の選抜)」において平成26年度まで取り組むこととしており、本年度の生産力検定試験の最高収量は粗玄米重で1,001kg/10aであった。

また、農林水産省の実用技術開発事業では岩手県農業研究センターが代表機関となり、(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所および(公財)岩手生物工学研究センターと共同で「北東北地域向け非主食用多用途稲の直播品種及び直播栽培等関連技術の開発」に平成22年度から取り組み、作物研究室は直播適性の高い多収品種の育成を目指した結果、直播で粗玄米重871kg/10aの「岩手109号」を育成し、事業を終了した(行-08)。

### <作物栽培・種子チーム>

水稲・畑作物(麦類・大豆)栽培試験、同作柄解析、同品種選定、主要農作物(水稲・小麦・大麦・大豆)原種・原々種生産に取り組んだ。

#### (水稲栽培)

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病虫害(病理昆虫研究室)・作柄(東北農政局)・品質情報(同)を総合的に解析し、当年及び次年度以降の技術対策指導に供した(指-02)。当成果においては、平成24年度の特徴的な事項として登熟期の高温小雨が作柄と品質に及ぼした影響と雑草の多発要因について詳細に解析した。

#### (麦類)

麦類奨励品種決定調査では、小麦6系統、大麦5系統を供試した。小麦では日本めん用として有望視していた「東北228号」(3年目)をナンブコムギ代替候補として耐病性・収量性・熟期を重点的に検討した結果、「有望」と判定した。また、諸情勢

の変化を勘案して、超強力小麦「銀河のちから」を奨励品種決定調査に再編入した。

また、普及員等指導者の技術指導に資するため、試験研究成果として「平成 24 年岩手県産小麦の生育経過の概要と特徴」(指-03)をとりまとめた。

特性検定では、麦類耐寒雪性を(独)作物研究所からの請け負いで実施した。小麦および大麦をそれぞれ 68、49 品種・系統を供試した結果、小麦 2、大麦 1 系統を「強」と判定した。

#### (大豆)

大豆奨励品種決定調査では、3 系統を供試し、「東北 166 号」を「多収、外観品質良」として「有望」と評価した。なお、当系統の加工適性を調査するため、県内 2 社に豆腐加工適性を依頼した結果、両社から高い評価を得た。

また、普及員等指導者の技術指導に資するため、試験研究成果として「平成 24 年岩手県産大豆の生育経過の概要と特徴」(指-04)をとりまとめた。特に、夏季高温干ばつの影響を詳細に解析するとともに、播種適期内での晩播や干ばつ時の畦間灌水により収量及び品質の低下を軽減できることを示した。

立枯性病害抵抗性検定試験は、43 系統・品種を供試したが、8 月中旬から 9 月にかけて高温小雨であったことから発病が抑えられ、強弱の判定が困難であった。本年度は、1 系統を「やや強以上」と判定した。

#### (種子生産)

水稲種子生産(主要品種)では、原々種はうるち 2 品種 160kg、もち 150kg、原種はうるち 7 品種(うち非主食用米 1 品種) 21,080kg、もち 2 品種 3,280kg を生産した。なお、原種のさらなる安定生産・供給を図るため、本年度からうるち早生品種「かけはし」は県北農業研究所で、もち中生品種「ヒメノモチ」は紫波町で生産することとした。また、近年、細菌病類による苗腐敗症の発生が顕在化したことから、病理昆虫研が主査研究室として設定した新規課題において、原原種・原種生産段階の効果的な薬剤等防除対策の開発に取り組むこととした。

小麦では、原種は「ナンブコムギ」を 5,760kg、「ゆきちから」を 3,240kg 生産した。

大豆原々種は「リュウホウ」を 1,100kg、原種は「ナンブシロメ」を 45kg 生産した。

共通の業務として、採種圃担当者(普及員、農協職員、種子部会生産者等)を対象とした研修会で講師として指導した。

## 野菜花き研究室

野菜花き研究室では、「農林水産技術立県いわて」の確立のため、以下の基本方針に沿って野菜、花きの作目毎 2 チーム体制で試験研究に取り組んでいる。(1)消費ニーズ及び将来の動向を見越した本県に適する花き(リンドウ)の新品種の育成・選抜、(2)顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発(3)生産の安定に直結する優良な原種苗等の正確かつ安定的な供給

### <野菜チーム>

野菜は、「顧客の視点に立った園芸品目の省力・低コスト生産技術の開発」を着実に推進するため、果菜類では、施設栽培トマト、パプリカの安定多収技術、露地ピーマン、ナスの効率的施肥法、キュウリの土壌病害軽減技術、新形質キュウリの安定生産技術等に取り組んでいる。茎葉菜類では、国内生産量がほとんどない 11 月の促成アスパラガス栽培技術の確立、ハクサイの冬～春生産を可能にする新品種・作型の開発に向けた課題を実施している。

このうちトマトでは、新たに「長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立」を課題化し、低温期に生じる障害果の発生回避技術確立による初期生産の安定化及び土耕栽培での栄養・草勢診断に基づいた追肥方法や整枝・誘引方法の開発による草勢低下を防ぐ長期どり栽培技術の確立に取り組み、「トマトの低温障害果発生にかかる品種間差異と対策」(指導)として成果公表した。

パプリカは、新産地の育成を目指し、本県の夏期冷涼な気象を活かした安定生産技術について研究開発を行っており、「収穫量の時期別変動が小さいパプリカ安定栽培技術の確立」に取り組んでいる。これは実用技術開発事業で採択され、野菜茶業研究所をはじめ 6 研究機関共同研究課題であり、当センターでは着果制限による収穫量調節技術を検討するとともに、収穫前および収穫後の果実の着色を促す方法について検討し、時期別変動の少ない安定した収量が得られる栽培法の確立に取り組んでいる。

キュウリは、同事業で平成 22 年度に採択された「被害リスクに応じたウリ科野菜ホモプシス根腐病の総合的防除技術の確立」に取り組み、未発病ほ場においても有効な対策として、指標植物を利用して、しおれをあらかじめ予測し、整枝管理と組み合わせることによって、収量を維持する可能性を明らかにした。また、新たな需要の創出や、差別化商品として期待されている新形質キュウリの耐病性台木との親和性を明らかにした。

ピーマンでは、中央農業総合研究センターの委託プロジェクトにより、低コスト養液土耕装置を利用した効率的施肥法に取り組んだ。適正なかん水管理により収量・品質向上と効率的な養液土耕による施肥量削減を目指して、所内試験の露地作型及び遠野市、九戸村の現地試験で目標を上回る収量を、「点滴かん水を利用した露地ピーマンのリン酸減肥技術と導入効果」(指導)として成果公表した。

アスパラガスでは、「岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立」(24～26)により、新たな、休眠打破方法や、低温の温度域の違いによる休眠打破効果の違い等のメカニズムを解明し確実に休眠打破を図る技術開発や、早期出荷が可能となる新作型の確立に取り組んでいる。

この他、ハクサイでは、国独法、大学、民間種苗会社との共同研究課題「長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの新作型の開発」(H24～26)に取り組む、現時点の育成途中品種ではあるが、有望なF<sub>1</sub> 組み合わせを用い、ハウスとべた掛けの利用による3月どりの作型と露地における5月、6月どりの作型を実証した。

## <花きチーム>

花きは、世界に発信する「リンドウ王国いわて」の確立に向けて、主産地としての優位性を維持するために、研究対象をリンドウに特化している。特に、市場の需要を満たし、さらには需要を作り出すためのオリジナル品種開発を最重点課題としている。

また、これまでに開発したオリジナル品種の原々種維持、原種増殖と種苗センターへの供給、生産性の高い省力・低コスト安定生産技術の確立に向けた課題を実施している。

リンドウの品種開発では、平成25年度までに9月上旬～中旬咲きの切り花品種育成を目標に、有望F<sub>1</sub>系統(2年生株)の組合せ検定を実施した。その結果、開花や形質の揃いや良好であることを確認した。平成25年度に3年生株時の形質を確認し、良好であることが確認されれば、既存晩生品種「ジョバンニ」(9月上中旬開花)の代替品種として試験研究成果として取りまとめる予定である。

なお、併せて既存極早生「キュースト」、「マシリイ」、および早生品種「イーハトーヴォ」、「マジエル」の代替品種を早急に育成すべく、有望F<sub>1</sub>系統の組合せ検定を実施した。

また、平成24年度に品種登録出願した「いわて夢みつき」(いわて VLB-1 号)は、H24.8.6 付けで品種登録出願が公表された。

「純系リンドウとDNAマーカーを利用した品種育成技術の開発」で得られた成果を活用し、未受精胚珠の培養により得られた倍加半数体個体に由来する系統のうち44系統から自殖種子を採種し、純系を用いたF<sub>1</sub>採種を目指して27系統の開花を確認した。期待したとおり草姿や開花期が良く揃い、今後、特性調査を進めるとともに、供試系統を追加していく予定である。

岩手県オリジナル花き遺伝資源の超低温保存法の確立に引き続き取り組み、越冬芽を用いた原体維持の他、リンドウ花粉の超低温保存法の確立に組み込み、超低温保存後も交配能力が低下しないことを確認した。

リンドウ種子供給に関して、原々種の安定採種、親株の大量増殖と供給に組み込み、ほぼ計画数量どりの親株を種苗センターに供給した。これら採種親株の管理について、種苗センター現地ほ場を確認しながら、毎月関係機関で検討会を実施した。

リンドウ系統の早晩性による温度反応差を把握し、適正な増殖条件の解明とリンドウにおける赤色や青色LED光光源を利用した増殖率向上技術を検討を目的とした「早晩性の違いによるリンドウ組織培養の増殖条件の確立」(H23～25)では、3対程度の展葉個体、増殖における明確な光の違いは見られなかったが、赤色と青色の波長の違いによる花成の違いを確認した。

この他、オリジナル極早生品種の株養成技術の開発など、現場からの要望課題について、地域希望農業技術サポート会議と連携した取り組みを行っている。

## 南部園芸研究室

南部園芸研究室は平成23年3月11日に発生した震災により研究施設等が全壊・流失したため、試験研究課題を縮小し、平成23年度に引き続き、本部で研究を行った。トマト3段階摘心新栽培様式の確立試験では、低コスト化を図る栽培槽を検討したところ、ハンモック式は有望であったが2層ハンモック式は貯水槽の高温、肥料調節が困難等、適応しにくいことが明らかになった。イチゴの夏秋どり作型に適する品種比較試験では、夏季高温条件下であったが、収量・品質面で「すずあかね」「サマーティアラ」が有望と認められた。実用技術開発事業課題「涼しい夏を活かす!国産夏秋イチゴ安定多収技術の開発・実証」の中で、一季成り性品種比較では雷峰が有望であり、適正栽植密度は20cmが適当であった。木質系資源の有効利用技術の開発では、現地慣行育苗培地のピートモスを粉碎杉樹皮に置き換えトマトを供試品目として調査したところ、慣行培地の生育・収量が得られたことから、継続検討し製品化に結び付ける予定となっている。木質バイオマス加温機のハイブリッド化を図り、燃焼試験を行なった結果、これまでの8時間を超える燃焼時間を確保できる見込みである。引き続き、イチゴ閉鎖型高設栽培システムにおける局所温度管理法について同加温機を利用し試験を継続予定である。花壇苗の高品質化について、塩水処理の効果が確認できたが、葉先の生理障害も発生することが確認された。実用的な成果を見込みにくく、研究資源も考慮し本課題は今年をもって中止することとした。



農業研究センター震災復旧・復興支援プロジェクトチームの成果

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大地震津波で甚大な被害を被った沿岸地域の農業の復旧・復興に向けた具体的な技術支援対策を実施するため設置した本プロジェクトチームの活動として、異なる塩分濃度設定下での水稲生育反応を検討し、除塩後に水稲を作付する際の土壌中の塩類濃度は、生育や生理障害の発生程度等から EC0.6dS/m 以下が適切であることを明らかにした。また、本件は土壌肥科学会東北支部会において報告する予定である。

また、イチゴの開鎖型高設栽培システムを被災地の園芸復興モデルの一環として新たに陸前高田市および大槌町に導入拡大し現地普及支援組織とともに指導にあたった。

## (4) 環境部

### 生産環境研究室

生産環境研究室では、安全で、安心できる農産物の安定的な生産・供給や環境に配慮した農業の振興を図り、岩手ならではの産地づくりに寄与するため、①環境への負荷軽減に配慮した持続的な土壌・施肥管理技術、②消費者の多様なニーズに対応した高品質農産物の安定供給技術を柱とした研究課題に取り組んだ。

また、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質への対策を講じるため、農業研究センターと中央農業改良普及センターで「放射性物質に係る農業技術対策調査検討チーム」を設置し(平成 23 年 9 月)、環境部長(チーム長)、室長、および研究員2名がチームに参画し、県産農産物のモニタリング調査や放射性セシウムの吸収抑制対策に取り組んだ。

今年度の取組みの成果としては、大豆の生産性向上のための低コスト施肥改善技術として、「大豆の安定生産のための土壌pH 改良効果」を提示するとともに、大豆のセシウム吸収抑制対策として「カリ施用による大豆子実中の放射性セシウム低減効果」について非公表として関係各課に示し、成果の内容は、「放射性物質影響防止のための農作物生産管理マニュアル」の改訂に反映させた。

その他には、県内耕地土壌の管理実態調査(S54～)や温室効果ガス情報調査、鶏ふんの利用拡大に向けた尿素添加高窒素鶏ふん堆肥の製造試験、トマトの適正な施肥管理のための試験や大豆の低収解明のための調査、食の安全確保のための野菜類における食中毒菌の検査手法試験等に引き続き取り組んだ。

また、東日本大震災津波に伴う塩害への対応として、水稲の除塩基準確認のためのポット試験を行い、水稲の生育に影響を及ぼす塩類濃度を明らかにした。

### 病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産の展開を目指した病虫害制御技術の確立を進めるため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病虫害防除技術、生物的防除など環境にやさしい病虫害防除技術及び病虫害総合管理技術(IPM)の開発に取り組んだ。

水稲分野では、水稲出穂期以降の草刈と薬剤防除の組み合わせによるアカスジカスミカメの防除技術を検討した結果、水稲穂揃期約1週間後に薬剤散布し、散布後おおむね1週間以内(残効期間内)に畦畔草刈を実施すると、アカスジを水田内に定着させずに斑点米被害を低く抑えることができること、また、穂揃期1週間後にジノテフラン剤を茎葉散布した圃場において追加防除が必要な場合には、穂揃期3週間後に茎葉散布することで斑点米被害を低く抑えることを明らかにし、研究成果(指導)として取りまとめるとともに学会で発表した(第57回応用動物昆虫学会)。

畑作分野では、ダイズ害虫ウコンノメイガの被害解析を行い、本県での要防除水準を設定し、研究成果(指導)として取りまとめた。また、マメシクイガに対する各種薬剤の防除効果を散布時期別に明らかにし、その成果を学会で発表した(第66回北日本病虫害研究発表会)。

野菜分野では、キュウリの品種選定にあたっての参考に資するため、県内主要産地の露地夏秋作型用として栽培されている品種について、本県の露地夏秋作型キュウリにおける最重要病害のひとつである黒星病に対する感受性を明らかにし、研究成果(指導)として取りまとめるとともに、その成果を学会で発表した(第66回北日本病虫害研究発表会)。また、施設果菜類(ピーマン、なす)における物理的防除と天敵利用による害虫防除の検討を行い、ピーマン栽培における天敵製剤(スワルスキーカブリダニ)の放飼条件を明らかにするとともに、ピーマンやなす栽培において光反射資材を利用した害虫侵入抑制効果を明らかにし、研究成果(指導)として取りまとめるとともに、その成果の一部を学会で発表した(第66回北日本病虫害研究発表会)。

果樹分野では、リンゴ腐らん病に対する薬剤防除試験を実施するにあたり、新たな病原菌の接種法が有効であることを明らかにし、その成果を学会で発表した(第66回北日本病虫害研究発表会)。また、近年被害が深刻化しつつあるリンゴの枝幹害虫ヒメボクトウに対する薬剤試験のための樹体内への虫体接種法を開発するとともに、エアゾール剤による樹体内噴射が有効な防除手段であることを明らかにし、その成果を学会で発表した(第66回北日本病虫害研究発表会)。

花き分野では、リンドウの重要害虫リンドウホソハマキに対して有効な薬剤を明らかにし、研究成果(指導)として取りまとめ

た。

なお、学会等には積極的に参加し、前記を含み日本土壌微生物学会 1 件、日本植物病理学会東北部会 1 件、日本応用動物昆虫学会 2 件、北日本病害虫研究会では 5 件について口頭又はポスター発表し、本県の成果を PR した。

## (5) 病害虫防除部

### 病害虫防除課

#### (病害虫発生予察)

水稻、麦類、大豆、りんご、きゅうり、キャベツ、ねぎ、りんどうを対象として発生予察調査等に基づき、7 回の定期情報に加え、注意報を 3 回(りんご:カメムシ類 2 回、ナミハダニ)、特殊報を 2 回(観賞用アリウム類:べと病、トルコギキョウ:えそ輪紋病)発表した。また、防除速報を 10 回(水稻:斑点米カメムシ 3 回、取り置き苗処分、葉いもち病、小麦:赤かび病、りんご:モニリア病、カメムシ類、野菜類等:オオタバコガ、タバコガ類)発行した。これらの情報については、メール、印刷物のほか、いわてアグリベンチャーネットにも掲載し、関係機関・団体、共同防除組合等に提供した。

#### (病害虫防除指導)

効率的な薬剤防除並びに生物的防除法、耕種的防除法および物理的防除法を組み入れた総合防除の地域への定着を図り、環境に配慮した持続的農業を推進するため、病害虫防除員、関係機関・団体と緊密な連携をとりながら、「市町村病害虫防除計画」に基づいた防除の実施を推進した。

水稻においては、各地方の病害虫防除員協議会および病害虫防除連絡協議会、市町村病害虫防除協議会、稲作部会等が中心となり取り組んでいる地域の一斉点検調査とその結果に基づく防除指導に対し、随時支援・指導を行った。また、巡回調査地点の農家 100 件の防除実績等を収集し、発生要因解析を行い、次年度以降の防除指導の資とした。

園芸作物では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに検討を行った。また、県内 64 の共同防除組合等から防除実績を収集、解析して次年度の防除計画の改善に資した。野菜では 22 件、りんどうは 14 件の農家の防除実績を収集、同様に次年度の防除計画に資した。

病害虫防除員に対しては、上記の調査活動や防除指導への支援の他、植物防疫実績検討会および諸会議、研修会等を通じて情報の共有と資質の向上を図った。

重要性が増してきている病害虫診断は、102 件の依頼に対応した。作物別の内訳は、50%以上が野菜で、次に花き、果樹の順であり、原因別には、病害と虫害がそれぞれ 30%程で、次に不明、生理障害・薬害の順であった。

#### (農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために、農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(7 月 11 日、参加者 250 名)。また、農薬取締法に基づき、農薬販売者への立入検査を実施するとともに(461 件)、農薬使用基準違反のあった使用者に対し指導を行った(1 件)。

## (6) 畜産研究所

### 家畜育種研究室

#### <家畜育種>

(肉用牛) 日本短角種:種雄牛造成では H23 直接検定牛 15 頭(平均 DG1.51kg)から、現場後代検定用 6 頭(選抜率 40%、平均 DG1.57kg)を選抜した。現場後代検定では H20 交配種雄牛 6 頭のうち、月齢超過により調査頭数が不足した「松宝」を除く「勝花」、「松福」、「吉誉」、「良錦」、「栄光」の成績を公表した。また、短角データベースに蓄積した血統および枝肉成績から遺伝的趨勢に関する論文を学会報告した。

黒毛和種:肥育試験では牛肉中脂肪酸の不飽和度向上のために膨潤玄米給与の現地実証試験を終え、出荷前 16 か月間、飼料給与量の 6%添加により不飽和脂肪酸中のオレイン酸が増加することを明らかにした。また、県内と場に出荷された枝肉試料のガスクロマトグラフィー分析結果から近赤外線による簡易な食肉脂質測定装置の検量線を作成した。

(養豚) 現地農場と提携したパークシャー種豚群の遺伝的改良、地域未利用資源等の飼料としての活用に取り組んだ。

LWD 豚の肥育後期において発酵バターミルクを利用したリキッド飼料の給与により生産コストの低減が図られることを明らかにした。また、パークシャー種の肥育後期において飼料中のトウモロコシを中心に飼料用米に代替給与することにより肉の美味しさが高まることを明らかにした。

(養鶏) 未利用資源を活用した南部かしわ飼養では、CP/ME 比の調整によりコスト低減等が図られることを明らかにした。

## ＜家畜工学＞

(繁殖)持続性黄体ホルモン剤の利用によっても受胎率向上に効果が得られないことを明らかにした。また、分娩前後の飼料中 TDN 充足率を 85%と 100%にしても、黒毛和種では分娩後の発情回帰および採胎成績に差は認められなかった。

(遺伝子解析)種雄牛「来待招福」産子の QTL 解析から枝肉重量、皮下脂肪、BMS No.に影響する遺伝子座を 5 か所に検出した。また、枝肉重量 QTL「*CW-I*」は本県黒毛和種の枝肉重量、ロース芯面積の改良に有効であること、日本短角種の遺伝子型は極端に偏っていることを明らかにした。さらに、日本短角種も黒毛和種と同様に脂肪酸組成が遺伝的要因に影響され、SCD や FASN 等の遺伝子型が改良に活用できることを学会に論文報告した。

### ＜牛生体放射線検査＞

県および関連団体が導入した  $\gamma$  線測定装置 6 台について遮蔽帯の作成および機器間の測定能力比較を行った。

## 家畜飼養・飼料研究室

### ＜飼養＞

搾乳用 TMR を活用し、必要な栄養量を充足することにより、育成前期・中期・後期において良好な発育を確保し、初産分娩月齢 22.5 か月齢が達成できることを明らかにした。

大豆穀実が乾物当たり 10%含まれる発酵 TMR 給与は、大豆穀実の破碎処理の有無に関わらず、産乳性、消化性に差が認められないことを明らかにした。

光触媒(酸化チタン)を用いた換気装置により、畜舎環境改善に一定の効果があることを明らかにした。

### ＜飼料＞

ライ麦+トウモロコシの不耕起栽培体系の確立を目指した試験では、出穂期にライ麦刈取り後、10 日以内にとうもろこしを播種することで、良好なとうもろこし栄養収量を確保できた。また、窒素を 15.6kgN/10a 施肥することで 20%程度のとうもろこし収量増加の傾向が認められた。

飼料用トウモロコシ市販品種のうち、極早生 7 品種、早生 7 品種、中生 4 品種、晩生 8 品種の生育特性、耐病性、収量性等について成績を取りまとめた。

耕起の前後における堆肥の施用が飼料用とうもろこし収量性等に及ぼす影響を調査した結果、飼料用トウモロコシの乾物収量・子実収量は耕起前施用の方が耕起後施用より有意に優れることを明らかにした。

### ＜牧草の放射線対策＞

関係機関による除染プロジェクトチーム活動に参画し、牧草地における放射線対策のための肥培管理、耕起状況等に関する調査を実施した。また、牧草スクリーニング検査を 5,653 検体実施した。

## 外山畜産研究室

### ＜飼養＞

日本短角種の周年出荷へ向けた飼養管理技術では、舎飼い期に経産牛に種雄牛を自然交配させることにより早期分娩させた早生まれ子牛は、通常生まれの子牛と同等の発育が得られること、また、肥育成績においても増体、格付とも同等であることを明らかにした。自然交配後の追い移植では、双子分娩率は 22.2%、最終的な子牛生産率は 77.8%であった。舎飼期自然交配による未経産牛の分娩時期の早期化では、受胎が確認できたのは放牧期間中の平均月齢 16.8 か月からであった。

黒毛和種の妊娠中後期における冬期飼養技術では、試験区および対照区ともに期間中、疾病および事故の発生はみられなかった。赤血球数およびヘモグロビン量についても両区間に差は認められなかった。試験区の飼料給与量(TDN)は対照区の 120%となった。

### ＜飼料＞

草地管理技術の確立のためのリモートセンシング、GPS の活用については、衛星データから大規模草地の実草量の推定が可能であり、また、GIS 手法を用いた推定草量の予測値から草量マップをすることで、大規模草地全体の牧草の分布を把握できることが明らかになった。GPS については、作業支援システムを活用することで、牧草収穫時における反転(テグダ)作業の作業漏れ面積が低減でき、また、2 台の作業機を用いた並列追従作業において先頭作業機のみ GPS を搭載した場合でも作業漏れ面積を低減できた。

作溝式播種機を活用した簡易な放牧地更新技術では、作溝式播種機による初冬期播種について検討したところ、土壌流亡が著しく軽減されることを明らかにした。

## 種山畜産研究室

### ＜いわて和牛改良増殖対策事業＞

黒毛和種改良事業の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補 11 頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等 3 頭計 14 頭の直接検定を実施し、後代検定を実施する候補種雄牛として 5 頭(「純子」「絹美継」「雪福秀」「春北平」「天王招福」)を選抜した。また、平成 20 年度の直接検定により選抜された「勝安春」「花安勝」「平花丸」「幸大鶴」の 4 種雄牛について現場後代検定を実施し、うち成績が優れた「花安勝」「平花丸」を新たに基幹種雄牛として選抜した。

### ＜第 10 回全国和牛能力共進会＞

出品牛の飼養管理・調教について指導を行った。本県の成績は、第 1 区(若雄)に当研究室から出品した「絹美継」号が優等賞 2 席(第 2 位)を受賞し、団体総合で第 5 位を受賞した。

## (7) 県北農業研究所

### 園芸研究室

- (1) 県北振興連携プロジェクトであるほうれんそうについて、ハウレンソウケナガコナダニの総合防除体系の課題では、現行のカスケード乳剤と同等以上の効果が認められた剤は、エルサン乳剤、スミチオン乳剤、コテツフロアブル、現地で使用されているアフーム乳剤や、カスケード乳剤と作用機作が類似していると考えられているニソラン水和剤では防除効果が劣ったことを明らかにするとともに平成 25 年 2 月 1 日にコテツフロアブルが適用拡大となったため、同 8 日に中央普及センターを通じ各普及センターあてに、防除効果と使用上の注意事項について情報提供した。また、夏期増収技術の確立では、新規の土壤還元消毒法で用いる低濃度エタノールが世界的なバイオエタノール需要の高まりによる輸入原料の高騰、消防法対策、酒税法対策、飲料用再加工防止対策等の結果、当初予定価格の約 3 倍となったことから、(約 27 千円/2a ハウス 1 棟、cf.高コストな薬剤であるクロピク錠剤でも約 22 千円)高コストにより現段階では本県での普及性は低いことが明らかになった。
- (2) 今年度から、「新たなねぎの出荷体系の確立」、「新作型たまねぎの開発」を開始し、前者では、作型毎に品種比較・栽植密度試験における一定の傾向が確認された。また、後者では、技術上の課題並びに方向性が明らかになった。
- (3) 花き部門で、今年度から、「無側枝性ギクの栽培技術の確立」を開始し、成長調整剤の効果が明らかになった。
- (4) 最終年度の「県北地域におけるりんどうの収益向上技術の確立」では、露地でのトンネル栽培による「いわて夢あおい」(極々早生 6)の作期前進効果を明らかにし、成果公表した。
- (5) 東日本大震災による被災地への復興支援として、地元農業改良普及センターの要請に基づき、宮古地域で促成アスパラガス、久慈地域でねぎの産地拡大に対する作業機械の貸出し等支援を行った。

### 作物研究室

- (1) 雑穀に関する課題について、オリジナル品種の開発では、黄色粒多収糯系統「アワいわて糯 3 号」を育成・成果公表し、濃穎色大粒糯 3 系統のキビを選抜し、次年度以降、成果としてまとめる予定。また、エゴマの在来系統の形態特性を明らかにし、昨年度作成した「岩手県遺伝資源データベースシステム」に保存し、ヒエ、アワ、キビ、タカキビを含め 5 品目が登録された。  
畑輪作技術の確立では、輪作年数を重ねるとさらに雑草が増え、まったく出穂できない場合もあること、大豆前作や移植栽培することで雑草は少なくなること、アワ、キビは株間距離が 15cm で多収となるなど明らかになった。次年度は、雑草防除を重点に病害虫防除の視点からも組み合わせについて継続し、検討する。  
機械移植栽培の開発では、地床の場合と比べ、棚置きによる育苗では根鉢形成が良いこと、播種用具(播種板、ロール式播種器等)により、播種時間は大幅に短縮できること、育苗用の培土は市販の園芸用培土で適したものがあることなどが明らかになった。次年度は、育苗方法について、これまでの知見をまとめて体系化するとともに植え付け姿勢の改善のための改良措置(覆土輪)を検討する予定。  
化学合成農薬を用いない病害虫防除技術では、水田ヒエのイネヨトウに対する BT 剤の越冬世代羽化揃期を起点とする 3 回散布と 2 回散布は同等の効果があり、成果公表した。
- (2) 水稲早生品種及び雑穀の原種生産については、を計画どおり生産・確保するとともに、水稲、小麦、大豆の奨励品種決定調査、作況調査・作柄解析などについても実施し、関係機関等に情報提供した。
- (3) 葉たばこ減作・廃作対策への支援については、二戸市浄法寺町の生産組合において、アワ栽培機械化体系の実証を行った。当組合は本格的に雑穀栽培に取り組むのは初めてであり、播種機やコンバインは所有していないことから、雑穀生産の重要なポイント作業の様子を見ていただくために、当研究所の播種機、普通型コンバインを用いた実演並びに作業を代替した。

#### 4 平成24年度試験研究課題

##### (1) 細目課題分類

研究推進計画分野 担当部所	課題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		農業構造・経営管理	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	作業技術	環境保全	土壌作物栄養	病害虫制御	食の安全	乳用牛	肉用牛	中小家畜(豚・鶏)	草地・飼料作物	家畜バイオテクノロジー	畜産環境	東北農業振興	震災復興
<b>プロジェクト推進室</b>	16		3	4				8		1										
<b>企画管理部</b>	15	4	0	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
農業経営研究室	15	4		5				5												1
<b>技術部</b>	171	0	65	13	33	24	12	3	6	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	4
果樹研究室	43				32				6	1	2	1								1
作物研究室	82		64	12				3		1		1								1
野菜花き研究室	33					16	12			3		1								1
南部園芸研究室	13		1	1	1	8				1										1
<b>環境部</b>	38	0	0	2	1	1	0	2	1	7	13	6	0	0	0	0	0	0	0	5
生産環境研究室	24			2		1		2	1	7		6								5
病理昆虫研究室	14				1						13									
<b>畜産研究所</b>	35	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11	5	8	4	2	0	0
家畜育種研究室	14												1	4	5		4			
家畜飼養・飼料研究室	12			1								3	1		5		2			
外山畜産研究室	5												2		3					
種山畜産研究室	4												4							
<b>東北農業研究所</b>	35	0	5	6	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	19	0
園芸研究室	16			1					1	1	1								12	
作物研究室	19		5	5						1	1								7	
<b>総計</b>	310	4	73	31	34	25	12	18	8	16	17	9	4	11	5	8	4	2	19	10

※複数の分野に再掲されている研究課題はそれぞれに計上。

複数の担当研究室がある研究課題はそれぞれに計上。

(2) 試験研究課題一覧

主査研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【プロジェクト推進室】</b>						
プロジェクト	1	(H23-01)水田における土地利用型作物の除草機を中心とした除草技術の確立	23	24	独法委託	プロジェクト
プロジェクト		(H23-01-1000)水稲有機栽培における除草機を中心とした栽培管理技術の評価	23	24	独法委託	プロジェクト
プロジェクト	2	(H24-01)水田転換畑における作物の生産性向上技術の確立	24	26	県単独	プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-1000)転換畑における大豆生産性向上技術の総合実証	24	26	県単独	生産環境 作物 農業経営 プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-1100)転換畑大豆の現地における低収要因の解明	24	26	県単独	生産環境 農業経営
プロジェクト		(H24-01-1200)転換畑に適する品種および栽培法の検討	24	26	県単独	生産環境 作物 農業経営 プロジェクト
プロジェクト		(H24-01-2000)転換畑における湿害軽減播種技術の体系化	24	26	県単独	プロジェクト 農業経営
プロジェクト		(H24-01-2100)小畦立て播種栽培に適応できる大豆の機械除草技術の確立	24	25	県単独	プロジェクト 農業経営
プロジェクト		(H24-01-2200)密条用小畦立て播種栽培に適応できる小麦の管理作業技術の開発	24	26	県単独	プロジェクト 農業経営
プロジェクト		(H24-01-2300)ディスク式除草機による新たな畦立て播種技術の開発	24	26	県単独	プロジェクト 農業経営
<b>【農業経営研究室】</b>						
農業経営	3	(H21-02)本県主要農産物の需要・競争構造の分析	21	25	県単研究	農業経営
農業経営	4	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	21	25	県単研究	農業経営
農業経営	5	(H23-02)2010年農林業センサスを活用した農業構造動向	23	25	県単研究	農業経営
農業経営	6	(H24-02)沿岸地域農業の復興に向けた新たなビジネスモデルの構築	24	26	県単研究	農業経営
<b>【作物研究室】</b>						
作物(技術)	7	(803)水稲奨励品種決定調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1000)予備調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1100)中晩生系統	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-1200)早生系統	14	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-2000)本調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2100)中晩生系統	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(803-2200)早生系統	14	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(803-3000)現地調査	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	8	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1000)水稲作況調査	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-1200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(805-2200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)	9	(61)水稲原々種生産	S29	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	10	(62)水稲原種生産	S29	25	県単採種	作物(技術)

凡 例

- ・主査: 小課題の主査研究室
- ・No.: 小課題の連番、課題毎の固有番号はそれぞれの課題名の先頭に( )表記
- ・課題: (課題番号)課題名を記載、小課題は太字表示  
※ 課題番号: 細目課題は1000番代表記、細目1～4まで各桁毎の表記
- ・開始・終了: 課題の実施～終了年数
- ・予算区分: 国庫補助; 国庫補助事業、国庫委託; 国庫委託事業、独法委託; 独法委託事業、民間委託; 民間委託事業  
令達; 令達予算研究、県単研究; 県単予算予算、県単採種; 主要農作物採種管理費
- ・担当: 小課題、細目課題の担当研究室名

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	11	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	14	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1000)水稲作用除草剤2次適用性試験	14	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1100)県央・県南地域	14	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(807-1200)県北地域	14	25	民間委託	作物(県北)
作物(技術)	12	(H22-rb01)主食用米等品種の育成(コシヒカリを超える米)	S59	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-1000)交配母本評価と交配	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-2000)初期世代養成	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-3000)個体選抜	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4000)系統選抜	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4100)単独系統	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4200)生産力検定予備試験系統群	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-4300)生産力検定本試験系統群	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5000)生産力検定	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5100)生産力検定予備試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5200)生産力検定本試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-5300)生産力検定試験早生系統	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6000)特性検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6200)糞いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6500)食味官能試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6600)食味関連成分分析及び物性試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6700)穂発芽検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-6800)直播適性	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb01-8000)育成系統採種	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)	13	(H22-rb02)醸造用水稲品種の育成(山田錦を超える米)	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-1000)交配母本評価と交配	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-2000)初期世代養成	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-3000)個体選抜	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4000)系統選抜	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4100)単独系統	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4200)生産力検定予備試験系統群	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-4300)生産力検定本試験系統群	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5000)生産力検定	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5100)生産力検定予備試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5200)生産力検定本試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-5300)生産力検定試験早生系統	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6000)特性検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6200)糞いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6500)食味官能試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6600)食味関連成分分析及び物性試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6700)穂発芽検定試験	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-6900)醸造適性	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-7000)DNAマーカー等先端技術利用	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb02-8000)育成系統採種	S63	25	合達	作物(技術)
作物(技術)	14	(H22-rb03)委託試験	S39	25	国庫委託、民間委託	作物(県北)
作物(技術)		(H22-rb03-2000)稲民間育成品種評価試験	H13	25	民間委託	作物(技術)
作物(技術)		(H22-rb03-3000)耐冷性検定試験(委託系統検定)	H18	25	独法委託	作物(技術)

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
作物(技術)	15	(H21-24)東北地域中北部向け多収稲品種の共同育成	21	26	H21県単 H22～独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-3000)個体選抜	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4000)系統選抜	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4100)単独系統	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4200)生産力検定予備試験系統群	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-4300)生産力検定本試験系統群	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-5000)生産力検定	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6000)特性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6100)いもち病真性抵抗性遺伝子型推定	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6200)葉いもち圃場抵抗性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6300)穂いもち圃場抵抗性検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6400)耐冷性検定試験(育成系統)	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6600)食味関連成分分析及び物性試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6700)種発芽検定試験	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-6800)直播適性	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H21-24-8000)育成系統採種	21	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	16	(174)えだまめ等オリジナル品種優良種苗の維持・増殖	8	25	令達	作物(技術)
作物(技術)	17	(877)大豆立枯性病害抵抗性検定試験	14	25	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	18	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	14	25	独法委託	作物(技術)
作物(技術)	19	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-2200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)		(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1100)県央・県南地域	14	25	県単研究	作物(技術)
作物(技術)		(890-1200)県北地域	14	25	県単研究	作物(県北)
作物(技術)	20	(891)畑作物原々種・原種生産	14	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	21	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	19	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	19	25	令達	作物(技術)
作物(技術)	22	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)		(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	19	25	県単採種	作物(県北)
作物(技術)		(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	19	25	県単採種	作物(技術)
作物(技術)	23	(H22-33)北東北地域向け非主食用多用途稲の直播品種及び直播栽培等関連技術の開発	22	24 25	国庫委託 県単独	作物(技術) プロジェクト
作物(技術)		(H22-33-1000)北東北地域に適応する非主食用多用途多収稲の品種開発・岩手県南部向け品種の開発	22	24	国庫委託	作物(技術)
作物(技術)		(H22-33-2000)寒冷地における湛水作溝同時直播栽培技術の確立・寒冷水田に適応した湛水作溝同時直播技術の開発	22	24 25	国庫委託 県単独	プロジェクト
作物(技術)		(H22-33-3000)寒冷地における湛水作溝同時直播栽培技術の確立・DVRモデルによる湛水直播生育予測と季節予報を組み合わせた適品種・適期予測システムの開発	22	24	国庫委託	プロジェクト
作物(技術)		(H22-33-4000)寒冷地における湛水作溝同時直播栽培技術の確立・湛水直播栽培における多収生産技術の現地実証	23	24	国庫委託	プロジェクト
作物(技術)	24	(H24-19)大規模遺伝子資源およびゲノム情報を活用した効率的な水稻品種育成	24	26	独法委託	作物(技術)
作物(技術)		(H24-19-1000)重要遺伝子集積による「スーパーひとめぼれ」の育成	24	26	独法委託	作物(技術)



主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【果樹研究室】</b>						
果樹	25	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	14	25	県単研究	果樹
果樹		(851-1000)りんごの生育・生態の把握	14	25	県単研究	果樹
果樹		(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	14	25	県単研究	果樹
果樹		(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	14	25	県単研究	果樹
果樹	26	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-1000)果樹園用除草剤の効果的使用法	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-1100)民間委託試験分	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-1200)令達試験分	14	25	令達	果樹
果樹		(850-2000)果樹の植調剤及び資材の効果的使用法	14	25	民間委託	果樹
果樹		(850-3000)野菜の除草剤実用化試験	15	25	民間委託	野菜花き
果樹		(850-5000)【畜産研究所担当分】	16	25	民間委託	家畜飼養・飼料
果樹		(850-5100)【家畜飼養・飼料研究室担当分】	16	25	民間委託	家畜飼養・飼料
果樹		(850-5110)除草剤試験	16	25	民間委託	家畜飼養・飼料
果樹		(850-6000)【東北農業研究所担当分】	16	25	民間委託	園芸(東北)
果樹		(850-6100)【東北園芸研究室担当分】	16	25	民間委託	園芸(東北)
果樹		(850-6110)植調剤試験	16	25	民間委託	園芸(東北)
果樹		(850-6200)【東北作物研究室担当分】	19	25	民間委託	作物(東北)
果樹		(850-6210)植調剤試験	19	25	民間委託	作物(東北)
果樹		(850-7000)小麦の除草剤実用化試験	18	25	民間委託	作物(技術)
果樹		(850-8000)南部園芸研究室分	18	25	民間委託	南部園芸
果樹		(850-8100)除草剤試験	18	25	民間委託	南部園芸
果樹	27	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	14	25	令達	果樹
果樹	28	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	14	25	令達	果樹
果樹		(830-1000)国育成系統適応性(盛岡58～65号)	14	25	令達	果樹
果樹		(830-2000)国内外導入品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹		(830-3000)いわた特産中晩生種の交配育成	14	25	令達	果樹
果樹	29	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	28	独法委託	果樹
果樹		(829-1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	14	25	独法委託	果樹
果樹		(829-1400)第12回系統適応性検定試験	20	25	独法委託	果樹
果樹		(829-1500)第13回系統適応性検定試験	22	28	独法委託	果樹
果樹		(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	14	25	令達	果樹
果樹		(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	14	25	令達	果樹
果樹	30	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	14	25	令達	果樹
果樹		(837-1000)国内外導入品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹	31	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹		(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	14	25	令達	果樹
果樹	32	(H20-02)岩手県におけるおうとうの垣根仕立て栽培法の確立	20	25	県単研究	果樹
果樹	33	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	21	30	令達	果樹
果樹	34	(H22-03)岩手県における果樹栽培の温暖化対策技術の確立	22	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-1000)開花期前進に伴う凍霜害対策技術の確立	22	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-2000)温暖化による果実障害対策技術の確立	23	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-3000)気象変動に対応した優良系統の選抜	22	24	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-4000)落葉遅延がリンゴ樹に及ぼす影響の解明	23	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-5000)温暖化に対応できる新規果樹の選抜と栽培技術の確立	24	27	県単研究	果樹
果樹		(H22-03-6000)果樹園における温暖化緩和技術の開発(仮称)	22	26	独法委託	果樹
果樹	35	(H23-03)りんご新品種などの安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-1000)オリジナル品種の安定生産技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹		(H23-03-2000)優良品種の栽培技術の確立	23	28	県単研究	果樹
果樹	36	(H23-04)ぶどうオリジナル品種の安定生産技術の確立	23	26	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-1000)高品質果実生産方法の確立	23	25	県単研究	果樹
果樹		(H23-04-2000)短梢栽培用平棚を利用した栽培方法の確立	23	26	県単研究	果樹
果樹	37	(H24-16)果樹生産のための省力・軽労化機器の開発	24	26	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-1000)りんご摘果用器具の効果的利用法	24	24	独法委託	果樹
果樹		(H24-16-2000)小型幹周草刈機の抑草効果と樹体に及ぼす影響評価	24	26	独法委託	果樹
果樹	38	(H24-17)国産小果樹類の新規市場開拓のための省力生産技術・加工品の開発	24	28	独法委託	果樹

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【野菜花き研究室】</b>						
野菜花き	39	(H20-17)ウリ科作物に発生するホモブシ根腐病の蔓延阻止技術の開発	20	24	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H20-17-1000)被害リスクに応じたウリ科野菜ホモブシ根腐病の総合的防除技術の確立	22	24	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H20-17-1100)指標植物による発生予察と整枝技術を組み合わせた萎凋被害回避技術の開発	22	24	独法委託	野菜花き
野菜花き	40	(H21-15)低コスト養液土耕栽培による水田転換畑におけるリン酸肥料削減技術の実証	21	25	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H21-15-1000)低コスト養液土耕装置を利用した効率的施肥法の確立	21	25	独法委託	野菜花き
野菜花き		(H21-15-2000)リン酸成分を有効活用した省資源型農業の開発	23	25	独法委託	野菜花き
野菜花き	41	(843)りんどうの生育・生態調査	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	42	(840)りんどうF1品種の親株維持・増殖技術の確立	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(840-1000)種子による親株維持技術の確立	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(840-2000)培養系親系統の特性検定及びF1品種の組合せ検定	14	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	43	(191)りんどうの品種育成	S49	25	合達	野菜花き
野菜花き		(191-1000)りんどうの品種開発	20	25	合達	野菜花き
野菜花き		(191-2000)親株の安定生産	20	25	合達	野菜花き
野菜花き	44	(H19-09)温度・日長条件に対するりんどうの生育反応	19	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	45	(H19-05)岩手県オリジナル花き遺伝資源の超低温保存法の確立	19	24	県単研究	野菜花き
野菜花き	46	(H22-07)リンドウ栽培安定化技術の開発	22	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H22-07-1000)リンドウ発芽率向上安定化技術の開発	22	24	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H22-07-2000)県育成極早生品種の株養成技術の開発	22	26	県単研究	野菜花き
野菜花き	47	(H23-05)早晩性の違いによるリンドウ組織培養の増殖条件の確立	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-05-1000)組織培養を用いた増殖における培養温度条件と早晩性の関係	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-05-2000)組織培養を用いた増殖における光条件の検討	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	48	(H23-06)収穫量の時期別変動が小さいパプリカ安定栽培技術の確立	23	25	県単研究、独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-06-1000)収穫量調節技術及び収穫前着色促進技術の開発	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-06-2000)光照射追熟技術の開発	23	25	独法委託	野菜花き
野菜花き	49	(H23-07)「なす」の省力・低コスト栽培技術の開発	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-07-1000)かん水等による低コスト生産安定技術の開発	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-07-2000)簡易で省力的な栽培技術の確立	23	25	県単研究	野菜花き
野菜花き	50	(H23-08)長期安定収穫が可能なトマト栽培技術の確立	23	27	県単研究 独法委託	野菜花き 生産環境 南部園芸
野菜花き		(H23-08-1000)低温期の障害果発生回避技術の確立	23	27	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H23-08-2000)栽培管理・天候に対応したかん水・追肥技術の確立	23	27	県単研究	生産環境
野菜花き		(H23-08-3000)高温期における草勢管理技術の確立	24	27	県単研究 独法委託	野菜花き
野菜花き		(H23-08-4000)3段階摘芯新栽培様式の確立	23	25	県単研究 独法委託	南部園芸
野菜花き	51	(H24-03)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	24	26	独法委託	野菜花き
野菜花き	52	(H24-04)岩手型アスパラガス伏せ込み促成栽培安定生産技術の確立	24	26	県単研究	野菜花き 園芸(県北)
野菜花き		(H24-04-1000)高温及び低温による休眠打破メカニズムの解明	24	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-04-2000)高温による休眠打破を利用した新作型の確立	24	26	県単研究	野菜花き
野菜花き	53	(H24-05)新形質キュウリ安定生産技術の確立	24	28	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-05-1000)病害抵抗性台木の適応性の解明	24	26	県単研究	野菜花き
野菜花き		(H24-05-2000)露地栽培における安定生産技術の確立	26	28	県単研究	野菜花き

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【南部園芸研究室】</b>						
南部園芸	54	(H22-05)イチゴ夏秋どり作型における適品種の選定と多収生産技術の確立	22	25	県単研究 独法委託	南部園芸
南部園芸		(H22-05-1000)夏秋どり作型における四季成り性イチゴ適品種の選定	22	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H22-05-2000)夏秋どり作型における多収生産技術の開発	22	25	県単研究 民間委託	南部園芸
南部園芸		(H22-05-3000)夏秋どり作型における一季成り性品種の適応性評価	22	25	県単研究 独法委託	南部園芸
南部園芸	55	(H23-09)花壇苗類の高品質化技術の開発	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H23-09-1000)花壇苗の出荷後の品質を安定化させる技術の開発	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸	56	(H23-10)園芸分野における木質系資源の有効利用技術の開発	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H23-10-1000)粉碎杉樹皮を用いた新たな園芸培地の開発	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸		(H23-10-2000)促成イチゴの低コスト加温栽培技術の開発	23	25	県単研究	南部園芸
南部園芸	57	(H23-21)津波被災農地における除塩対策実証	23	24	県単	南部園芸
<b>【生産環境研究室】</b>						
生産環境	58	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境		(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	15	27	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	59	(H16-22)新肥料の実用化	16	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-5000)プロジェクト推進室	20	27	民間委託	プロジェクト
生産環境		(H16-22-7000)技術部	20	27	民間委託	作物(技術) 果樹 野菜花き 南部園芸
生産環境		(H16-22-7100)作物研究室(技術)担当分	20	27	民間委託	作物(技術)
生産環境		(H16-22-7300)南部園芸研究室担当分	20	27	民間委託	南部園芸
生産環境		(H16-22-7400)果樹研究室担当分	23	27	民間委託	果樹
生産環境		(H16-22-7500)野菜花き研究室担当分	23	27	民間委託	野菜花き
生産環境		(H16-22-8000)環境部	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-8100)生産環境研究室担当分	20	27	民間委託	生産環境
生産環境		(H16-22-9000)県北農業研究所	20	27	民間委託	園芸(県北) 作物(県北)
生産環境		(H16-22-9100)園芸研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	園芸(県北)
生産環境		(H16-22-9200)作物研究室(県北)担当分	20	27	民間委託	作物(県北)
生産環境	60	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	20	24	独法委託	生産環境
生産環境	61	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	15	25	県単(土壌対策)	生産環境
生産環境	62	(H16-20)5. 野菜の品質自主管理技術の開発	17	24	県単研究 独法委託	生産環境
生産環境		(H16-20-4000)(4)生食用野菜生産環境からの食中毒菌の検出手法及び可食部汚染低減手法の実証と改善	21	24	独法委託	生産環境
生産環境	63	(H21-14)窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	21	25	独法委託	生産環境
生産環境	64	(H22-21)省資源型土壌管理技術の確立	22	24	県単研究	生産環境
生産環境		(H22-21-1000)転作大豆栽培における低pH改善技術の確立	22	24	県単研究	生産環境
生産環境	休止中	(H23-12)土壌環境に配慮した家畜由来有機質資源の肥料的評価	23	26	県単研究	生産環境
生産環境	65	(H24-14)農作物および土壌中放射性セシウム濃度のモニタリング調査および農作物中放射性セシウム濃度に関する土壌要因の解明	24	25	令達	生産環境
生産環境		(H24-14-1000)水稲・畑作物におけるモニタリング調査	24	24	令達	作物 生産環境
生産環境		(H24-14-2000)果樹におけるモニタリング調査	24	25	令達	果樹 生産環境
生産環境		(H24-14-3000)野菜類におけるモニタリング調査	24	24	令達	野菜花き 生産環境
生産環境		(H24-14-4000)土壌におけるモニタリング調査および農作物中放射性セシウム濃度に関する土壌要因の解明	24	25	令達	生産環境
生産環境	66	(H24-15)大豆子実への放射性セシウムを吸収抑制する栽培技術の効果確認	24	24	県単研究	生産環境

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【病理昆虫研究室】</b>						
病理昆虫	67	(H09-03)【植物防疫事業研究】	9	27	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	68	(402)新農薬の効果検定と防除基準作成	9	25	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-2000)県北農業研究所	9	25	民間委託	園芸(県北)
病理昆虫		(402-4000)環境部	9	25	民間委託	病理昆虫
病理昆虫		(402-5000)技術部	16	25	民間委託	果樹
病理昆虫	69	(H15-28)地域特産物における新防除資材の実用化	15	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H15-28-1000)雑穀類の難防除害虫	22	24	国庫補助	作物(県北)
病理昆虫	70	(H21-06)ダイズを加害するウコンノメイガの発生生態の解明と防除対策の確立	21	24	令達	病理昆虫
病理昆虫	71	(H22-01)広域的な葉いもち防除の徹底による穂いもち防除を省略したいもち病防除体系の確立	22	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	72	(H22-02)斑点米被害を低く抑える水稲出穂期以降の畦畔雑草管理対策	22	24	令達	病理昆虫
病理昆虫	73	(H22-04)ハダニ類を主体としたリンゴ病害虫防除体系の最適化	22	26	国庫補助	病理昆虫 果樹
病理昆虫		(H22-04-1000)夏期の防除体系の最適化	22	26	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H22-04-2000)樹型等を考慮した適正な薬剤散布量の検討	22	24	国庫補助	果樹
病理昆虫	74	(H22-06)キュウリ栽培で問題となる病害の防除技術確立	22	24	国庫補助 県単研究	病理昆虫
病理昆虫		(H22-06-1000)ホモブシス根腐病の防除技術確立	22	24	国庫補助 独法委託	病理昆虫
病理昆虫		(H22-06-2000)キュウリ黒星病の防除技術確立	22	24	県単研究	病理昆虫
病理昆虫	75	(H23-13)耕種的防除と天敵製剤を組み合わせた果菜類害虫の防除技術の開発	23	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-1000)施設栽培なすにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	23	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫		(H23-13-2000)施設栽培ピーマンにおける天敵製剤を活用した化学合成農薬削減技術の開発	23	25	国庫補助	病理昆虫
病理昆虫	76	(H23-14)ホウレンソウ栽培で問題となる病害の防除技術の確立	23	25	令達 国庫補助 独法委託	病理昆虫
病理昆虫		(H23-14-1000)ホウレンソウ白斑病の防除技術の検討	23	25	令達	病理昆虫
病理昆虫		(H23-14-2000)土壌酸性改良によるホウレンソウ萎凋病の発病抑制効果の検討	23	25	国庫補助 独法委託	病理昆虫
病理昆虫	77	(H24-07)リンドウホソハマキの効率的な防除体系の確立	24	26	国庫補助	病理昆虫
<b>【家畜育種研究室】</b>						
家畜育種	78	(304)肉用牛における経済形質とDNAマーカーとの連鎖解析	7	25	令達	家畜育種
家畜育種	79	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	17	30	令達	家畜育種
家畜育種	80	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	S45	30	令達	家畜育種
家畜育種	81	(H20-22)遺伝子発現調節による和牛肉の不飽和度向上技術の開発	20	24	独法委託	家畜育種
家畜育種	82	(H22-12)和牛肥育における尿石症予防のための飼養技術の開発	22	25	県単研究	家畜育種 種山畜産
家畜育種	83	(H22-13)地域未利用資源を活用したリキッドフィーディングシステムの開発	22	24	県単研究	家畜育種
家畜育種	84	(H22-14)地域未利用資源を活用した南部かしわの飼料給与技術の確立	22	24	県単研究	家畜育種
家畜育種	85	(H22-15)岩手独自の新軍鶏系統の開発	22	26	県単研究	家畜育種
家畜育種	86	(H22-30)パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料米への全量代替給与技術の確立	22	26	独法委託	家畜育種
家畜育種	87	(H22-29)発酵TMR素材としての自給高タンパク質飼料の低コスト調製・給与技術の開発(乳牛・肉用牛給与) (2)肉用牛への給与技術	22	26	独法委託	家畜飼養・飼料 家畜育種
家畜育種	88	(H22-35)DNA情報等を指標とした種雄牛選抜の実用化	22	26	令達	家畜育種
家畜育種	89	(H23-16)生産農場におけるパークシャー種豚群の遺伝的改良システムの構築	23	27	県単研究	家畜育種
家畜育種	90	(H23-17)黒毛和種における分娩後の採卵成績向上および早期受胎のための分娩前後の飼養管理技術の確立	23	26	県単研究	家畜育種
家畜育種	91	(H23-18)持続性黄体ホルモン製剤を用いた胚移植適期の拡大技術の確立	23	24	県単研究	家畜育種

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【家畜飼養・飼料研究室】</b>						
家畜飼養・飼料	92	(253)とうもろこし市販品種の特性比較	S54	25	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	93	(H22-18)飼料用トウモロコシ栽培における堆肥の効率的利用技術の確立	22	24	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	94	(H22-19)飼料作物栽培における土壌条件等に応じた減肥技術の確立	22	25	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	95	(H22-20)乳用育成牛から初産までのTMR給与技術の開発	22	25	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	96	(H22-31)不耕起栽培トウモロコシを導入した寒冷地向け飼料作物周年栽培作付体系の確立	22	26	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	97	(H23-15)乾乳期間の短縮が高泌乳牛に及ぼす影響の解明	23	26	県単研究	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	98	(H23-20)空気清浄機能を有する畜舎用換気装置の開発と実用化	23	25	独法委託	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	99	(H24-08)オーチャードグラス中生優良品種選定試験	24	26	県単独	家畜飼養・飼料
家畜飼養・飼料	100	(H24-20)イタリアンライグラス系統適応性試験	24	26	独法委託	家畜飼養・飼料
<b>【外山畜産研究室】</b>						
外山畜産	101	(H22-10)日本短角種の周年出荷に向けた飼養管理技術の確立	22	25	県単研究	外山畜産 家畜育種
外山畜産	102	(H22-16)リモートセンシング、GPSを活用した効率的な草地管理技術の確立	22	24	県単研究	外山畜産
外山畜産		(H22-16-1000)リモートセンシングによる草地管理情報の取得技術	22	24	県単研究	外山畜産
外山畜産		(H22-16-2000)トラクター搭載型GPSを活用した草地の精密管理技術	22	24	県単研究	外山畜産
外山畜産	103	(H22-17)作溝式播種機を活用した簡易な放牧地更新技術の確立	22	24	県単研究	外山畜産
外山畜産	104	(H24-09)黒毛和種の妊娠中後期における冬期飼養技術の確立	24	26	県単独	外山畜産
<b>【種山畜産研究室】</b>						
種山畜産	105	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	1	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	106	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	14	30	管理運営費	種山畜産
種山畜産	107	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	S62	30	管理運営費	種山畜産

主査 研究室	連番	(課題番号)課題名	開始	終了	予算区分	担当研究室
<b>【園芸研究室(県北研)】</b>						
園芸(県北)	108	(H21-08)ほうれんそう産地における夏期増収技術の確立	21	24	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)		(H21-08-4000)低濃度エタノールを用いたホウレンソウ萎凋病被害軽減技術	21	24	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	109	(H22-28)地球温暖化が果樹・野菜等の園芸作物および茶に及ぼす影響評価と適応技術の開発	22	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)	110	(H22-08)県北地域におけるりんどうの収益向上技術の確立	22	24	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)		(H22-08-1000)露地でのトンネル栽培による「極々早生6」の作期前進技術	22	24	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)		(H22-08-2000)りんどう有望系統の現地適応性	22	24	県単研究	園芸(県北)
園芸(県北)		(H22-08-3000)ハウス栽培における病害虫防除法	22	24	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	111	(H24-11)ホウレンソウケナガコナダニの総合防除体系の確立	24	26	国庫補助	園芸(県北)
園芸(県北)	112	(H24-12)県北地域における新たなねぎ出荷体系の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-12-1000)業務用規格に対応した栽培法の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-12-2000)青果用夏どりおよび冬どりハウス栽培法の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	113	(H24-13)県北地域における無側枝性ギクの栽培技術体系の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-13-1000)8～9月咲き無側枝性ギクの栽培技術体系の確立	24	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-13-2000)長期継続出荷のための有望品種の特性	25	26	県単	園芸(県北)
園芸(県北)	114	(H24-18)新作型開発による東北・北陸におけるタマネギの生産拡大	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-1000)県北地域における適する作型開発	24	26	独法委託	園芸(県北)
園芸(県北)		(H24-18-2000)ハウスを用いた乾燥方法の開発	24	26	独法委託	園芸(県北)
<b>【作物研究室(県北研)】</b>						
作物(県北)	115	(H22-22)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する雑穀優良種子の生産	22	26	令達	作物(県北)
作物(県北)	116	(H22-23)いわて雑穀生産・販売戦略を支援する品種開発と持続的安定生産技術の確立	22	26	国庫補助 県単研究, 令達	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-1000)加工・栽培特性に優れた雑穀オリジナル品種の開発と雑穀遺伝資源の収集・評価・保存	22	26	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-2000)安定生産を可能にする雑穀畑輪作技術の確立	22	26	県単研究 令達	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-3000)安定生産に向けた雑穀の適正施肥体系の確立	22	26	県単研究	作物(県北)
作物(県北)		(H22-23-4000)化学合成農薬を用いない雑穀病害虫防除技術の開発	22	26	国庫補助	作物(県北)
作物(県北)	117	(H24-10)雑穀の機械移植法の開発	24	26	県単独	作物(県北)

### (3) 平成25年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

(平成24年10月26日付け農研企第169号で要望機関に回答)

要望No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 (主査担当)	措置区分	
農 産 部 会	1	沿岸広域振興局 農林部宮古農林 振興センター	雇用を主体にした経営体が品目選定する際の候補とその技術 体系の提示	○農業経営研 究室	B
	2	全国農業協同組 合連合会岩手県 本部	水稲細菌病類の発生予察法の防除対策の確立	○病理昆虫研 究室、作物研 究室	A,D
	3	岩手県農産物改 良種苗センター	水稲細菌病類の総合防除技術の確立	○病理昆虫研 究室、作物研 究室	A
	4	農産園芸課	水稲育苗時における細菌病およびイネばか苗病の発生要因の 解明と効果的な総合防除技術の確立	○病理昆虫研 究室、作物研 究室	A,C
	5	中央農業改良普 及センター(県 域、八幡平、奥 州)	水稲種子伝染性病害(細菌病)の効果的な防除技術対策の構築	○病理昆虫研 究室、作物研 究室	A,D
	6	中央農業改良普 及センター(県域)	水田転換畑に対応したナンブコムギの栄養診断指標(生育目標 値)の作成	○作物研究 室、生産環境 研究室	B
	7	中央農業改良普 及センター(県域)	大豆のマメシンクイガに対する効率的な薬剤防除法の確立	○病理昆虫研 究室	A
	8	中央農業改良普 及センター(大船 渡)	大豆の生育に対応した追肥要否判断指標の策定	○生産環境研 究室、作物研 究室	B
	9	中央農業改良普 及センター(大船 渡)	大豆の夏期高温対策(畝間灌水等)について	○作物研究室	C
	10	農産物改良種苗 センター	そば新品種「にじゆたか」の生育・品種特性と本県栽培適応性	○県北 作物 研究室、作物 研究室	C
園 芸 部 会	1	農産園芸課	県内民間育成果樹品種の栽培特性の解明	○果樹研究室	B
	2	中央農業改良普 及センター(地 域、一関)	果実横径を目安とした各品種の摘果剤(商品名:マイクロデナポン 水和剤85)の使用法	○果樹研究室	A,B,C
	3	中央農業改良普 及センター(地域)	「紅いわて」の摘果強度の解明	○果樹研究室	B
	4	中央農業改良普 及センター(奥州)	りんご新品種「紅ロマン」「トキ」の品種特性の解明と栽培技術の 確立	○果樹研究室	A,B
	5	中央農業改良普 及センター(一関)	枝幹害虫「ヒメボクトウ」の効率的な防除体系の確立	○病理昆虫研 究室	B
	6	農産園芸課	簡易点滴かん水装置に対応した、主要果菜類における肥培管 理方法のマニュアル化について	○野菜花き研 究室、生産環 境研究室	B,C
	7	中央農業改良普 及センター(県域)	きゅうり褐斑病対象薬剤のメニュー拡大	○病理昆虫研 究室	B

【措置区分】 A:次年度実施予定 B:現在実施中 C:既知見あり D:次年度実施できない

要望No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 (主査担当)	措置区分	
園芸部会	8	中央農業改良普及センター(八幡平)	ほうれんそうの難防除雑草であるゴウシュウアリタソウの効果的な除草方法について	○県北 園芸研究室	A
	9	中央農業改良普及センター(宮古)	畑わさびにおけるナトビハムシ成虫の効果的な薬剤防除法	○病理昆虫研究室	B
	10	中央農業改良普及センター(二戸)	促成アスパラガスの長期安定出荷	○野菜花き研究室	A,B,C
	11	全国農業協同組合連合会岩手県本部	りんどうの安定供給	○野菜花き研究室	A,B,C
畜産部会	1	全国農業協同組合連合会岩手県本部	公共放牧地における乳用育成牛の受胎率の低下の原因究明と対策	○家畜飼養・飼料研究室	D
	2	中央家畜保健衛生所	疾病抵抗性遺伝子を活用した日本短角種集団の造成	○家畜育種研究室	A,D
	3	中央家畜保健衛生所	日本短角種自然交配放牧地における給血昆虫等媒介伝染病対策のための分離放牧技術の確立	○外山畜産研究室	D

【措置区分】 A:次年度実施予定 B:現在実施中 C:既知見あり D:次年度実施できない



## 5 共同研究等の推進

### (1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
施設園芸栽培の省力化・高品質実証研究	野菜茶業研究所(*)	24～29	レッドカーランツ及びカシスの栽培技術の確立	果樹
被災地域の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究	果樹研究所(*)	24～29	トマト低段栽培の周年高品質多収のための環境制御と群落管理技術の構築(インタープランティング技術)	南部園芸 野菜花き

### (2) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
地域内資源を循環利用する省資源型農業確立のための研究開発	東北農業研究センター(*)	21～24	水稻有機栽培に対応できる除草技術の確立	プロジェクト推進室
地域内資源を循環利用する省資源型農業確立のための研究開発	近畿中国四国農業研究センター(*)	21～25	低コスト養液土耕栽培による水田転換畑におけるリン酸肥料削減技術の実証	野菜花き
地域内資源を循環利用する省資源型農業確立のための研究開発	中央農業総合研究センター(*)	21～25	窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	生産環境
生産・流通・加工工程における体系的な有害要因の特性解明とリスク低減技術の開発(生食用野菜における病原微生物汚染の防止・低減技術の開発)	野菜茶業研究所(*)	21～24	生食用野菜生産環境からの食中毒菌の検出手法および可食部汚染低減手法の実証と改善(冷涼地)	生産環境
自給飼料を基盤とした国産畜産物の高付加価値化技術の開発	畜産草地研究所(*)	22～26	多収でいもち病抵抗性・耐冷性・識別性を有する飼料用米品種の育成	作物(技術部)
	国立大学法人山形大学	22～26	バークシャー種における輸入トウモロコシから飼料米への全量代替給与技術の確立	家畜育種
	畜産草地研究所(*)	22～26	発酵TMR素材としての高タンパク質飼料の低コスト調製・給与技術の開発	家畜育種 家畜飼養・飼料
	畜産草地研究所(*)	22～24	不耕起栽培とうもろこしを導入した寒冷地向け飼料作物周年作付体系の確立	家畜飼養・飼料
農林水産分野における地球温暖化対策のための緩和及び適応技術の開発	(独)農業環境技術研究所	22～26	果樹園における剪定枝チップ等の施用の影響解明	果樹
	中央農業研究センター(*)	22～24	地球温暖化が果樹・野菜等の園芸作物及び茶に及ぼす影響評価と適応技術の開発	園芸(県北研)

\* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

### (3) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(委託)

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
北東北地域向け非主食用多用途稲の直播品種及び直播栽培等関連技術の開発(課題番号:22087)	岩手県農業研究センター(地独)青森県産業技術センター(農林総合研究所)、(公財)岩手生物工学研究センター  【研究総括者】 岩手県農業研究センター 技術部作物研究室 佐々木 力	22～24	・研究総括 1「北東北地域に適応する非主食用多用途多収稲の品種開発」 岩手県南部向けの非主食用多収稲品種の開発  2「寒冷地における湛水直播栽培技術の確立」 湛水直播に係る技術の開発 開発技術の現地実証	作物(技術部) プロジェクト推進室

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
ウリ科作物に発生するホモプシス根腐病の総合的な被害回避技術の確立(課題番号: 22082)	東北農業研究センター(*), 秋田県立大学、宮城県農業・園芸総合研究所、福島県農業総合センター	22～24	2「被害リスクに応じた防除(被害回避)技術の開発」 「整枝管理による萎凋症状の緩和手法の開発」 「土壌改良資材による被害緩和技術の開発」	病理昆虫
遺伝子発現調節による和牛肉の不飽和度向上技術の開発(課題番号:2004)	山形県、宮城県、秋田県農林水産技術センター、東北大学、北海道大学、日本獣医生命科学大学	20～24	不飽和度を高める飼料及び給与技術の開発	家畜育種
空気清浄(脱臭・除菌)機能を有する畜舎用光触媒換気装置の開発と実用化(課題番号:23061)	【地独】岩手県工業技術センター、岩手大学、パウレックス(株)、㈱釜石電気製作所	23～25	5 群飼環境下における環境改善方法の確立	家畜飼養・飼料
涼しい夏を活かす！国産夏秋イチゴ安定多収技術の開発・実証(課題番号:23006)	東北農業研究センター(*), (地独)青森県産業技術センター野菜研究所他	23～25	2「花成制御による夏秋イチゴ安定多収技術の開発」 (1)「なつあかり」の長日処理等による安定多収技術の開発	南部園芸
カラーピーマンの光照射追熟技術を利用した増収栽培技術の開発(課題番号:23004)	野菜茶業研究所(*), 宮城県、山形県、長野県、高知県	23～25	2「光照射追熟を利用した早どり増収栽培技術の開発」 (1)「収穫果実の熟度、収穫時期および品種が光照射追熟に及ぼす影響の解明」	野菜花き
地球温暖化に対応したブドウおよびウメ新品種の開発と温暖化進行後の適地変化予測(課題番号:23029)	果樹研究所(*), 山梨県、福岡県、和歌山県、群馬県、石川県、愛媛県、鹿児島県	23～25	醸造用ぶどう品種開発 ③選抜系統の岩手県における地域適応性の解明	果樹
食料自給率向上に貢献できる実需者ニーズの高い大豆優良品種の育成(課題番号:23031)	作物研究所(*), (地独)北海道総合研究機構、北海道、長野県、新潟県、2農業協同組合、朝日食品工業(株)、福島県、京都府、千葉県、鹿児島県	23～25	(2)–⑨大豆立枯性病害抵抗性系統の評価	作物(技術部)
耐病性といもち病抵抗性を兼ね備えた極良食味及び業務用米品種の開発とその普及(課題番号:23038)	(地独)北海道立総合研究機構、北海道農業研究センター(*), 東北農業研究センター(*), 宮城県、秋田県、山形県、福島県、北海道	23～25	II.寒地における安定良質水稻品種の開発 エー①耐冷性特性調査	作物(技術部)
東北・北陸地域における新作型開発によるタマネギの端境期生産体系の確立(課題番号:24006)	東北農業研究センター(*), 東北農業研究センター(*), 山形県、富山県、弘前大学	24～26	1-(5)大規模畑作地帯を想定した栽培技術の開発 2-(2)望ましい干渉条件の検討	園芸(県北研)
転炉スラグによる土壌pH矯正を核としたフザリウム性土壌病害の耕種的防除技術の開発(課題番号:24015)	東北農業研究センター(*), (地独)青森県産業技術センター、宮城県、福島県、東京農業大学	24～26	1-(1)転炉スラグの効率的な施用によるホウレンソウ萎縮病の被害軽減技術の開発と実証	病理昆虫

\* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

**(4) 研究成果最適展開支援事業((独)科学技術振興機構、委託)**

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究)				
長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの安定生産技術の確立	東北農業研究センター(*), 岩手大学、サカタのタネ	24~26	選抜系統F1組合わせを用いた新作型の開発	野菜花き

**(5) その他独法等からの委託(10/10委託)**

事業・課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
生研センター・イノベーション創出基礎的研究推進事業(発展型研究一般枠Aタイプ)	(公財)岩手生物学研究センター	24~26	「ひとめぼれ」ゲノム資源を活用した重要遺伝子同定と実用品種育成	作物(技術部)
受託研究	生研センター(*)	24	リンゴ摘果用器具及び小型幹周草刈機に関するほ場試験	果樹
受託研究	中央農業総合研究センター(*)	24~25	育成地等からの麦類育成系統の耐寒雪性圃場検定	作物(技術部)
受託研究	東北農業研究センター(*)	24~25	イタリアンライグラスの系統適応性特性検定試験	家畜飼養・飼料
受託研究	(地独)岩手県工業技術センター	24	下水汚泥焼却灰からの回収リン酸及び脱リン残渣の肥効試験	生産環境

\* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

**(6) 民間委託試験(10/10委託)**

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託	病理昆虫、園芸(県北研)、作物(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託	作物(技術部)、果樹、家畜飼養・飼料、作物(県北研)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、大豆、りんご、ピーマン、キャベツ(育苗)、りんどう、小ぎく	果樹、作物(技術部)、野菜花き、生産環境、作物(県北研)、園芸(県北研)

**(7) (公財)岩手生物学研究センターとの共同研究**

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲重要形質と連鎖したDNAマーカーの探索	生命科学研究部(遺伝学ゲノム学研究分野)	H15~26	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーの開発及びそれらを用いた岩手オリジナル水稲品種の育成	作物(技術部)
DNAマーカー利用によるリンドウ新育種技術の開発と品種保護への応用	細胞工学研究部(分子育種研究分野)	H20~24	リンドウのDNAマーカーの整備及びそれらを用いた優良品種の育成法の確立 品種保護のために高精度かつ簡易なDNA鑑定技術の開発	野菜花き 病理昆虫
先端的技術を用いた岩手県独自の病害虫診断システムの基盤構築	生命科学研究部(植物病態分子研究分野)	H24~25	リンドウこぶ症関連ウイルス(GKaV)とこぶ症発症との因果関係の解明 分子生物学的な病害虫診断技術を利用した新たな病害虫防除システムの構築	病理昆虫

### (8) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	6～	果樹
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	7～	作物(技術部)
醸造用水稲品種の開発	工業技術センター	8～	作物(技術部)

### (9) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

#### ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種研究会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、岩手生物工学研究センター	10～	作物(技術部)
2 水稲栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	作物(技術部)
3 イワテヤマナン研究会	◎神戸大学大学院農学研究科、岩手大学農学部・教育学部、岩手県農業研究センターほか	24～	果樹
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、八幡平市花き研究開発センター	11～	野菜花き

※平成24年度協議会(11/16)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを掲載した。

#### イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
24.11.16	岩手大学農学部 1号館2階1号会議室	平成24年度岩手農林研究協議会(AFR)協議会
	岩手大学農学部 総合教育研究棟1階7番講義	第13回岩手農林研究協議会(AFR)シンポジウム
24.6.6	岩手大学農学部 1号館2階小会議室	平成24年度第1回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会
24.10.12		平成24年度第2回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会

### (10) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半兄弟家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半兄弟サンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	14～24	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
寒冷地向けイチゴ品種の育成に関する研究	東北農業研究センター(*) (地独)青森県産業技術センター 宮城県農業・園芸総合研究所 秋田県農業試験場 山形県	24～27	選抜初期世代から東北各地域における適応性を検定し、安定生産を可能にする寒冷地向けイチゴ品種の育成の効率化を実現する。	南部園芸研究室

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
アラキドン酸生成遺伝子の多型と黒毛和種のおいしさとの関連性の解明	畜産草地研究所(*) 茨城県畜産センター (株)J-オイルミルズ	24～25	黒毛和種のアラキドン酸の生成に関わる酵素の遺伝子多型と牛肉のおいしさの関連性を明らかにする。	家畜育種

\* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

### (11) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
産学官連携フォーラム いわて産学連携推進協議会 (リエゾン I)	24.11.9	滝沢村 (岩手県立 大学)	研究シーズ発表による県内企業とのマッチング  (事務局:岩手大学地域連携推進センター)	研究企画

### ※1 平成24年度リエゾン-Iマッチングフェアに出展した研究シーズ(研究シーズ集掲載)

研究シーズ名	担当研究室
粘りを活かして献立いろいろ ～ 低アミロース水稻新品種「岩手91号」～	作物(技術部)、作物(県北研)
低コストで排水を系外に出さない閉鎖型高設栽培“エコ”システム	南部園芸
<b>(以下は「研究シーズ集」掲載のみ)</b>	
健康志向の雑穀(ヒエ「ねばりっこ」)でお菓子を作りませんか	作物(県北研)
いわてオリジナル新形質米品種 ～ 機能性!色!香り!用途はあなた次第～	作物(技術部)
果肉が褐変しにくいカットフルーツに好適な赤リンゴ「紅いわて」	果樹
耐寒性が強く食味良好なぶどう「エーデルロツ」	果樹
大玉でジューシーな赤色りんご新品種「大夢」	果樹
敬老の日に彩りを～鉢物りんどう新品種「ももずきんちゃん」	野菜花き
作業労力を軽減できるリンドウ選花作業台セットを開発しました	農業経営
そばや盛岡冷麺のクズ、おからなどの地域未利用資源で作るブランド豚及び地鶏の自給飼料	家畜育種

## 6 現地試験の実施

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
寒冷地における湛水作溝同時直播栽培技術の確立 湛水直播栽培における多収生産技術の現地実証	一関市 花巻市 八幡平市	中里 西宮野目 田頭	<b>プロジェクト推進室</b> (技術部作物)
水稲有機栽培における除草機を中心とした栽培管理技術の評価	一関市	大東町大原 (2カ所)	
麦類密条用小畦立て播種技術の現地実証 (H23播種)	盛岡市	玉山区武道	
(H23播種) (H23播種) (H23播種) (H24播種) (H24播種)	金ヶ崎町 花巻市 奥州市 花巻市 奥州市	六原 円万寺 江刺区稲瀬 西宮野目 佐倉河	
寒冷地におけるナタネ生産現地実証試験 (H23播種)	雫石町	鶯宿	
県産米の品質・食味トップブランド現地栽培実証 (施肥合:いわて純情米総合実証展示圃)	奥州市 奥州市 金ヶ崎町 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 盛岡市 盛岡市 雫石町 八幡平市 九戸村	水沢区佐倉河 胆沢区北大畑 永栄 江刺区稲瀬 飯豊 西宮野目 東和町前田 中太田 土淵 西安庭 平笠 荒谷	技術部 作物
水稲奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (糯) (糯)	雫石町 紫波町 八幡平市 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 大船渡市 遠野市 山田町 洋野町 二戸市 九戸村 岩手町	上野 星山 大更 矢沢 沢内前郷 江刺区稲瀬 菽荘 日頃市 上郷町 豊間根 宿戸 安比 荒谷 土川	
麦類耐寒雪性特性検定試験	一戸町	奥中山	
麦類奨励品種決定調査(現地調査)	一関市 矢巾町	舞川 煙山	
大豆奨励品種決定調査(現地調査)	奥州市 滝沢村	前沢区 大沢	

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
リンゴ育種系統の現地適応性試験	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢	技術部 果樹
低コスト養液土耕装置を利用した効率的施肥法の確立(ピーマン)	遠野市 九戸村	松崎 伊保内	技術部 野菜花き
涼しい夏を活かす！ 国産夏秋イチゴ安定多収生産技術の開発・実証	陸前高田市	横田町	技術部 南部園芸
リンドウ採花期間における環境にやさしい肥料の検討	八幡平市	安代	環境部
水稻のケイ酸質資材の施用効果	盛岡市 花巻市 北上市 一関市	都南 東和 和賀 萩荘	生産環境
水稻に対するケイ酸入り基肥用配合肥料の効果	花巻市	石鳥谷	
てんろ炭カルの施用効果	奥州市	水沢区	
高窒素鶏ふん堆肥の機械施肥適合性実証	岩手町 金ヶ崎町	久保 六原	
大豆のセシウム吸収抑制対策技術の効果確認	県内4カ所		
広域的な葉いもち防除の徹底による穂いもち防除を省略した いもち病防除体系の確立	奥州市	江刺区 水沢区	環境部 病理昆虫
斑点米被害を低く抑える水稻出穂期以降の畦畔雑草管理対策	奥州市	水沢区	
キュウリホモブシス根腐病の防除技術確立	遠野市 花巻市 一関市	宮守達曾部 約7a×3筆 湯本糠塚 花泉町	
新農薬の効果検定と防除指針作成	奥州市 盛岡市	江刺区 (ホップ) 羽場 (ミニトマト)	
ハウレンソウ栽培で問題となる病害の防除技術の確立	久慈市	山形村	
リンドウホソハマキの効率的防除技術の確立	花巻市	太田	
不耕起栽培とうもろこしを導入した寒冷地向け飼料作物周年作付け 体系の確立	滝沢村		畜産研究所 家畜飼養・飼料
トウモロコシ市販品種の特性比較	岩泉町 遠野市		外山畜産研究室
トラクタ搭載型GPSを活用した草地の精密管理技術	洋野町 岩泉町		
作溝式播種機を活用した簡易な放牧地更新技術の確立	西和賀町		
黒毛和種の妊娠中後期における冬期屋外飼養技術の確立	洋野町		

内 容 ( 試験研究課題名 )	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
低濃度エタノールを用いたホウレンソウ萎凋病 被害軽減試験	久慈市	侍浜	県北農業研究所 園芸
たまねぎの新作型栽培法の確立	九戸村	江刺家	
りんどうトンネル栽培による作期前進実証 (県北地域におけるりんどうの収益性向上技術の確立)	九戸村	江刺家	
りんどう施設栽培における病害虫発生実態調査 (県北地域におけるりんどうの収益性向上技術の確立)	軽米町	山内	
加工・栽培特性に優れた雑穀オリジナル品種の開発と雑穀遺伝資 源の収集・評価・保存	軽米町	3地区	県北農業研究所 作物
安定生産を可能にする雑穀畑輪作技術の確立	二戸市 軽米町	上海上 長倉	
化学合成農薬を用いない雑穀病害虫防除技術の開発	軽米町 九戸村	長倉 江刺家	
雑穀の移植法の開発 (1)機械移植 (2)移植	軽米町 軽米町 九戸村	長倉 長倉 江刺家	



# 試験研究の成果



### Ⅲ 試験研究の成果

#### 1 試験研究成果

##### (1)平成24年度成果数

成果区分	普及 (普及に移しうる 成果)	指導 (技術指導に 参考となる成果)	行政 (行政施策等に反 映すべき成果)	研究 (研究手法等に 関する成果)	総計
1 農業構造・経営管理	0	1	4	0	5
2 水稻	0	1	3	0	4
3 畑作物	0	2	0	0	2
4 果樹	1	2	0	0	3
5 野菜	0	2	0	0	2
6 花き	0	0	0	0	0
7 作業技術	4	0	0	0	4
8 環境保全	0	0	0	0	0
9 土壌作物栄養	0	1	0	0	1
10 病虫害制御	0	7	0	1	7
11 食の安全	0	0	0	0	0
12 乳用牛	0	0	0	0	0
13 肉用牛	0	1	6	0	7
14 中小家畜(豚・鶏)	0	1	0	0	1
15 草地・飼料作物	3	1	0	1	5
16 家畜バイオテクノロジー	0	0	3	1	3
17 畜産環境	0	1	0	0	1
18 県北農業振興	1	4	0	0	5
19 震災復興	0	0	1	0	1
[ 計 ]	9	24	17	3	51

普及:農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果

指導:普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果

行政:行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの

研究:研究手法・分析手法、育種母本等に関するもの

## (2) 平成24年度成果名一覧

### 【普及(普及に移しうる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
作業技術	(H24-普-01)	水稲湛水作溝同時直播栽培における新たな低コスト排水装置	プロジェクト推進室
作業技術	(H24-普-02)	水稲有機栽培における機械除草を中心とした除草体系	プロジェクト推進室
作業技術	(H24-普-03)	湛水直播栽培における「つぶみのり」、「つぶゆたか」の出穂期予測に基づき目標収量別の播種期間の設定	プロジェクト推進室
作業技術	(H24-普-04)	ディスク式畑用中耕除草機を改良した麦・大豆用畦立て播種機	プロジェクト推進室
果樹	(H24-普-05)	ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」は短梢せん定に適する	果樹
草地・飼料作物	(H24-普-06)	ライ麦と飼料用トウモロコシ二毛作におけるトウモロコシ播種期および窒素施肥量	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	(H24-普-07)	作溝式播種機を用いることによる傾斜放牧地での初冬期播種技術の有効性	外山畜産
草地・飼料作物	(H24-普-08)	大規模草地におけるトラクタ搭載型GPS作業支援システムを活用した牧草反転作業精度の向上	外山畜産
県北農業振興	(H24-普-09)	粒が黄色く大きい短稈・多収の糯アワ新品種「アワ岩手糯3号」の育成	作物(県北)

### 【指導(技術指導に参考となる成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
農業構造・経営管理	(H24-指-01)	農業技術体系データ⇒Z-BFMデータ変換ツール [FS-DATA to Z-BFM]	農業経営
水稲	(H24-指-02)	平成24年岩手県産水稲の生育経過の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術)
畑作物	(H24-指-03)	平成24年岩手県産小麦の生育経過の概要と特徴	作物(技術)
畑作物	(H24-指-04)	平成24年岩手県産大豆の生育経過の概要と特徴・特に夏季高温干ばつの影響の解析	作物(技術)
果樹	(H24-指-05)	りんご新規鮮度保持剤「1-MCP剤(スマートフレッシュTM)」の利用上の留意点	果樹
果樹	(H24-指-06)	ブルーベリーの特性評価と優良品種の選定(追補)	果樹
野菜	(H24-指-07)	点滴かん水を利用した露地ピーマンのリン酸減肥技術と導入効果	野菜花き
野菜	(H24-指-08)	トマトの低温障害果発生にかかる品種間差異と対策	野菜花き
土壌作物栄養	(H24-指-09)	大豆の安定生産のための土壌pH改良効果	生産環境
病害虫制御	(H24-指-10)	水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策	病理昆虫
病害虫制御	(H24-指-11)	ダイズ害虫ウコンノメイガの要防除水準	病理昆虫
病害虫制御	(H24-指-12)	キュウリ黒星病に対する感受性の品種間差異	病理昆虫
病害虫制御	(H24-指-13)	施設ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニの放飼条件	病理昆虫

分野	成果番号	成 果 名	担当研究室
病虫害制御	(H24-指-14)	施設ピーマンにおける光反射資材の害虫侵入抑制効果	病理昆虫
病虫害制御	(H24-指-15)	施設なすにおける光反射資材の害虫侵入抑制効果	病理昆虫
病虫害制御	(H24-指-16)	リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果	病理昆虫
畜産環境	(H24-指-17)	飼料用トウモロコシ栽培における耕起作業前後の堆肥施用効果	家畜飼養・飼料
草地・飼料作物	(H24-指-18)	飼料用トウモロコシ栽培における効果的な除草剤処理法	家畜飼養・飼料
肉用牛	(H24-指-19)	日本短角種における舎飼期自然交配により生産された早生まれ子牛の発育成績	外山畜産
中小家畜(豚・鶏)	(H24-指-20)	発酵バターミルク等を活用したリキッドフィーディング	家畜育種
県北農業振興	(H24-指-21)	ほうれんそう産地における土壌中の硫酸イオン蓄積の実態と蓄積要因	園芸(県北)
県北農業振興	(H24-指-22)	県北地域におけるりんどう「いわて夢あおい」露地トンネル栽培の不織布被覆期間およびその効果	園芸(県北)
県北農業振興	(H24-指-23)	アワ、キビの移植栽培における移植時期と適する栽植密度	作物(県北)
県北農業振興	(H24-指-24)	ヒエを加害するイネヨトウの越冬世代羽化消長とBT剤による防除時期	作物(県北)

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
震災復興	(H24-行-01)	カリ施用による大豆子実中の放射性セシウム低減効果	生産環境
農業構造・ 経営管理	(H24-行-02)	高規格ハウスによる大規模トマト専作経営の成立条件	農業経営
農業構造・ 経営管理	(H24-行-03)	2010年農林業センサスから見た東北各県の大規模経営体の動向	農業経営
農業構造・ 経営管理	(H24-行-04)	2010年農林業センサスから見た岩手県の施設野菜の現状と課題	農業経営
農業構造・ 経営管理	(H24-行-05)	岩手県産なすの競争ポジショニングと対応方向	農業経営
水稲	(H24-行-06)	平成24年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査結果	作物(技術)
水稲	(H24-行-07)	平成25年度水稲奨励品種決定試験本調査・現地調査に新たに供試する「ふ系糯234号」「岩手106号」「東北206号」	作物(技術)
水稲	(H24-行-08)	平成25年度水稲奨励品種決定試験予備調査に供試する「岩手109号」「岩手110号」「岩手111号」	作物(技術)
肉用牛	(H24-行-09)	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種
肉用牛	(H24-行-10)	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種
肉用牛	(H24-行-11)	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産
肉用牛	(H24-行-12)	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産
肉用牛	(H24-行-13)	黒毛和種子牛市場における県有種雄牛産子の評価	種山畜産
肉用牛	(H24-行-14)	「来待招福」産子の母方祖父別枝肉成績	種山畜産
家畜バイオ テクノロジー	(H24-行-15)	種雄牛「来待招福」のQTL解析結果と後継牛のQTL保有状況	家畜育種
家畜バイオ テクノロジー	(H24-行-16)	岩手県内の黒毛和種および日本短角種集団における枝肉重量QTL(CW-1)の効果	家畜育種
家畜バイオ テクノロジー	(H24-行-17)	日本短角種の枝肉中の脂肪酸割合の遺伝的影響	家畜育種

【研究(研究手法等に関する成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室
草地・飼 料作物	(H24-研-01)	人工衛星画像を用いた大規模草地の広葉雑草(エゾノギシギシ)被覆率の推定	外山畜産

## 2 追跡評価

※本年度の追跡評価結果については、取扱いについて検討中である。

### (1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

### (2) 追跡評価の調査方法

#### ア 評価1(評価の視点「現在も有効な成果であるか」)

(ア) 評価対象 平成9年度から平成21年度までに公表した「普及」、「指導」区分の試験研究成果

(イ) 評価方法 成果の主査研究室が関係研究室と調整の上、自己評価

(ウ) 評価区分

A:(現在でも)有効

B: 目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)

C: 後年度の成果に反映(更新)

D: 無効(Bの概念にふくまないもの)

#### イ 評価2(評価の視点「成果が経済的活動等で活用されているか」)

(ア) 評価対象

a 平成21年度に公表した「普及」区分の研究成果

b 平成21年度に公表した「指導」区分の研究成果

(イ) 評価方法

a 「普及区分」

(a) 本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果は、自己評価を実施(別紙様式「平成22年度追跡評価調書(普及区分)」)

① 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)

※ 農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象

② 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)

③ いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

④ 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

(b) 上記(a)以外の成果は、成果の活用状況(「成果活用による効果等」)について、以下により、生産者等に調査を依頼

① 評価調書による調査: 成果毎に調査対象者\*1を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象者は、農業改良普及センターの協力を得て選定

a 「指導区分」

(a) 成果の活用状況(「技術指導の参考」、「指導効果」)について、主要農業改良普及センター等に調査を依頼

(b) 評価区分

a 評価調書による調査: 成果毎に調査対象者を定め、評価調書による調査を依頼

※ 調査対象は、中央農業改良普及センターの協力を得て選定

### 3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

#### (1) 研究成果数

推進部会名	稲	畑作物	農業生産基盤	生産環境	果樹	畜産	計
研究成果数	2	1	1	1	2	2	9

#### (2) 研究成果名

推進部会名	成 果 名	分 類	主査研究室
稲	水稲有機栽培における機械除草を中心とした多年生雑草も除草可能な除草体系	普及	プロジェクト推進室
	湛水土中直播における「つぶみのり」「つぶゆたか」の目標収量別の播種期間設定	研究	プロジェクト推進室
畑作物	ディスク式畑用中耕除草機を改良した麦・大豆用畦立て播種機	研究	プロジェクト推進室
農業生産基盤	水稲湛水作溝同時直播栽培における低コスト作溝装置	研究	プロジェクト推進室
生産環境	大豆の安定生産のための土壌pH改良効果	研究	生産環境
果樹	ブドウ白色大粒品種「シャインマスカット」は短梢せん定に適する	普及	果樹
	リンゴ新規鮮度保持剤「2-MCP剤」の利用上の留意点	研究	果樹
畜産	岩手県内の黒毛和種および日本短角種における枝肉重量QTL (CW-1) の効果	研究	家畜育種
	ライ麦と飼料用トウモロコシ二毛作におけるトウモロコシ播種期および窒素施肥量	普及	家畜飼養・飼料



# 試験研究成果の発表



## IV 試験研究成果の発表

### 1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
<b>プロジェクト推進室</b>			
プロ推 24-No.1	平成23年度 試験研究成績書 プロジェクト推進室	24.9	106
プロ推 24-No.2	平成24年度 試験研究成績書 プロジェクト推進室	25.3	134
<b>企画管理部</b>			
経営 24 No.1	農業技術体系データ⇒Z-BFMデータ変換ツール [FS-DATA to Z-BFM操作マニュアル]	24.10	21
経営 24 No.2	岩手県産なすの競争ポジショニングと対応方向	25.2	138
経営 24 No.3	2010年農林業センサスを活用した農業構造動向分析	25.2	773
経営 24 No.4	高規格ハウスによる大規模トマト専作経営の成立条件 －大規模施設園芸経営の事例調査から－	25.2	22
経営 24 No.5	平成24年度試験研究成績書	25.3	145
<b>技術部</b>			
技術24 No.1	平成22年度 技術部作物研究室作物栽培・種子チーム試験成績書(技術部作物研究室)	24.6	109
技術24 No.2	平成23年度 技術部作物研究室作物栽培・種子チーム試験成績書(技術部作物研究室)	24.6	206
技術24 No.3	平成20年度 技術部作物研究室試験成績書(作物栽培・種子生産)(技術部作物研究室)	24.7	117
技術24 No.4	平成20年度 水稻新品種育成試験成績書(技術部作物研究室)	24.7	133
技術24 No.5	平成21年度 水稻新品種育成試験成績書(技術部作物研究室)	24.6	113
技術24 No.6	平成23年度 試験成績書 技術部果樹研究室	24.3	148
技術24 No.7	平成21年度 技術部作物研究室試験成績書(作物栽培・種子生産)(技術部作物研究室)	24.7	116
技術24 No.10	平成22年度 花き試験成績書(技術部野菜花き研究室)	25.1	67
技術24 No.11	平成23年度花き試験成績書(技術部野菜花き研究室)	25.2	64
技術24 No.12	平成13～23年度花き育種試験成績書	25.3	146
<b>環境部</b>			
環境 24 No.1	平成24年度 試験研究成績書(生産環境研究室)	25.3	未定
環境 24 No.1	平成24年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	25.3	310
<b>病虫害防除部</b>			
	平成24年度 植物防疫事業年報	25.5	169
	2011,2012年岩手県におけるオオタバコガ発生の記録	25.2	30

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
畜産研究所 畜産 24 No.1	平成24年度試験成績書(畜産研究所)	25.3	78
県北農業研究所 県北 24 No.1	平成20年度 試験研究成績書(園芸研究室)	25.3	150
県北 24 No.2	平成20年度 試験研究成績書(作物研究室)	25.3	195
県北 24 No.3	平成21年度 試験研究成績書(園芸研究室)	25.3	180
県北 24 No.4	平成21年度 試験研究成績書(作物研究室)	25.3	150
県北 24 No.5	平成22・23年度 試験研究成績書(園芸研究室)	25.3	160
県北 24 No.6	平成22・23年度 試験研究成績書(作物研究室)	25.3	150

## 2 研究レポート(平成24年度発行分)

No	タイトル	担当研究室
661	水稲湛水作溝同時直播栽培における新たな低コスト排水装置	プロジェクト
662	湛水直播栽培における「つぶみのり」、「つぶゆたか」の出穂期予測に基づき目標収量別の播種期間の設定	プロジェクト
663	水稲有機栽培における機械除草を中心とした除草体系	プロジェクト
664	ディスク式畑用中耕除草機を改良した麦・大豆用畦立て播種機	プロジェクト
665	ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」は短梢せん定に適する	果樹
666	りんご新規鮮度保持剤「1-MCP(スマートフレッシュTM)」の利用上の留意点	果樹
667	ブルーベリーの特性評価と優良品種の選定(追補)	果樹
668	点滴かん水を利用した露地ピーマンのリン酸減肥技術と導入効果	野菜花き
669	トマトの低温障害果発生にかかる品種間差異と対策	野菜花き
670	大豆の安定生産のための土壌pH改良効果	生産環境
671	水稲出穂期以降のアカスジカスミカメ防除対策	病理昆虫
672	ダイズ害虫ウコンノメイガの要防除水準	病理昆虫
673	キュウリ黒星病に対する感受性の品種間差異	病理昆虫
674	施設ピーマンにおけるスワルスキーカブリダニの定着促進	病理昆虫
675	施設ピーマンにおける光反射資材の害虫侵入抑制効果	病理昆虫
676	施設なすにおける光反射資材の害虫侵入抑制効果	病理昆虫
677	リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果	病理昆虫
678	発酵バターミルク等を活用したリキッドフィーディング	家畜育種
679	ライ麦と飼料用トウモロコシ二毛作におけるトウモロコシ播種期と窒素施肥量	家畜飼養・飼料
680	飼料用トウモロコシ栽培における耕起作業前後の堆肥施用効果	家畜飼養・飼料
681	飼料用トウモロコシ栽培における効果的な除草剤処理法	家畜飼養・飼料
682	作溝式播種機を用いることによる傾斜放牧地での初冬期播種技術の有効性	外山畜産
683	大規模草地におけるトラクタ搭載型GPS作業支援システムを活用した牧草反転作業精度の向上	外山畜産
684	日本短角種における舎飼期自然交配により生産された早生まれ子牛の発育成績	外山畜産
685	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定)成績	種山畜産

No	タイトル	担当研究室
686	ほうれんそう産地における土壌中の硫酸イオン蓄積の実態と蓄積要因	園芸(県北)
687	県北地域におけるりんどう「いわて夢あおい」露地トンネル栽培の不織布被覆期間およびその効果	園芸(県北)
688	粒が黄色く大きい短稈・多収の糯アワ新品種「アワ岩手糯3号」の育成	作物(県北)
689	ヒエを加害するイネヨトウの越冬世代羽化消長とBT剤による防除時期	作物(県北)
690	アワ、キビの移植栽培における移植時期と適する栽植密度	作物(県北)
691	農業技術体系データ⇒Z-BFMデータ変換ツール	農業経営

### 3 岩手県農業研究センター研究報告

第12号(平成25年3月発行)

区分	論文題名	著者	所属
報文	堆肥施用条件下におけるホウレンソウの窒素吸収特性と可給態窒素の評価法	小田島ルミ子	元生産環境部土壌作物栄養研究室 (現 農林水産部農業普及技術課)
	短稈・低アミロースヒエ新品種「ねばりっこ1号」、「ねばりっこ2号」、「ねばりっこ3号」	仲條眞介	県北農業研究所作物研究室
		長谷川聡	元県北農業研究所やませ利用研究室 (現 中央農業改良普及センター)
		吉田宏	元県北農業研究所作物研究室 (現 農林水産部農村計画課)
		漆原昌二	元県北農業研究所やませ利用研究室 (現 技術部野菜花き研究室)
		阿部陽	元技術部作物研究室 (現 公益財団法人岩手生物工学研究センター)
		阿部知子	理化学研究所 仁科加速器研究センター
		福西暢尚	理化学研究所 仁科加速器研究センター
		龍頭啓充	京都大学大学院工学研究科 附属光・電子理工学教育研究センター
	大清水保見	元県北農業研究所作物研究室	
イチゴの育苗期の夜冷短日処理と追肥による連続出蕾技術の開発	藤尾拓也	技術部南部園芸研究室 (現 技術部野菜花き研究室)	
	佐々木裕二	技術部南部園芸研究室	
	佐藤弘	元技術部南部園芸研究室 (現 岩手県立農業大学校)	
要報	肥育豚における玄米混合給与が発育と肉質におよぼす影響	佐々木直	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 県北広域振興局農政部)
		吉田力	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 中央農業改良普及センター)
	南部かしわ肥育における冷めんクズとさな粉の飼料としての給与法	佐藤直人	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 畜産研究所家畜飼養・飼料研究室)
		吉田力	元畜産研究所家畜育種研究室 (現 中央農業改良普及センター)
	イムノクロマト法によるコムギ玄麦およびダイズ子実中カドミウム濃度簡易測定法	中野亜弓	元環境部生産環境研究室
		高橋彩子	環境部生産環境研究室
小菅裕明		元環境部生産環境研究室 (現 県北農業研究所作物研究室)	
阿部薫		独立行政法人農業環境技術研究所	
資料	2010年の夏季高温が水稻品質に及ぼした影響	菅原浩視	技術部作物研究室
		吉田宏	元県北農業研究所作物研究室 (現 農林水産部農村計画課)

#### 4 学会等研究報告

##### (1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

H23年分

##### 岩手県農業研究センター研究報告(11号)

<p>高橋昭喜・及川一也*1・渡邊麻由子・井村裕一*2・小黒澤清人(2011)</p> <p>大豆小畦立て播種機の開発及び導入効果</p> <p>岩手県農業研究センター研究報告 11:1-16</p> <p>*1 八幡平農業改良普及センター *2 岩手県農林水産部農産園芸課</p>
<p>星 伸枝*1・竹澤 利和*2・阿部 潤*3・佐々木 力*4</p> <p>リンドウ種苗生産のための組織培養システム</p> <p>岩手県農業研究センター研究報告 11:17-33</p> <p>*1 元農産部応用生物工学研究室(現 技術部野菜花き研究室) *2 元農産部応用生物工学研究室(現 県南広域振興局) *3 元農産部応用生物工学研究室(現 岩手県生物工学研究所) *4 元農産部旧応用生物工学研究室(現 技術部作物研究室)</p>
<p>畠山 隆幸*1・高橋 司*1・大野 浩*2・小野田 和夫*3・田村 博明*4・小野 浩司*4・小原 繁*1・奥平 麻里子*5・佐々木 仁*4・河田 道子*4・佐々木 真人*6・石川 勝規*7・鈴木 哲*8・久米 正明*9・浅川 知則*10・長崎 優子*10・藤根 勝榮*3・佐藤 秀継*11</p> <p>リンゴ新品種「岩手7号」</p> <p>岩手県農業研究センター研究報告 11:34-42</p> <p>*1 技術部果樹研究室 *2 元技術部園芸研究室(現 農林水産部農産園芸課) *3 元園芸畑作物部 *4 元技術部園芸研究室(現 中央農業改良普及センター) *5 元園芸畑作物部果樹研究室(現 宮古農業改良普及センター) *6 元園芸試験場果樹部(現 宮古農業改良普及センター) *7 元園芸畑作物部果樹研究室(現 大船渡農業改良普及センター) *8 元園芸畑作物部果樹研究室(現 一関農業改良普及センター) *9 元園芸畑作物部果樹研究室(現 二戸農業改良普及センター) *10 元園芸畑作物部果樹研究室(現 農林水産部農業普及技術課) *11 元園芸畑作物部果樹研究室</p>
<p>大野 浩*1・田村 博明*2・小野 浩司*2・小原 繁*3・小野田 和夫*4・佐々木 仁*5・三浦 晃弘*6・鈴木 哲*7・藤根 勝榮*4</p> <p>ブドウ新品種「岩手3号」</p> <p>岩手県農業研究センター研究報告 11:43-47</p> <p>*1 元技術部園芸研究室(現 農林水産部農産園芸課) *2 元技術部園芸研究室(現 中央農業改良普及センター) *3 技術部果樹研究室 *4 元園芸畑作物部 *5 元園芸畑作物部果樹研究室(現 中央農業改良普及センター) *6 元園芸畑作物部果樹研究室(現 久慈農業改良普及センター) *7 元園芸畑作物部果樹研究室(現 一関農業改良普及センター)</p>

##### The Plant Journal

<p>Yudai Okuyama*1, Hiroyuki Kanzaki*1, Akira Abe, Kentaro Yoshida*1, Muluneh Tamiru*1, Hiromasa Saitoh*1, Takahiro Fujibe*1, Hideo Matsumura*1, Matt Shenton*1, Dominique Clark Galam*1, Jerwin Undan*1, Akiko Ito*1, Teruo Sone*2, Ryohei Terauchi*1 (2011)</p> <p>A multifaceted genomics approach allows the isolation of the rice <i>Pia</i>-blast resistance gene consisting of two adjacent NBS-LRR protein genes.</p> <p>The Plant Journal 66:467-479</p> <p>*1 Iwate Biotechnology Research Center, *2 Graduate School of Agriculture, Hokkaido University</p>
---

##### Nature Biotechnology

<p>Akira Abe#, Shunichi Kosugi*1#, Kentaro Yoshida*1, Satoshi Natsume*1, Hiroki Takagi*1, Hiroyuki Kanzaki*1, Hideo Matsumura*1, Kakoto Yoshida*1, Chikako Mitsuoka*1, Muluneh Tamiru*1, Hideki Innan*2, Liliana Cano*3, Sophien Kamoun*3, Ryohei Terauchi*1 (2012)</p> <p>Genome sequencing reveals agronomically important loci in rice using MutMap.</p> <p>Nature Biotechnology 30:174-178</p> <p>*1 Iwate Biotechnology Research Center, *2 Graduate University for Advanced Studies, *3 The Sainsbury Laboratory # These authors contributed equally to this work.</p>
--



## Theoretical and Applied Genetics

Akira Abe, Hiroki Takagi\*1, Takahiro Fujibe\*1, Koichiro Aya\*2, Mikiko Kojima\*3, Hitoshi Sakakibara\*3, Aiko Uemura\*1, Makoto Matsuoka\*2, Ryohei Terauchi\*1 (2012)

*OsGA20ox1*, a candidate gene for a major QTL controlling seedling vigor in rice.

Theoretical and Applied Genetics

\*1 Iwate Biotechnology Research Center, \*2 Bioscience and Biotechnology Center, Nagoya University, \*3 Plant Science Center, RIKEN

## 園芸学研究

大野浩・田村博明(2011)

リンゴJM7台‘ふじ’の簡便な樹勢判定方法.

園芸学研究 10:559-563

## H24年分

### 岩手県農業研究センター研究報告(12号)

小田島 ルミ子\*1

堆肥施用条件下におけるホウレンソウの窒素吸収特性と可給態窒素の評価法

岩手県農業研究センター研究報告 12:1-41

\*1 旧土壌作物栄養研究室(現 農林水産部農業普及技術課)

仲條 真介\*1・長谷川 聡\*2・吉田 宏\*3・漆原 昌二\*4・阿部 陽\*5・阿部 知子\*6・福西 暢尚\*6・龍頭 啓充\*6,7・大清水 保見\*8

短稈・低アミロースヒエ新品種「ねばりっこ1号」, 「ねばりっこ2号」, 「ねばりっこ3号」の育成

岩手県農業研究センター研究報告 12:43-60

\*1 県北農業研究所 作物研究室

\*2 旧県北農業研究所 やませ利用研究室(現 中央農業改良普及センター)

\*3 県北農業研究所 作物研究室(現 農林水産部農村計画課)

\*4 旧県北農業研究所 やませ利用研究室(現 技術部 野菜花き研究室)

\*5 技術部 作物研究室(現 公益財団法人 岩手生物工学研究センター)

\*6 理化学研究所 仁科加速器研究センター

\*7 京都大学大学院工学研究科 附属光・電子理工学教育研究センター

\*8 県北農業研究所 作物研究室(退職)

藤尾 拓也\*1・佐々木 裕二\*2・佐藤 弘\*3

イチゴの育苗期の夜冷短日処理と追肥による連続出蕾技術の開発

岩手県農業研究センター研究報告 12:61-74

\*1 南部園芸研究室(現 技術部野菜花き研究室)

\*2 南部園芸研究室

\*3 南部園芸研究室(現 岩手県立農業大学校)

## Acta Horticulturae

○Takayuki Yamaguchi(2012)

Effects of Short-Day Photoperiod on the Growth of Asparagus in Autumn.

Acta Horticulturae. 950:253-260.

## Journal of the Japanese Society for Horticultural Science(園芸学会英文誌)

○Tomoo Maeda\*1・Tatsuru Jishi\*2・Akinori Komura\*1・Hiroki Hasegawa\*1・Kaori Narita\*1・Kazushige Honda\*1・Takayuki Yamaguchi(2012)

Methyl Jasmonate Treatment Enhanced Protodioscin Biosynthesis of White Asparagus (*Asparagus officinalis* L.) Spears.

J. Japan. Soc. Hort. Sci. 81(4):337-342.

\*1弘前大学 \*2北海道立上川農業試験場

## 寒地技術論文・報告集

○前田智雄\*・山口貴之(2012)

北日本の気候特性を活かした農業の試み.

寒地技術論文・報告集 28:480-482.

\*弘前大学

#### 北日本病害虫研究会報

○岩館 康哉(2012) 露地夏秋作型の自根キュウリにおいて確認された黒点根腐病について 北日本病害虫研究会報 63:60-64.
○岩館 康哉(2012) キュウリホモブシ根腐病に対するクロルピクリンくん蒸剤を用いた深層土壌くん蒸処理の防除効果 北日本病害虫研究会報 62:65-69.
○岩館 康哉(2012) 岩手県の主要な四季成り性イチゴ品種の萎黄病抵抗性について 北日本病害虫研究会報 63:97-99.
○横田 啓・村上 太郎・大友 令史(2012) 7～8月の高温がアカスジカスミカメの発生に及ぼす影響 北日本病害虫研究会報 63:136-140.
○村上 太郎・大友 令史・横田 啓(2012) 発生予察灯におけるアカスジカスミカメのフェロモントラップの有効性 北日本病害虫研究会報 63:141-144.
○羽田 厚(2012) 岩手県内のリンゴ園地に生息するカブリダニ類 北日本病害虫研究会報 63:215-217.
○羽田 厚(2012) リンドウホソハマキに対する数種殺虫剤の防除効果 北日本病害虫研究会報 63:230-232.
○富永 朋之・熊谷 親一(2012) 2011年岩手県奥州市の穂いもち防除省略栽培地域におけるいもち病の発生状況 北日本病害虫研究会報 63:238. 講要
○岩館 康哉(2012) ハウレンソウ白斑病に対する数種殺菌剤の防除効果 北日本病害虫研究会報 63:247. 講要
○横田 啓(2012) ダイズのマメシンクイガに対する各種薬剤の防除効果 北日本病害虫研究会報 63:259. 講要

#### 日本養豚学会誌

○古川力*1・熊谷光洋・岩切正芳*2・佐藤正寛*3(2012). 豚の一日平均増体重および背脂肪厚における遺伝と性の交互作用 日豚会誌 49(3):133-138. *1現:農研機構北農研 *2宮崎県畜試川南支場 *3農研機構畜草研
---

#### 日本畜産学会報

○佐藤洋一・米澤智恵美*1・熊谷光洋・鈴木啓一*2(2013). 日本短角種における枝肉形質の遺伝的趨勢 日畜会報 84(1):19-25. *1現中央農業改良普及センター軽米サブセンター *2東北大院農
○佐藤洋一・笹子奈々恵*1・上本吉伸*1・長谷部浩行*1・阿部剛*1・安田潤平*2・小林栄治*3・熊谷光洋・鈴木啓一*4(2013). 日本短角種の枝肉皮下脂肪中の脂肪酸組成に <i>SCD</i> , <i>FASN</i> , <i>SREBP-1</i> および <i>GH</i> の各遺伝子多型が及ぼす影響 日畜会報 84(1):27-33. *1家畜改良センター *2現中央農業改良普及センター *3農研機構畜草研 *4東北大院農

#### 東北畜産学会報

○山田和明・熊谷光洋・佐藤直人(2012) 連載:東北地区の主要研究組織の紹介12.岩手県農業研究センター畜産研究所 東畜会報 62(1):20-22
○佐藤直人(2013) 特集:東日本大震災と東北の畜産 4.安全・安心な畜産物供給を確保するための岩手県の取り組み 東畜会報 62(3):36-38

## (2)学会発表(発表要旨)

H23年分

日本育種学会(第120回講演会-2011秋季:2011.9.23~24開催・福井県立大学 育種学研究. 13(別2):2011.9発行)

○阿部 陽・小杉 俊一*1・吉田 健太郎*1・高木 宏樹*1・夏目 俊*1・Tamiru Muluneh*1・落合 祐介*1・佐々木 力・寺内良平*1 イネにおけるパルクDNA全ゲノムシーケンスによる迅速な遺伝子領域の同定 育種学研究. 13(別1):54 *1 (財)岩手生物工学研究センター
○夏目 俊*1・吉田 健太郎*1・小杉 俊一*1・三岡 周子*1・植村 亜衣子*1・阿部 陽・中出 啓子*1・坂本 裕一*1・中島 将博*1・竹田 匠*1・寺内良平*1 次世代シーケンサーを用いた北東北農林生産物のゲノム解析にむけて 育種学研究. 13(別1):56 *1 (財)岩手生物工学研究センター
○高木 宏樹*1・阿部 陽・小杉 俊一*1・吉田 健太郎*1・寺内良平*1 イネ品種「Nortai」における次世代シーケンサーを用いたイネいもち病菌に対する圃場抵抗性遺伝子座の同定 育種学研究. 13(別1):101 *1 (財)岩手生物工学研究センター

日本遺伝学会(第83回大会:2011.9.20~23開催・京都大学 プログラム・予稿集)

○阿部 陽・小杉 俊一*1・吉田 健太郎*1・Tamiru Muluneh*1・高木 宏樹*1・夏目 俊*1・佐々木 力・寺内良平*1 イネのパルクDNA全ゲノムシーケンスによる迅速な遺伝子領域の同定 プログラム・予稿集:89 *1 (財)岩手生物工学研究センター
○角 友之*1・佐々木 江理子*1・吉田 健太郎*2・Jeffrey Fawcett*1・杉野 隆一*1・宅野 将平*1・小杉 俊一*2・夏目 俊*2・三岡 周子*2・植村 亜衣子*2・阿部 陽・石井 尊生*3・寺内 良平*2・印南 秀樹*1 イネの集団ゲノム解析による栽培化関連遺伝子領域の探索 プログラム・予稿集:116 *1 総合研究大学院大学, *2 (財)岩手生物工学研究センター, *3 神戸大学農学研究科
○寺内 良平*1・阿部 陽・小杉 俊一*1・吉田 健太郎*1・夏目 俊*1・高木 宏樹*1・神崎 洋之*1・松村 英生*1・吉田 佳言*1・三岡 周子*1・宇津志 博恵*1・Tamiru Muluneh*1・印南 秀樹*2 イネ大規模突然変異系統とRILsを用いた有用遺伝子同定:次世代シーケンサーの活用 プログラム・予稿集:55 (シンポジウムでの発表) *1 (財)岩手生物工学研究センター, *2 総合研究大学院大学

日本育種学会(第121回講演会-2012春季:2012.3.29~30開催・宇都宮大学 育種学研究. 14(別1):2012.3発行)

○阿部 陽・吉田 健太郎*1・高木 宏樹*1・小杉 俊一*1・夏目 俊*1・Tamiru Muluneh*1・落合 祐介*1・佐々木 力・寺内良平*1 重要形質の遺伝子座を迅速に同定できるMutMap法のイネゲノム育種への適用 育種学研究. 14(別1):印刷中 *1 (財)岩手生物工学研究センター
○高木 宏樹*1・阿部 陽・吉田 健太郎*1・寺内良平*1 イネ品種間交雑後代における QTL-seq法を用いた迅速な遺伝子座同定 育種学研究. 14(別1):印刷中 *1 (財)岩手生物工学研究センター
○宇津志 博恵*1・高木 宏樹*1・阿部 陽・吉田 健太郎*1・寺内良平*1 バーコードシステムを用いた大規模実験系統群の表現型調査および遺伝資源管理 育種学研究. 14(別1):印刷中 *1 (財)岩手生物工学研究センター

日本作物学会(第232回講演会-2011秋季:2011.9.1~9.2開催・山口大学 日本作物学会紀事.第80巻 別号2 32-33 )

○小綿寿志・谷口義則*1 小麦の開溝粒と主要品質項目の関係について 日本作物学会紀事.第80巻 別号2 32-33 *1東北農業研究センター
---

北日本病害虫研究会(第65回発表会:2012.2.16~17開催・岩手県民会館 北日本病害虫研究会報. 第63巻)

○富永 朋之・熊谷 親一(2012) 2011年岩手県奥州市の穂いもち防除省略栽培地域におけるいもち病の発生状況 北日本病害虫研究会報 63:238. 講要
○岩館 康哉(2012) ホウレンソウ白斑病に対する数種殺菌剤の防除効果 北日本病害虫研究会報 63:247. 講要
○横田 啓(2012) ダイズのマメシンクイガに対する各種薬剤の防除効果 北日本病害虫研究会報 63:259. 講要

日本植物病理学会(平成24年度大会:2012.3.28~30開催・福岡国際会議場 日本植物病理学会報. 第78巻)

○岩館 康哉 (2012) 転炉スラグを用いた土壌pH改良によるキュウリホモブシス根腐病の被害軽減 日植病報 78(3):288. 講要
--

H24年分

日本作物学会(第234回講演会-2012秋季:2012.9.10~11開催・東北大学川内北キャンパス 日本作物学会紀事別号:2012.9月発行)

○小館 琢磨1・中島 嘉秀2・小路口 聡2・三輪 素康2・山下 修2・田中 大介3 チアマトキサム・フルジオキソニル・メタラキシルM水和剤の種子塗布処理がダイズ品種「リュウホウ」の収量およびちりめんじわ粒の発生に与える影響について-ちりめんじわ粒の発生程度に着目して- 日本作物学会紀事(81)別号2:128-129 1. 岩手県農業研究センター 2. シンジェンタジャパン株式会社 3. 秋田県立大学
○小綿寿志・谷口義則*(2012) 小麦粒の開溝程度と穂形質および穂上位置との関係 日本作物学会紀事(81)別号2:130-131 *東北農業研究センター
○高井 俊之1,2・一家 崇志2,3・近藤勝彦2・野々上 慈徳4,5・小野 望4・荒井 裕見子1・岩澤 紀生1・吉永 悟志1・矢野 昌裕2・近藤 始彦1・山本 敏央2(2012) 水稻品種コシヒカリ/タカナリ間の正逆染色体断片置換系統群の収量性評価 日本作物学会紀事(81)別号2:140-141 1. (独)農研機構作物研究所, 2. (独)農業生物資源研究所, 3. 静岡大学, 4. (社)農林水産先端研, 5. 岩手県農業研究センター
○原嘉隆・深見一郎・牛木純・佐々木亮・工藤予志夫・関矢博幸・臼井智彦・白土宏之・星一好・紺屋秀之・佐藤徹・中村一・奥野綾子・中山幸則・丸山徹・山根健史・渡邊丈洋・森伸介・貝淵由紀子・永奥哲・池尻明彦・村上優浩・秀島好知 モリブデンを用いた水稻直播における苗立ちと収穫物のモリブデン含有率-2011年度の連絡試験の結果-(ポスター発表) 日本作物学会紀事. 81(別2):188-189
小集会(2012.9.11東北大学) モリブデンを用いた水稻直播技術に関する情報交換会 発起人:原嘉隆、白土宏之、森伸介、臼井智彦、菅野博英

日本作物学会(第235回講演会-2013春季:2013.3.28~29開催・明治大学)

○寺田道一・高橋昭喜・臼井智彦・扇良明 岩手県における水稻鉄コーティング湛水直播栽培のコーティング量、播種時期および播種後の水管理が苗立ちに及ぼす影響 (ポスター発表) 日本作物学会紀事.82(別1):252-253
---

日本育種学会 第122回講演会(平成24年度秋季大会:2012.9.13~15開催・京都産業大学 育種学研究14(別2):2012.9月発行)

○野々上 慈徳・阿部 陽*・菅原 浩視・川代 早奈恵・小館 琢磨・大里達朗・佐々木 力(2012) イネの初期伸長性QTL qPHS3-2 を導入した準同質遺伝子系統の直播苗立ち性評価 育種学研究14(別2):50 *(公財)岩手生物工学研究センター
○高井 俊之1,2・一家 崇志2,3・近藤勝彦2・野々上 慈徳4,5・小野 望4・荒井 裕見子1・岩澤 紀生1・吉永 悟志1・矢野 昌裕2・近藤 始彦1・山本 敏央2(2012) 収量性の遺伝解析を目的とした水稻品種コシヒカリ/タカナリ間の正逆染色体断片置換系統群の作出 育種学研究14(別2):113 1. (独)農研機構作物研究所, 2. (独)農業生物資源研究所, 3. 静岡大学, 4. (社)農林水産先端研, 5. 岩手県農業研究センター

日本作物学会東北支部会 第55回講演会(平成24年8月21～22日開催・秋田県立大学)

○高橋智宏・日影勝幸・高橋彩子(2012) 岩手県内陸南部における水稲品種「ひとめぼれ」の収量を確保するための追肥量の判定指標 第1報 適正な水稲生育と収量を確保するための穂揃期の窒素吸収量
○高橋智宏・日影勝幸・高橋彩子(2012) 岩手県内陸南部における水稲品種「ひとめぼれ」の収量を確保するための追肥量の判定指標 第2報 穂揃期の窒素吸収量の推定方法
○高橋智宏・日影勝幸・高橋彩子(2012) 岩手県内陸南部における水稲品種「ひとめぼれ」の収量を確保するための追肥量の判定指標 第3報 7月上旬における追肥窒素量を判定する方法
○中西 商量(2012) 雑穀の移植栽培における育苗培土が移植苗の素質と移植後生育に及ぼす影響 第2報 育苗培土による根鉢形成の違い 日本作物学会東北支部報第55号:55.
○仲條 真介(2012) アワ胚乳色の退色 日本作物学会東北支部報第55号:57.

東北農業試験研究第55回発表会(平成24年8月8日開催・福島市)・東北農業研究第65号

○菅原浩視・川代早奈恵・阿部陽*・佐々木力(2012) 大吟醸酒の醸造に適する水稲品種「岩手酒98号」の育成 *(公財)岩手生物工学研究センター
○齋藤 浩和・木戸場 結香(2012). 大豆粕の一部を大豆穀実に代替して調製した発酵TMRの給与による産乳性

第7回ヤマセ研究会(平成25年3月7～8日開催・弘前大学)

○高橋智宏・伊藤信二(2013) 気象データと水稲の生育・大豆の関係(気温等が推定できれば稲や豆の生育がどうなるか予想できる?)
---

園芸学会(平成24年度秋季大会:2012.9.22～24開催・福井県立大福井キャンパス 園芸学研究. 11(別2): 2012.9月発行)

○山口貴之・岩館康哉(2012) <i>Cucumis</i> 属植物を指標としたキュウリホモブシス根腐病による被害発生予測手法 園芸学研究第11巻(別冊2): 164.
○阿部 弘(2012) 塊茎と花茎の着生順に基づいたエゾリンドウの株分解法 園芸学研究11(別2):269
○高橋拓也(2012) パプリカ光照射追熟に対する果実熟度, 処理時期および品種の影響 園芸学研究第11巻(別冊2): 413.

園芸学会(平成25年度春季大会:2013.3.23～24開催・東京農工大学小金井キャンパス 園芸学研究. 12(別1): 2013.3月発行)

芳賀紀之*1・○元木悟*2・北澤裕明*3・浦上敦子*4・山崎篤*5・山口貴之・松永邦則*6・新里仁克*7・渡辺慎一*8・瀧澤民雄*9・二木仁*9・酒井浩晃*10・植野玲一郎*11・池内隆夫*12・常盤秀夫*13・田村綾*14・山田文典*15・小泉丈晴*15(2013) アスパラガス1年養成株を用いたトンネル内伏せ込み促成栽培試験における収量と吸収根との関係 園芸学研究第12巻(別冊1): 141.  *1福島県庁 *2明治大学 *3 弘前大学農学生命科学部 *4野菜茶業研究所 *5東北農業研究センター *6パイオニア・エコサイエンス *7沖縄県農業研究センター *8九州沖縄農業研究センター *9JAちくま *10長野県野菜花き研究所 *11北海道立道南農業試験場 *12香川県農業試験場 *13福島県農業総合センター *14高知県農業技術センター *15群馬県農業技術センター
○山口貴之・前田智雄*(2013) アスパラガス幼苗における生育ステージ依存的休眠誘導の品種間差 園芸学研究第12巻(別冊1): 145. * 弘前大学農学生命科学部
○藤尾拓也・東出忠桐*・安場健一郎*・大森弘美*・金子壮*2・中野明正*(2013) キュウリ摘心栽培の群落光合成モデルに基づく量管理給液装置の開発 園芸学研究第12巻(別冊1): 369. * 農研機構野菜茶業研究所

農業気象学会(東北支部平成24年大会:2012.11.1~2開催・宮城県農業・園芸総合研究所)

○安藤康一郎\*・庄野浩資\*・山口貴之・松嶋卯月\*・岡田益己\*(2012)  
キュウリホモブシス根腐病が葉の生育状態に及ぼす影響  
\*岩手大学

土壤肥料学会(2012年度日本土壤肥料学会東北支部会青森大会:2012.7.4~7.5開催・青森県観光物産館アスパム)

○佐藤喬・大友英嗣  
東北地方太平洋沖地震・津波で被災した岩手県沿岸部水田の土壌モニタリング調査

北日本病害虫研究発表会(2013.2.14~15開催・秋田市 北日本病害虫研究会報. 64: 印刷中)

○富永 朋之(2013)  
発病枝の吊り下げ接種によるリンゴ腐らん病の薬剤防除効果の検討

○多田 典徳・伊藤勇弥\*1(2013)  
岩手県の夏秋ピーマンにおけるアカメガシワクダアザミウマ剤によるアザミウマ防除効果  
\*1 石原産業(株)

○岩館 康哉(2013)  
キュウリ黒星病に対する感受性の品種間差異

○村上太郎・田淵 研\*1・横田 啓・宍戸貴洋(2013)  
発生予察におけるアカスジカスミカメのフェロモントラップの有効性(第2報)  
\*1 東北農業研究センター

○安田 美香\*1・横田 啓・安田 哲也\*1(2013)  
斑点米カメムシ類2種による被害と畦畔管理時期  
\*1 中央農業研究センター

○横田 啓(2013)  
マメシクイガに対する袖手薬剤の時期別防除効果

○羽田 厚・大友 令史(2013)  
岩手県におけるヒメボクトウの発生状況と防除対策の確立に向けた取り組み

○大友 令史・名久井 一樹(2013)  
岩手県における果樹カメムシの発生と被害の実態

○阿部 弘・星 伸枝・阿部 潤\*1・仲谷房治\*2(2013)  
岩手県内のスターチス・シズアータに発生したウイルス病  
\*1 岩手県生物工学研究所・\*2 岩手県植物防疫協会

○吉田 雅紀・加藤 清吾(2013)  
岩手県におけるオオタバコガの発生生態

日本応用動物昆虫学会(2013.3.27~29開催・日本大学 講演要旨)

○羽田 厚(2013)  
岩手県内のリンゴ園地におけるナミハダニの発生状況および防除の実態と、殺ダニ剤に対する感受性のモニタリング  
第57回日本応用動物昆虫学会大会 平成25年度日本農学会大会分会講演要旨集:201.

○横田 啓(2013)  
水稻出穂期以降の畦畔草刈を組み合わせさせたアカスジカスミカメ防除対策  
第57回日本応用動物昆虫学会大会 平成25年度日本農学会大会分会講演要旨集:155.

日本植物病理学会東北部会(2012.9.13~14開催・山形県鶴岡市)

○岩館 康哉(2012)  
現地生産圃場での転炉スラグを用いた土壌pH改良によるキュウリホモブシス根腐病の被害軽減効果  
日本植物病理学会報 79(1):21. 講要

日本土壤微生物学会2012年度大会(2012.6.23~24開催・兵庫県神戸市)

○岩館 康哉(2012)  
転炉スラグを用いた土壌pH改良によるホウレンソウ萎凋病の発病抑制  
土と微生物 66(2):80. 講要

The 4th MoniQA International Conference(2013. 2. 26~3. 1開催 ハンガリー・ブダペスト)

○Yoshiki Tsukakoshi\*1, Takahiro Watanabe, Rieko Matsuda, Takashi Hishiyama, You Kitagawa, Tomotsugu Kojima, Satoko Yokota, Takanori Omori, Hiroshi Abe, Toshiro Kai, Shinichi Tokuda, Masataka Satomi, Hiroshi Ono, and Mitsuru Yoshida, Nobuaki Ishida, Akemi Yasui(2013)  
Review of some Japanese studies on uncertainty arising from sampling from farm to folk  
\*1 農研機構・食総研

日本草地学会(2012.8.27~29開催・酪農学園)

尾張利行\*1・○伊藤孝浩・堀間久巳\*2・山形広輔・多田和幸\*3・魚住順\*4  
二毛作体系におけるライ麦収穫期が不耕起栽培飼料用トウモロコシ収量に及ぼす影響  
日本草地学会誌第58巻別号:110  
\*1 岩手県畜産課・\*2 関農林振興センター・\*3 奥州農業普及センター・\*4 東北農研

東北畜産学会(第62回大会:2012.8.30~31開催・秋田県立大学 講演要旨:2012.8.8発行)

○佐藤 洋一・鈴木 強史・神山 洋・児玉 英樹・熊谷 光洋・鈴木啓一\*1(2012).  
岩手県内の黒毛和種および日本短角種集団における*PLAG1*遺伝子型多型が枝肉形質に及ぼす影響  
東北畜産学会報第62巻2号第62回大会号:18  
\*1 岩手県農研七畜研・\*2 東北大院農

日本養豚学会(第97回大会:2012.10.10~11開催 講演要旨:2012.10.10発行)

○佐々木 啓介\*1・本山 三知代\*1・成田 卓美\*1・新垣 裕子\*2・秋好 禎一\*3・本多 昭幸\*4・佐々木 直\*5・脇屋 裕一郎\*6・千国 幸一\*1  
(2012).  
飼料用米等の地域特有な飼料資源により生産された豚肉の特徴を表す官能評価用語の絞り込み  
日本養豚学会第97回大会講演要旨集, 1  
\*1 農研機構畜草研・\*2 千葉県畜研セ・\*3 大分県農研セ・\*4 長崎県農技セ・\*5 現: 県北広域振興局・\*6 佐賀県畜試・\*7 農研機構  
九沖農研

○古川 力\*1・熊谷 光洋・岩切 正芳\*2・佐藤 正寛\*3(2012).  
豚の発育形質における遺伝と環境, 性の交互作用  
日本養豚学会第97回大会講演要旨集, 24  
\*1 農研機構北農研 \*2 宮崎県畜試川南支場 \*3 農研機構畜草研

日本動物遺伝育種学会(第13回年次大会:2012.10.6~7開催 講演要旨:2012.10.6発行)

○佐藤 洋一・神山 洋・鈴木 強史・児玉 英樹・熊谷 光洋・渡邊 敏夫\*1・鈴木 啓一\*2(2012).  
黒毛和種半きょうだい家系における牛肉中の脂肪酸割合のQTL解析  
日本動物遺伝育種学会第13回大会講演要旨集, 18  
\*1 畜技協遺伝研・\*2 東北大院農

日本畜産学会(第116回大会:2013.3.27~30開催 講演要旨:2013.3.27発行)

○佐藤 洋一・神山 洋・鈴木 強史・児玉 英樹・熊谷 光洋・鈴木 啓一\*1(2013).  
岩手県内の黒毛和種と日本短角種の枝肉形質における枝肉重量QTL候補遺伝子の効果  
第116回日本畜産学会大会講演要旨  
\*1 東北大院農

## 5 雑誌等掲載

### (1) 専門雑誌等

#### 研究ジャーナル

高橋 昭喜・扇 良明  
 転換畑における畦立て同時播種によるナタネの湿害軽減播種技術  
 研究ジャーナル(2012)Vol.35No.7:23-27

#### 『農業技術体系 作物編』 追録34号

高橋 昭喜  
 小うね立て播種栽培  
 (社)農山漁村文化協会 農業技術体系 第6巻 ダイズ 基本技術編

#### 最新 農業技術 作物 Vol.5

高橋 昭喜  
 小うね立て播種栽培  
 (社)農山漁村文化協会:9-43

### (2) 月刊農業普及(平成24年4月号～平成25年3月号)

4月号	松浦 貞彦 及川 耳呂	農業研究センター試験研究レポート「生産工程管理支援のための農業経営ナビ・帳票作成ツール」 季節の農作業(ぶどう)
5月号	田代 勇樹	農業研究センター試験研究レポート「県北地域における業務用向け露地ほうれんそう試培」 農業研究センターで開発された新技術①
6月号	高橋 智宏 及川 耳呂	農業研究センター試験研究レポート「水稻主要品種の幼穂形成期追肥実施を7月上旬に判定する目安」 農業研究センターで開発された新技術② 季節の農作業(ぶどう)
7月号	高橋 昭喜 及川 耳呂	農業研究センター試験研究レポート「小畦立て播種栽培技術マニュアル」 季節の農作業(ぶどう)
8月号	川守田 真紀 川守田 真紀	農業研究センター試験研究レポート「りんごに対する落果防止剤(1-ナフタレン酢酸ナトリウム水溶液)の使用法」 岩手県農業研究センターにおける新品種の開発 今後の研究の方向
9月号	山口 貴之 及川 耳呂	農業研究センター試験研究レポート「端境期の11月にアスパラガスを生産しよう」 季節の農作業(ぶどう)
10月号	中里 崇 及川 耳呂	農業研究センター試験研究レポート「10月上旬咲き青色りんどう新品種『いわてVLB-1号』の育成」 季節の農作業(ぶどう)
11月号	高橋 彩子	農業研究センター試験研究レポート「特別栽培米専用肥料の連用による収量や土壌中の窒素の影響」
12月号	佐藤 まり子	農業研究センター試験研究レポート「乾物収量性に優れた飼料用トウモロコシ早生品種『ロイヤルデントTH680』」
1月号	田口 礼人 大友 英嗣 仲條 真介	季節の農作業(ぶどう) 適正な施肥設計や減肥設計をお手伝い「園芸・畑作施肥設計支援シート」 らぼ・れたあ「県オリジナルひえの商品が優秀賞を受賞」
2月号	阿部 亜希子	農業研究センター試験研究レポート「雑穀の主な病害虫による被害の様子と発生時期」
3月号	岩館 康哉	農業研究センター試験研究レポート「転炉スラグを用いた土壌pHによるキュウリホモフシス根腐病の被害軽減」

### (3) 岩手の畜産(平成24年5月号～平成25年3月号)

5月号	伊藤 孝浩	飼料用トウモロコシとライ麦の二毛作における最大収量を得るためのライ麦刈取り適期
7月号	増田 隆晴	トラクタ搭載型GPSを活用した大規模草地の精密管理技術
11月号	小梨 茂 齋藤 浩和	期待の新規基幹種雄牛「花安勝」、「平花丸」 育成中期までの育成牛に搾乳用TMRを供給する技術
1月号	鈴木 強史	現場後代検定により産肉能力が判明した日本短角種種雄牛について
3月号	佐藤 洋一	種雄牛による脂肪酸組成の遺伝能力の違い

### (4) 岩手りんごタイムス(平成24年4月号～平成25年3月号)

4月号	田口 礼人 畠山 隆幸	凍霜害対策について マメコバチの利用方法
5月号	羽田 厚 大友 令史 名久井 一樹	交信かく乱剤使用上の留意点 殺ダニ剤の使用について 幼果期の防除について



(4) 岩手りんごタイムス(平成24年4月号～平成25年3月号)

6月号	川守田 真紀 富永 朋之 大友 令史	樹相診断について 輪紋病と炭そ病の発生生態について 農薬の適正使用について
7月号	及川 耳呂 羽田 厚 富永 朋之 大友 令史	夏期管理について 枝幹害虫の防除について 効果的なすす点・すす斑対策 盛夏期の防除について
8月号	川守田 真紀 名久井 一樹	早生品種の管理について 収穫期前の防除について(早生種)
9月号	及川 耳呂 佐藤 喬	紅いわてについて りんごの施肥について
10月号	畠山 隆幸	大玉で果汁が多い「岩手5号」
11月号	大友 令史 佐藤 喬	野そ対策について リンゴ園の土壌診断
12月号	田口 礼人 大友 令史	改植の進め方について 今年の防除の反省
1月号	及川 一也 及川 耳呂 富永 朋之	新年のごあいさつ せん定について 平成25年りんご病害虫防除指針の主な改正点
3月号	名久井 一樹	今年の防除対策

(5) その他の雑誌等

現代農業

高橋 昭喜 東北で3000ha以上に広がる小ウネ立て播種 2012年10月号
高橋 昭喜 ドライブハローで湿害回避、転作作物を増収 小ウネ立て播種のやり方 2012年11月号

別冊『現代農業』

臼井 智彦 固定式タイン型除草機による除草方法(有機栽培への適用事例) 「農家が教える ラクラク 草刈り・草取り術」 2012年10月号
--

果実日本

田口 礼人 リンゴ「紅いわて(岩手7号)」 果実日本 2012, 12
川守田 真紀 受粉専用品種の導入によるリンゴの生産の安定化 果実日本 2013, 2
及川 耳呂 リンゴ「ふじ」わい性台木利用樹の簡便な樹相診断方法 果実日本 2013, 3

農業および園芸

山口貴之・元木 悟*1・松永邦則*2・前田智雄*3・井上勝広*4・兼子まや*5・甲村浩之*6・佐藤達雄*7・園田高広*8・浦上敦子*9・荒木 肇*10 世界のアスパラガス生産の現状と展望(10) 周年供給と輸出, 東南アジアのアスパラガス生産 農業および園芸, 養賢堂, 87(4):441-450 (2012) *1長野県野菜花き試験場、*2パイオニアエコサイエンス、*3弘前大学農学生命科学部、*4長崎県島原地域振興局、*5千葉大学環境健康フィールド科学センター、*6広島県立広島大学、*7茨城大学農学部、*8酪農学園大学農食環境学群、*9野菜茶業研究所、*10北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
---

## 農業および園芸

<p>浦上敦子*1・元木 悟*2・佐藤達雄*3・荒木 肇*4・前田智雄*5・尾崎行生*6・山口貴之・松永邦則*7・園田高広*8</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望(11) 11. 遺伝資源としてのアスパラガス, ポーランドの取り組みと世界各国で行われた国際品種比較試験</p> <p>農業および園芸, 養賢堂, 87(5):536-544 (2012)</p> <p>*1野菜茶業研究所, *2長野県野菜花き試験場, *3茨城大学農学部, *4北海道大学北方生物圏フィールド科学センター, *5弘前大学農学生命科学部, *6九州大学大学院農学研究院, *7バイオニアエコサイエンス, *8酪農学園大学農食環境学群</p>
<p>元木悟*1・北澤裕明*2・浦上敦子*3・前田智雄*4・山口貴之・渡辺慎一*5・松永邦則*6・甲村浩之*7・尾崎行生*8・佐藤達雄*9・園田高広*10・荒木肇*11</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望(12) 12. 国際競争に対応した日本のアスパラガス生産の戦略と方向性</p> <p>農業および園芸, 養賢堂, 87(6):635-641 (2012)</p> <p>*1長野県野菜花き試験場, *2食品総合研究所, *3野菜茶業研究所, *4弘前大学農学生命科学部, *5九州沖縄農業研究センター, *6バイオニアエコサイエンス, *7広島県立広島大学, *8九州大学大学院農学研究院, *9茨城大学農学部, *10酪農学園大学農食環境学群, *11北海道大学北方生物圏フィールド科学センター</p>
<p>井上勝広*1・元木悟*2・前田智雄*3・尾崎行生*4・渡辺慎一*5・園田高広*6・浦上敦子*7・佐藤達雄*8・山口貴之・甲村浩之*9・重松武*10・小川恭弘*11・北澤裕明*12・池内隆夫*13・松永邦則*14</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望(13) 13. アスパラガスの国内生産および輸入, 消費の動向</p> <p>農業および園芸, 養賢堂, 88(1):4-13(2013)</p> <p>*1長崎県農林技術開発センター, *2明治大学農学部, *3弘前大学農学生命科学部, *4九州大学大学院農学研究院, *5九州沖縄農業研究センター, *6酪農学園大学農食環境学群, *7野菜茶業研究所, *8茨城大学農学部, *9県立広島大学, *10長崎県島原振興局, *11長崎県農林部, *12食品総合研究所, *13香川県農業試験場, *14バイオニアエコサイエンス</p>
<p>園田高広*1, 元木悟*2, 甲村浩之*3, 尾崎行生*4, 滝澤民雄*5, 山口貴之, 松永邦則*6</p> <p>世界のアスパラガス生産の現状と展望(15) 15. 世界および国内各地で問題となる茎枯病対策～発生生態とタイおよび国内各地の対策事例～</p> <p>農業および園芸, 養賢堂, 87(3):341-349(2013)</p> <p>*1酪農学園大学農食環境学群, *2明治大学農学部, *3広島県立広島大学, *4九州大学大学院農学研究院, *5JAちくま, *6バイオニアエコサイエンス</p>

## 施設と園芸

<p>漆原昌二</p> <p>ミニ情報 “安くて”、“ラクな”かん水システムでピーマン収量アップ</p> <p>施設と園芸, 日本農民新聞社, 159(2012秋):48</p>
---

## 土づくりとエコ農業

<p>大友英嗣(2012)</p> <p>特集 土壌診断に基づく施肥管理</p> <p>土づくりとエコ農業vol.45 No.512 12月号 p.2～p.8</p>
---

## 月刊NOSAI

<p>佐藤直人</p> <p>安全・安心な畜産物供給を確保するための岩手県の取組み, 第64巻第11号:42-47 (2012)</p>
--

## DairyJapan

<p>齋藤浩和</p> <p>搾乳用TMRを用いた初産分娩月齢早期化育成技術, 第58巻第5号:36-39(2013)</p>
---

## 技術の窓

<p>田代 勇樹(2012)</p> <p>業務用露地ホウレンソウの初夏どり作型および秋どり作型の栽培法</p> <p>技術の窓, 日本政策金融公庫, 10, 2012年度版営農技術の最前線</p>
---

## 植物防疫

<p>吉武 啓*1, 藤沢 巧, 後藤 純子*2, 千葉 武勝*3 (2012)</p> <p>ワサビの害虫ゾウムシの正体</p> <p>植物防疫, 66(7), 42-45(2012)</p> <p>*1 独立行政法人 農業環境技術研究所 *2 中央農業改良普及センター *3 盛岡市</p>
---

## 6 新聞等掲載

部所名	記事見出し (●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
<b>プロジェクト推進室</b>			
	●北上・県農業研究センター 畑作物の収量安定化に 栽培マニュアルを作成	岩手日日新聞	24.4.5
	●小畦立て播種技術を普及 湿害対策に手引書 大豆、麦、ソバ、ナタネ用に 岩手農研センター	日本農業新聞	24.6.14
	畦を立て大豆栽培 山田 県、実証試験の種まき	毎日新聞	24.6.19
	復旧水田使い大豆栽培実験 山田	朝日新聞	24.6.19
	●広がる大豆小畦立て播種栽培 湿害防ぎ増収 初期生育良く管理が楽	日本農業新聞	24.8.9
	湿害対策の種まき理解 花巻 小麦小畦立て播種機実演会	岩手日日新聞	24.10.17
<b>企画管理部</b>			
<b>農業経営研究室</b>			
<b>研究企画室</b>			
	北上・県農業研究センター 津波被害地へ技術支援 今年度業務方針を決定	岩手日日新聞	24.5.17
	●一日子供研究員を募集 来月9日、県農研センター・北上	岩手日日新聞	24.7.20
	●植物の不思議発見 実験や観察、児童が体験 北上・県農研センター	岩手日日新聞	24.8.10
	●復旧から農業の復興へ 震災以降の試験研究の歩み 沿岸部は施設園芸拡大 民間との交流深め現場対応 岩手県農業研究センター所長 高橋伸夫氏	農経新報	24.8.20
	●県農業研究センターなど・北上 あすから、施設一般公開	岩手日日新聞	24.9.6
	●いわてフラワーコンテスト 生産者自慢の作品公開 北上	岩手日日新聞	24.9.8
	●農業の先端の先端技術紹介 北上 一般公開で多彩な企画	岩手日日新聞	24.9.8
<b>総務課</b>			
	●園児ら田植楽しむ 北上ふれあい公園の棚田	毎日新聞	24.6.7
	●北上・農業ふれあい公園 苗植え体験 棚田に園児の歓声	岩手日日新聞	24.6.7
<b>○農業科学博物館</b>			
	●暮らしと牛馬密接に 北上・農業科学博物館 半世紀前の稲作紹介	岩手日日新聞	24.6.9
	●時代を映す台所道具 大正から昭和30年代まで 生活の知恵再認識	岩手日報	24.8.23
	●県農業科学博物館企画展・北上 台所道具に見る暮らしの変遷	岩手日日新聞	24.9.18
	●農具の変遷たどる展示 北上 農業科学博物館	岩手日報	24.12.14
	●松飾り作りの参加児童を募集 北上・県立農業科学博物館	岩手日日新聞	24.12.14
	●農業科学博物館 脱穀の道具紹介 北上	毎日新聞	24.12.20
	●親子ら松飾り作り体験 北上 農業科学博物館で学習会	岩手日日新聞	24.12.24
	●道具に学ぶ先人の知恵 北上・農博企画展	岩手日日新聞	25.1.10
	●生活に使われた道具 北上・県立農業科学博物館 懐かしい時代にいざなう	岩手日日新聞	25.3.19

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
<b>技術部</b>			
<b>作物研究室</b>			
	稲の遺伝子特定・解読 塩害水田の耕作再開に期待 県農業研究センターなど	毎日新聞	24.2.9
	●追肥必要性 早期に 県農業研究センター判定技術を開発	岩手日日新聞	24.6.29
	水田営農の新技術紹介 県中央農改センター 北上24日、普及戦略検討会	岩手日日新聞	25.1.17
	●岩手・青森連携シンポ 水稲直播成果を紹介	日本農業新聞	25.2.16
	オール岩手で大吟醸 JA・生産者・酒造業界が連携 好適米の誕生杜氏魂に点火	日本農業新聞	25.2.19
	●寒冷地に適した水稲直播を学ぶ 盛岡市でシンポジウム	農業共済新聞	25.2.27
	県開発の大吟醸向け酒米 新品種名は「結の香」 酒造6社、19日から販売	岩手日報	25.3.6
	酒米新品種で大吟醸酒「結の香」を発表	日本農業新聞	25.3.20
<b>果樹研究室</b>			
	リンゴ「岩手5号」育成 大果、果汁が多い 岩手県農研センター	日本農業新聞	24.5.8
	●果樹立ち木用に新SS開発 農薬飛散を大幅低減 効果・収量慣行機と同等	日本農業新聞	24.9.20
	北上で県産リンゴコン 糖度、硬度は「良好」 品種最優秀奥州の紺野果樹園	岩手日日新聞	24.10.19
	「大夢」初出荷へ リンゴ新品種 宮古で箱詰め作業	岩手日報	24.11.14
	リンゴ新品種に理解 県中央農改普及センター 栽培技術向上へ講座	岩手日日新聞	24.12.5
<b>野菜花き研究室</b>			
	アスパラ「伏せ込み」で11月出し 茎葉ごと畑に放置 岩手県農研センター 株冷やし休眠破る	日本農業新聞	24.5.1
	リンドウ初の5月出荷 県が開発「夢あおい」 暖房使わないハウス	読売新聞	24.5.20
	リンドウ「いわて夢あおい」 新品種管内の主力に 一関農改センター現地検討会・平泉 栽培、管理法を確認	岩手日日新聞	24.6.30
	極々早生リンドウ いわて夢あおい 7月盆需要を狙え 大田市場でPR 7日までJA全農いわて	日本農業新聞	24.7.2
	アスパラガス 11月出荷へ技術開発 県農業研究センター人為的に促成栽培改良	日本農業新聞	25.1.17
<b>南部園芸研究室</b>			
	●イチゴ栽培の新技术研修会 陸前高田で県内農家	岩手日報	24.6.30
	●「復興いちご」関心高く 新技术導入で成果 アグリランド高田で現地研修会	東海新報	24.6.30
	根付け 大槌産イチゴ 地元農家・阿部さん 町初、被災畑で栽培 ブランド化に意気込み	岩手日報	25.1.11
	大槌復興 希望のイチゴ 被災農家が初栽培 県も支援「町の新ブランドに」	読売新聞	25.1.16
	岩手農業復興へ先端技術提案会 農水省	日本農業新聞	25.2.15
<b>環境部</b>			
<b>生産環境研究室</b>			
	簡単に施肥設計 土壌診断結果、品目、作型を入力 岩手県農研センター 園芸・畑作用ソフト作成	日本農業新聞	24.5.23
	農事実行組合長放射能理解深める 岩手県水沢地域協議会が研修会	日本農業新聞	24.12.12
	JICAが土壌分析支援、岩手県の技術導入	The Daily NAA	25.2.22
<b>病理昆虫研究室</b>			
	●県農業研究センター リンゴ防除に天敵活用 カブリダニ初の生息調査 県内全園地で確認	岩手日日新聞	24.6.19
	●カメムシの水稲被害 影響期間は5週間 県農研センター 成果、防除対策に	岩手日日新聞	24.7.9
	病害虫図鑑 キュウリ黒星病 生育初期に予防散布	日本農業新聞	24.8.8
	水田営農の新技術紹介 県中央農改センター 北上24日、普及戦略検討会(再掲)	岩手日日新聞	25.1.17
	県中央農改センター・検討会 水稲品質維持へ 北上 最新のカメムシ対策紹介	岩手日日新聞	25.1.25
<b>病害虫防除部</b>			
<b>病害虫防除課</b>			
	●11日に農業適正販売・使用研修会 北上	岩手日日新聞	24.7.2

部所名	記事見出し(●は投込記事)	掲載紙	掲載年月日
<b>畜産研究所</b>			
<b>家畜育種研究室</b>			
	配合飼料を1割削減可能 肥育前期にトウモロコシサイレージ多給	開拓情報	24.9.15
	飼料米多給で黒豚食味向上 55%代替でもOK	日本農業新聞	24.12.18
	●短角牛100%県産給餌 ふすま代替に大豆WCS 岩手県畜産研	日本農業新聞	25.3.6
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>			
	おからサイレージ好評 盛岡市の豆腐メーカー ビートバルブと混合	日本農業新聞	24.12.27
<b>外山畜産研究室</b>			
	●農場管理にGPS トラクター搭載し精密に 外山畜産研究所 肥料むら低減などに	盛岡タイムス	24.8.29
<b>種山畜産研究室</b>			
	絹美継(種牛の部第1区)が優等2席	岩手日日新聞	24.11.6
	「菊福秀」シェア拡大 交配しやすく肉質良好	日本農業新聞	24.12.6
	●県産種牛高まる評価 肉質良く子牛は高値 全国共進会で上位入賞	岩手日報	24.12.31
	●宮城全共ヘゴー 和牛がアツい 岩手期待高い絹美継	日本農業新聞	25.1.5
	●県内シェア4割超 県有種雄牛 10年間で4倍に	岩手日日新聞	25.1.24
<b>県北農業研究所</b>			
<b>総務課</b>			
	軽米の3団体が二戸署に交通安全誓約書	岩手日報	24.8.11
	●軽米地区県公所 31日から一般公開 農産物の販売も	岩手日報	24.8.21
	●県北農業振興へ研究成果を披露 軽米・県公開デー	岩手日報	24.9.1
	●成果発表や収穫体験 軽米町:県北農業研究所 一般公開デー開く	全国農業新聞	24.9.21
	実りの秋 満面の笑み 丸々の芋掘れたよ(軽米 山内保育園)	岩手日報	24.10.13
<b>園芸研究室</b>			
	アスパラガス廃根株を用いたレタスのキタネグサレセンチュウ被害軽減技術 レタスアスパラ混在地域で有効	開拓情報:(社)全国 開拓振興協会	24.4.15
<b>作物研究室</b>			
	感謝の一本松、ロンドンへ岩手の子、種を寄贈	朝日新聞	24.4.4
	英王立植物園で復興祈念「奇跡の一本松」同種の種子寄贈	河北新報	24.4.4
	震災支援感謝 本県の種子贈る英植物園 山田の子どもら出席	岩手日報	24.4.4
	葉タバコ農地で雑穀栽培 二戸市で実演会 県、耕作放棄地防止へ	岩手日報	24.5.29
	●雑穀5品目 病虫害発生を把握 県農業研究センター 農家の診断可能に	岩手日報	24.8.25
	●色彩で選ぶ雑穀 アワ、キビに新品種(上) 平泉想起させる黄金色 大粒・多収の在来種交雑	盛岡タイムス	24.10.3
	●色彩で選ぶ雑穀 アワ、キビに新品種(中) 加工時に利点のキビ新品種 14年度の登録申請目指す	盛岡タイムス	24.10.4
	●色彩で選ぶ雑穀 アワ、キビに新品種(下) 残したい多様な在来系統 岩手の豊さ示す存在に	盛岡タイムス	24.10.5
	雑穀 移植栽培し抑草・増収 岩手農研 出芽前中耕不要に	日本農業新聞	24.12.21
	●雑穀遺伝資源の特性把握 北上・県農研センター データベースを構築	岩手日日新聞	25.1.29

## 7 テレビ・ラジオ放送

### (1) テレビ

部所名	出演者	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
企画管理部 総務課 技術部 作物研究室	及川一也	北上の棚田で幼稚園児が田植	テレビ岩手	24.6.6	有
			めんこいテレビ	24.6.6	
環境部 生産環境研究室	小田島雅	夏秋いちご現地実証	NHK盛岡	24.6.13	
企画管理部 総務課	菊地育子	農業科学博物館第53回企画展の開催	NHK盛岡	24.7.5	有
企画管理部 研究企画室	高橋彩子 川守田真紀 佐々木力	一日子供農業研究員を開催 県農研センター	NHK盛岡	24.8.9	有
			テレビ岩手	24.8.9	
			めんこいテレビ	24.8.9	
			北上ケーブルテレビ	24.8.9	
技術部 果樹研究室	及川耳呂	ドリフトを軽減できる果樹用防除機セミナーの開催	NHK盛岡	24.9.7	有
企画管理部 農業経営研究室	山田修	県政ミニ番組「いわて希望の一步」 「ハウス栽培にかける夢」 震災からの農業再生	岩手放送テレビ	24.11.19	無

### (2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日	投込み有無
技術部 南部園芸研究室		震災復旧・復興支援プロジェクトチームの取組み	TOKYO FM	23.6.14	無
技術部 南部園芸研究室		夏いちごで農業の復興を	NHKラジオ第一	24.7.24	

## 8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
プロジェクト推進室	高橋 昭喜 寺田 道一 臼井 智彦	寒冷地水田に適応した湛水作溝同時直播技術の開発	平成24年岩手・青森連携シンポジウム「水稲直播栽培における多収・低コスト化の実践と展望」	25.2
企画管理部 農業経営研究室	山田 修	平成25年度野菜栽培技術指針	イチゴ	25.3
技術部				
果樹研究室	畠山 隆幸 田口 礼人	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
作物研究室	高橋 智宏	雑草防除(水稲)	平成25年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	小綿 寿志 伊藤 信二	雑草防除(畑作物)	平成25年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
野菜花き研究室	高橋 拓也	品目別栽培技術指針 パプリカ	野菜栽培技術指針	25.3
	山口 貴之	品目別栽培技術指針 促成アスパラガス	野菜栽培技術指針	25.3
	漆原 昌二 藤尾 拓也	共通項目 点滴かん水施肥技術	野菜栽培技術指針	25.3
	山口 貴之	防除指導資料 (野菜雑草防除及び野菜成長調整剤)	平成25年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	中里 崇	花き雑草防除及び花き用成長調整剤使用指針	平成25年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
環境部				
生産環境研究室	佐藤 喬	分析・診断基本技術	平成25年度野菜栽培技術指針	25.3
	大友 英嗣	野菜の鮮度保持対策	平成25年度野菜栽培技術指針	25.3
病理昆虫研究室	岩舘 康哉	転炉スラグを用いた土壌pH改良による露地キュウリの被害軽減 他	ウリ科野菜ホモプシス根腐病被害回避マニュアル(東北農業研究センター)	25.2
	多田 典穂	防除指導資料(野菜害虫)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	富永 朋之	防除指導資料(果樹・花き病害)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	羽田 厚	防除指導資料(果樹・花き害虫)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	横田 啓	防除指導資料(水稲・畑作物害虫、土壌害虫、鳥獣害防除)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	岩舘 康哉	防除指導資料(畑作・野菜病害、土壌病害)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	熊谷 親一	防除指導資料(水稲病害、資材消毒、展着剤の利用)	平成25年度農作物病害虫・雑草防除指針	25.3
	多田 典穂	野菜栽培技術指導資料	平成25年度 野菜栽培技術指針	25.3
	岩舘 康哉	野菜栽培技術指導資料	平成25年度 野菜栽培技術指針	25.3

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
病理昆虫研究室	横田 啓	水稲、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(虫害防除)	平成25年度主要農作物採種ほ病虫害基本防除体系	25.3
	岩館 康哉	小麦、大豆の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成25年度主要農作物採種ほ病虫害基本防除体系	25.3
	熊谷 親一	水稲の採種ほ基本防除体系(病害防除)	平成25年度主要農作物採種ほ病虫害基本防除体系	25.3
病虫害防除部 病虫害防除課	吉田 雅紀	農薬安全使用指針	平成25年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	25.3
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	山形 広輔	雑草防除(飼料作物)	平成25年度岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	25.3



## 9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	69,975 冊
平成24年度収集図書数	646 冊
学会誌	43 冊
資料	167 冊
研究報告	134 冊
気象	6 冊
記録誌	0 冊
国関係刊行物	2 冊
雑誌(図書)	29 冊
社団法人	4 冊
財団法人	12 冊
図鑑	0 冊
総記	4 冊
単行本	43 冊
定期	1 冊
統計	19 冊
図書	7 冊
洋雑誌	5 冊
CD-ROM	12 冊
雑誌	158 冊
図書室利用者数(延べ)	201 名
同貸し出し冊数	268 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ(2013/3/31現在)

## 10 ホームページ

項目	件数	内訳	
入力件数	研究レポート	43	平成24年度発行分
	試験研究成果	52	平成24年度試験研究成果書
	研究報告類	—	
	らぼ・れたあ	78	No. 1~77(研究トピックス)
	行事予定	7	参観デー、東北農研・岩手農研合同シンポジウム、他
	各種資料	50	平成23年度年報
	農業科学博物館	6	企画展第52~55回、農業ふれあい公園だより第20号
	その他	25	一日子供農業研究員、英語版サイト、 月別アクセス状況、組織紹介、他
アクセス件数	トップページ	42,491	平成24年度分
	総ページビュー	3,543,537	平成24年度分



## 指導・啓発活動



## V 指導・啓発活動

### 1 技術伝達研修等への対応

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
<b>農業研究センター主催</b>				
プロジェクト推進室 企画管理部 研究企画室 技術部 作物研究室	25.2.6	盛岡市 (エスポワールいわて)	岩手・青森連携シンポジウム 「水稻直播栽培の多収・低コスト化の実践と展望」	160名
プロジェクト推進室 企画管理部 研究企画室 技術部 作物研究室	25.2.25	青森市 (水産会館)	青森・岩手連携シンポジウム 「水稻直播栽培の多収・低コスト化の実践と展望」	60名
県北農業研究所 作物研究室	24.7.29	軽米町 (県北農業研究所)	雑穀試培低コスト化研究会 (これまでの技術紹介と今年度の取り組み内容紹介等)	20名
県北農業研究所 作物研究室	25.3.5	軽米町 (県北農業研究所)	雑穀試培低コスト化研究会 (今年度の結果報告等)	40名
<b>【新技術・普及活動検討会】(中央農業改良普及センター主催)</b>				
技術部 果樹研究室	25.1.24	北上市 (農業研究センター)	平成24年度新技術・普及活動検討会(果樹)	29名
畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室 外山畜産研究室	25.1.24	滝沢村 (畜産研究所)	平成24年度新技術・普及活動検討会(畜産)	30名
企画管理部 農業経営研究室 技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	25.1.24～25	北上市 (農業研究センター)	平成24年度新技術・普及活動検討会(野菜)	43名
プロジェクト推進室 企画管理部 農業経営研究室 技術部 作物研究室 環境部 生産環境研究室 県北農業研究所 作物研究室	25.1.25	北上市 (農業研究センター)	平成24年度新技術・普及活動検討会(作物)	40名
技術部 野菜花き研究室 環境部 病理昆虫研究室 県北農業研究所 園芸研究室	25.1.29	北上市 (農業研究センター)	平成24年度新技術・普及活動検討会(花き)	24名
企画管理部 農業経営研究室	25.1.29	北上市 (農業研究センター)	平成24年度新技術・普及活動検討会(経営)	15名
企画管理部 農業経営研究室	25.3.14	盛岡市	担い手育成支援研修会	13名

担当部所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員	
<b>【普及指導員専門技術研修】(中央農業改良普及センター主催)</b>					
プロジェクト推進室	24.5.10	花巻市現地、北上市 (農業研究センター)	平成24年度普及指導員専門技術向上研修(作物Ⅰ)	10名	
<b>技術部</b>					
果樹研究室	24.5.7~11	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅰ)	1名	
	24.6.13~15	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅱ)	1名	
	24.9.10~14	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅲ)	1名	
	24.10.1~5	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅳ)	1名	
	24.12.3~7	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(果樹Ⅴ)	1名	
	24.6.22	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術向上研修(果樹Ⅰ)	8名	
	25.2.28	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術向上研修(果樹Ⅳ)	8名	
	野菜花き研究室	24.5.29~6.1	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(野菜)	2名
		24.7.3~5	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅱ(野菜)	2名
		24.10.2~4	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅳ(野菜)	2名
24.10.26		北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術向上研修Ⅱ(野菜)	10名	
25.1.16		北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術向上研修Ⅱ(野菜)	12名	
24.6.13,15		北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(花き)	1名	
24.8.31		北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅱ(花き)	1名	
24.10.5		北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修Ⅲ(花き)	1名	
南部園芸研究室	24.10.23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術向上研修Ⅰ(花き)	12名	
	25.1.23	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術向上研修Ⅲ(花き)	11名	
	24.10.2	北上市 (農業研究センター)	普及指導員専門技術基本研修(野菜第Ⅳ期)	2名	
<b>畜産研究所</b>					
家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	24.9.24~26	滝沢村 (畜産研究所)	普及指導員専門技術基本研修Ⅰ(畜産)	4名	
家畜育種研究室	24.11.29	滝沢村 (畜産研究所)	普及指導員専門技術向上研修(畜産)	4名	
<b>県北農業研究所</b>					
園芸研究室	24.8.21~24	軽米町 県北農業研究所	普及指導員専門技術向上研修Ⅲ(野菜)	2名	

## 2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>プロジェクト推進室</b>				
高橋 昭喜	「被災者向け農の雇用事業」研修 「農作業安全に向けて」	24.4.20	岩手県農業会議	農業大学校
高橋 昭喜	平成24年度普及指導員専門技術向上研修(作物I)	24.5.10	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	花巻市、 農研センター
高橋 昭喜	平成24年度岩手県産表現地検討会	24.6.15	農産園芸課	農研センター、 花巻市、金ケ崎町
扇 良明 高橋 昭喜 菅野 輝彦	山田町大豆小畦立て栽培実証ほ実演指導会	24.6.18	宮古農業改良普及センター	山田町
寺田 道一	平成24年度直播現地検討会	24.6.21	農産園芸課	農研センター、 一関市
高橋 昭喜 菅野 輝彦	大豆「小畦立て播種栽培技術」研修会	24.7.10～11	秋田県	秋田農試
高橋 昭喜 菅野 輝彦	ソバ小畦立て播種機組立支援	24.7.20	沿岸広域振興局農林部・大船 渡農業改良普及センター	大槌町
高橋 昭喜	平成24年度県産大豆現地検討会 「小畦立て播種栽培技術マニュアルについて」	24.8.23	農産園芸課	農研センター、 花巻市、奥州市
寺田 道一	平成24年度第3回一関地方水稻直播栽培現地検討会	24.9.14	一関農業改良普及センター	一関地区合同庁舎 ほか
高橋 昭喜	農業機械士2級技能検定	24.9.28	農業普及技術課	農業大学校
高橋 昭喜 藤田 智美 菅野 輝彦	小麦小畦立て播種栽培実演指導会	24.10.12	奥州農業改良普及センター	奥州市
高橋 昭喜 藤田 智美 菅野 輝彦	小麦小畦立て播種栽培実演指導会	24.10.16	花巻市農業振興対策本部米 穀振興部会	花巻市
高橋 昭喜 白井 智彦	平成24年度 新技術・普及活動検討会	25.1.25	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター
扇 良明	農業農村指導士協会全体研修会	25.1.31	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	ホテル大観
寺田 道一	岩手県産業用無人ヘリコプターオペレーター連絡 協議会安全運航研修会	25.2.1	岩手県産業用無人ヘリコプ ターオペレーター連絡協議会	千秋閣
寺田 道一	岩手・青森連携シンポジウム	25.2.6	実用技術22087研究グループ	エスポワールいわて
高橋 昭喜	平成24年度JA岩手県営農指導員研究発表集会	25.2.14	JA岩手県中央会	ホテル紫苑
高橋 昭喜 白井 智彦	水稻有機栽培現地試験成績発表会	25.2.18	一関地方有機農業推進協議 会	一関市大東農業 技術センター
高橋 昭喜	青森・岩手連携シンポジウム	25.2.25	実用技術22087研究グループ	青森市水産ビル
高橋 昭喜	農業農村指導士協会県中部ブロック研修会	25.3.1	中央農業改良普及センター	たかひろ水光園
扇 良明	水稻直播技術研修	25.3.1	日形ブレッドウィナー 日方地区基盤整備事業推進 委員会	農研センター
白井 智彦	第13回 INS土作り研究会	25.3.6	INS土作り研究会	盛岡市産学官連携 研究センター会議 室
白井 智彦	平成24年度 農業機械開発改良試験研究打合せ 会議	25.3.15	(独)生研センター	生研センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>企画管理部</b>				
<b>農業経営研究室</b>				
小野寺 郁夫	土地改良事業営農推進対策委員会現地検討会	24.8.23	農村計画課	軽米町
小野寺 郁夫	平成24年度岩手県麦作共励会審査	24.10.24	農産園芸課	北上市
小野寺 郁夫	平成24年度岩手県大豆作共励会審査	25.1.23	農産園芸課	北上市
小野寺 郁夫	第1回いわてリーディング経営体育成支援事業選 定委員会	24.7.10	農業振興課	盛岡市
小野寺 郁夫 松浦 貞彦	経営基盤強化法に係る県基本方針策定及び技術 体系DBの運用に係る検討	24.9.18	農業振興課	盛岡市
小野寺 郁夫	第2回いわてリーディング経営体育成支援事業選 定委員会	25.1.30	農業振興課	盛岡市
小野寺 郁夫	土地改良事業営農推進対策委員会中央幹事会	25.2.12	農村計画課	盛岡市
及川 浩一	災害復旧営農対策会議への情報提供	24.4.12	大船渡農業振興協議会地域 振興部会	大船渡市
及川 浩一	第1回宮古地方施設園芸団地化に係る勉強会	24.5.30	宮古農林センター	宮古市
及川 浩一	第3回宮古地方施設園芸団地化に係る勉強会	24.7.31	宮古農林センター	宮古市
及川 浩一	陸前高田市大規模園芸施設導入打合せ	24.8.22	農業普及技術課	大船渡市
及川 浩一	農業農村整備事業地区担い手育成協議会	24.11.12	農村建設課	盛岡市
及川 浩一	平成24年度農業農村指導士研修会	25.1.31	農業普及技術課	盛岡市
及川 浩一	いわて三陸園芸団地育成実績検討会	25.3.7	沿岸広域振興局	釜石市
及川 浩一	農業担い手育成支援研修会	25.3.14	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	盛岡市
山田 修	四季成りいちご経営体技術支援チーム会議	24.4～25.3 (4回)	中央農業改良普及センター	北上市 (農研センター) 北一農(北上市)
山田 修	いちご現地研修会	24.6.29	中央農業改良普及センター 県域普及グループ(農研共 催)	陸前高田市 (アグリランド高田)
山田 修	きゅうりほ場コンクール審査	24.8.29	大船渡農業協同組合	陸前高田市 住田町
土澤 一博	りんどう産地再生に係る会議	24.10.16	農産園芸課	盛岡市
土澤 一博	平成24年度花き産地拡大研修会	24.12.13	農産園芸課	盛岡市
土澤 一博	岩手県野菜産地づくりセミナー	25.3.8	農産園芸課	盛岡市
松浦 貞彦	県基本方針の見直し及び認定農業者の経営改善 の推進に関する説明会	24.11.27	農業振興課	盛岡市
松浦 貞彦	農林水産業における復興提案会	24.12.10	農林水産企画室	盛岡市
松浦 貞彦	イチゴ経営体支援	24.12.27	南部園芸研究室	陸前高田市



担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>技術部</b>				
<b>果樹研究室</b>				
小原 繁 及川 耳呂 川守田 真紀 畠山 隆幸 田口 礼人	純情りんごコンテスト審査(1期)	24.10.18	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
小原 繁 及川 耳呂 川守田 真紀 畠山 隆幸 田口 礼人	純情りんごコンテスト審査(2期)	24.11.29～30	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
及川 耳呂	JA江刺 りんご品評会	24.10.26 24.11.28	岩手江刺農業協同組合	奥州市
小原 繁	岩手県果樹協会夏期講習会	24.8.20	岩手県果樹協会	奥州市
小原 繁	岩手県果樹協会平成24年度冬期講習会 第20回通常総会	25.1.21	岩手県果樹協会	花巻市
田口 礼人	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	24.10.15	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町
<b>作物研究室</b>				
佐々木 力	農林水産部新採用職員研修	24.6.11	農林水産企画室	北上市 (農研センター)
佐々木 力	平成24年度特別専攻科社会人講師事業第3回特別講演	24.6.25	岩手県立盛岡農業高等学校	北上市 (農研センター)
佐々木 力	平成24年度種子審査委員研修会	24.7.31	農産園芸課	北上市 (農研センター)
佐々木 力	大豆品種選定並びに栽培技術開発状況	24.9.3	山形県板井川実行組合	北上市 (農研センター)
佐々木 力	平成24年度稲作経営者研修会	24.12.7～8	認定農業者組織連絡協議会、 農業会議	西和賀町湯本温泉 (ホテル対滝閣)
佐々木 力	作物研究室における研究の取り組み	25.2.18	花南地区コミュニティ会議	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	水稻品種について	25.1.24	北伊手営農組合(奥州市)	北上市 (農研センター)
菅原 浩視	平成25年度卒業研究計画発表会	25.2.19	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
菅原 浩視	江刺新稲作運動推進協議会講演会	25.3.8	江刺新稲作運動推進協議会	奥州市(ホテル ニュー江刺新館イー ズ)
菅原 浩視	水稻品種講演会	25.3.22	岩手ふるさと農業協同組合米 穀部会水沢支部	奥州市(JA岩手ふる さと水沢地域セン ター)
小綿 寿志	平成24年度種子審査委員研修会	24.7.31	農産園芸課	北上市 (農研センター)
高橋 智宏	平成24年度種子審査委員研修会	24.7.31	農産園芸課	北上市 (農研センター)
高橋 智宏	平成24年度水稻種子オペレーター研修会	24.9.5	公益社団法人岩手県農産物 改良種苗センター	北上市(岩手中部農 業共済組合)
日影 勝幸	平成24年度種子審査委員研修会	24.7.31	農産園芸課	北上市 (農研センター)
日影 勝幸	第67回岩手県全国農業機械実演展示会農業技 術・営農相談	24.8.26	社団法人岩手県農業機械協 会	滝沢村(岩手産業文 化センター)
日影 勝幸	平成24年度岩手県農薬管理使用アドバイザー養 成研修	25.1.17	岩手県	盛岡市 (マリオス)

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
伊藤 信二	平成24年度種子審査委員研修会	24.7.31	農産園芸課	北上市 (農研センター)
伊藤 信二	平成24年度岩手県産大豆現地検討会	24.8.23	農産園芸課	花巻市、奥州市
伊藤 信二	豆腐流通協議会定例会	25.1.24	豆腐流通協議会	八幡平市(新安比温泉)
小舘 琢磨	良食味品種およびもち品種の選抜状況	24.12.6	矢巾腕まくり根っこの会	北上市 (農研センター)
川代 早奈恵	農業大学校(作物増殖)	24.7.23	岩手県立農業大学校	農業大学校
<b>野菜花き研究室</b>				
本田 純悦	いわてフラワーコンテスト2012	24.9.6	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
漆原 昌二 藤尾 拓也	平成24年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会点滴かん水装置操作研修会	24.4.23	農産園芸課	北上市 (農研センター)
漆原 昌二	平成24年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 第2回点滴かん水装置研修会	24.5.28	農産園芸課	北上市 (農研センター)
漆原 昌二	夏秋さゆり研修会	24.10.11	岩手江刺農業協同組合	北上市 (農研センター)
高橋 拓也	パプリカ目揃え及び研修会	24.7.23	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
高橋 拓也	平成24年度JA岩手県営農指導員研究発表集会	25.2.14	全農岩手県本部	盛岡市
高橋 拓也	次年度パプリカ栽培検討会	25.3.26	全農岩手県本部	花巻市
藤尾 拓也	平成24年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 なす現地研修会	24.9.24	農産園芸課	北上市 (農研センター)
藤尾 拓也	平成24年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議 第2回トマト現地研修会	24.9.21	農産園芸課	奥州市江刺区
山口 貴之	アスパラガス検討会	24.10.12	JA新しいわて	一戸町
山口 貴之	花北地区アスパラガス研修会	24.12.12	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	北上市 (農研センター)
山口 貴之	ウリ科ホモプシス根腐病シンポジウム	24.12.19	東北農業研究センター	盛岡市
山口 貴之	促成アスパラガス技術対策部会	25.1.16	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	一戸町
山口 貴之	金ヶ崎町アスパラガスフォーラム	25.3.3	日本種苗協会	金ヶ崎町
藤原 一道	りんどう採種技術検討会	24.4.23 24.5.28 24.6.26 24.7.24 24.9.25 24.10.29 24.12.19 25.2.20 25.3.26	農産園芸課	奥州市
星 伸枝 赤坂 志保 中里 崇	りんどう採種技術検討会	24.4.23	農産園芸課	奥州市
本田 純悦	りんどう採種技術検討会	24.8.28	農産園芸課	奥州市
藤原 一道	園芸育種研究会りんどう部会	24.11.16	農産園芸課	北上市 (農研センター)
藤原 一道	リンドウ圃場巡回	24.7.3	八幡平市	八幡平市
藤原 一道	農業農村指導士研修会	25.1.31	農業普及技術課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
中里 崇	園芸育種研究会りんどう部会	24.9.7	農産園芸課	北上市 (岩手生工研)
星 伸枝	園芸育種研究会りんどう部会	24.11.16	農産園芸課	北上市 (農研センター)
赤坂 志保	地域希望農業技術サポート会議	24.4.12 24.5.13	胆江地方農業振興協議会	奥州市
中里 崇	岩手大学農学部植物育種実験	24.5.14	岩手大学農学部	北上市 (農研センター)
中里 崇	花き視察研修	24.7.3	二戸地方農林振興協議会	北上市 (農研センター)
中里 崇	りんどう専門部研修会	24.9.28	JA岩手ふるさと園芸部会	北上市他
中里 崇	農業大学校(作物増殖・花き)	24.10.15	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
中里 崇	卒業研究発表会	25.3.11	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
中里 崇	平成24年度花巻農協鉢花部会通常総会	25.3.31	花巻農業協同組合鉢花生産部会	花巻市
<b>南部園芸研究室</b>				
佐々木 裕二	きゅうりほ場コンクール審査	24.8.29	大船渡農業協同組合	陸前高田市 住田町
<b>環境部</b>				
<b>生産環境研究室</b>				
小林 卓史	JA岩手ふるさと米穀部会総代会 記念講演 「放射性物質対策について」	24.6.4	JA岩手ふるさと米穀部会	奥州市
小田島 雅	いちご現地研修会	24.6.29	中央農業改良普及センター 県域普及グループ(農研共催)	陸前高田市 (アグリランド高田)
小林 卓史	JA岩手ふるさと水沢支部稲作研究部研修会 「放射性物質対策について」	24.8.29	JA岩手ふるさと水沢支部 稲作研究部	奥州市
佐藤 喬	いわてアグリフロンティアスクール	24.10.18	岩手大学	盛岡市
桐山 直盛	水沢地域農事実行組合協議会 「放射性物質対策について」	24.12.6	水沢地域農事実行組合協議会	奥州市
小林 卓史 佐藤 喬	農業農村指導士中部ブロック研修会	24.3.1	農業農村指導士協会	遠野市
小林 卓史 桐山 直盛	INS第13回土づくり研究会	25.3.6	INS土づくり研究会	盛岡市
<b>病理昆虫研究室</b>				
多田 典穂	平成24年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会」天敵昆虫利用研修会(ピーマン・なす)	24.4.23	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	農研センター会議 室
多田 典穂	農業大学校講義	24.9.12	岩手県立農業大学校	農研センターほ場
多田 典穂	平成24年度専門技術基本研修(野菜第IV期)	24.10.3	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
多田 典穂	アグリフロンティアスクール	24.10.18	岩手大学	岩手大学
多田 典穂	平成24年度植物防疫事業実績検討会(野菜・花き 部会)	24.12.14	病害虫防除所	農研センター会議 室
多田 典穂	平成24年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	25.1.25	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
多田 典穂	平成24年度天敵昆虫利用技術検討会	25.3.6	一関農業改良普及センター	一関市川崎公民館

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
富永 朋之	平成24年度専門技術基本研修(果樹Ⅱ)	24.6.13	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
富永 朋之	農業大学校講義	24.9.12	岩手県立農業大学校	農研センター圃場
富永 朋之	平成24年度植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
富永 朋之	平成24年度植物防疫事業実績検討会(野菜・花き 部会)	24.12.14	病害虫防除所	農研センター会議 室
富永 朋之	平成24年度植物防疫事業実績検討会(果樹部会)	24.12.19	病害虫防除所、全農岩手県本 部	農研センター会議 室
羽田 厚	平成24年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議り んどう技術対策部会「第1回現地検討会」	24.6.11	推進会議会長(農産園芸課総 括課長)	衣川山村開発セン ター・現地ほ場
羽田 厚	平成24年度専門技術基本研修(果樹Ⅱ)	24.6.13	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
羽田 厚	平成24年度青森県りんご病害虫マスター養成事業 視察研修	24.8.22	財団法人 青森県りんご協会	農研センター会議 室
羽田 厚	視察研修「ヒメボクトウ及びカメムシの防除につい	24.9.19	山元町りんご組合	所内
羽田 厚	平成24年度新技術・普及活動検討会(花き部門)	25.1.29	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
羽田 厚	平成24年度長野県病害虫防除シンポジウム	25.2.22	長野県病害虫防除所	長野県松本大学講 義室
横田 啓	平成24年度植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	ホテル志戸平
横田 啓	平成24年度植物防疫事業実績検討会(水稲・畑作 部会)	24.12.18	病害虫防除所	農研センター会議 室
横田 啓	農薬管理使用アドバイザー研修	25.1.17	農業普及技術課	マリオス会議室
横田 啓	水田営農を元気にする新技術等普及戦略検討会	25.1.24	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
横田 啓	平成24年度新技術・普及活動検討会(作物部門)	25.1.25	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
横田 啓	ヒメボクトウ対策指導会	25.3.25	JA岩手中央	JA岩手中央本所
横田 啓	岩手県産業用無人ヘリコプターオペレーター連絡 協議会安全運行研修会	25.2.1	岩手県産業用無人ヘリコプ ター連絡協議会	ホテル千秋閣
横田 啓	農薬適正販売使用研修会	25.1.31	盛岡市八幡宮「参集殿」	岩手県農薬卸商業 協同組合
岩舘 康哉	キュウリホモプシス根腐病抑制対策実証にかかる緩 衝能曲線作成研修	24.4.4	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
岩舘 康哉	平成24年度岩手県園芸産地改革戦略推進会議技 術対策部会ピーマン腐敗果対策現地研修会	24.6.7	農産園芸課	JA 岩手ふるさと本 店大ホール、奥州 市胆沢区現地
岩舘 康哉	平成24年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会」第1回きゅうり現地研修会	24.7.30	農産園芸課	全農いわて純情産 地営農支援セン ター、盛岡市現地圃 場
岩舘 康哉	平成24年度小麦部会役員研修	24.8.29	JAいわて中央	JA いわて中央本所 研修室
岩舘 康哉	平成24年度「岩手県園芸産地改革戦略推進会議 技術対策部会」第2回きゅうり現地研修会	24.9.18	農産園芸課	農研センター会議 室・圃場、遠野現地 圃場
岩舘 康哉	平成24年度専門技術基本研修(野菜第Ⅳ期)	24.10.3	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議 室
岩舘 康哉	夏秋きゅうり研修会	24.10.11	岩手江刺農協	農研センター会議
岩舘 康哉	ホップ技術検討会	24.11.21	全国ホップ連合会	仙台市「メルパルク 仙台」会議室

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
岩館 康哉	農薬管理使用アドバイザー研修	25.1.17	農業普及技術課	マリオス会議室
岩館 康哉	平成24年度新技術・普及活動検討会(野菜部門)	25.1.25	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議室
岩館 康哉	畑作物共済(ホップ)事業推進会議並びにホップ栽培歴検討会	25.1.31~2.1	岩手県農業共済組合連合会 岩手県ホップ協会	ホテル愛真館
岩館 康哉	キュウリホモプシス根腐病対策研修会	25.3.7	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	農研センター会議室
岩館 康哉	平成24年度病虫害防除・土づくり研修会	25.3.14	秋田県植物防疫協会	秋田県農業試験場 講堂
岩館 康哉	環境・エネルギー・社会工学会 鉄鋼スラグ新機能フォーラム	25.3.19	一般社団法人 日本鉄鋼協会	東京都大手町サン ケイプラザ
岩館 康哉	ホップ病虫害防除講習会	25.3.21	江刺ホップ農協	金ヶ崎町「みどりの 郷」
熊谷 親一	農薬管理使用アドバイザー研修	25.1.17	農業普及技術課	マリオス会議室
<b>病虫害防除部</b>				
<b>病虫害防除課</b>				
大友 令史	岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会 安全運行研修	24.4.27	岩手県産業用無人ヘリコプ ター推進協議会	盛岡市
大友 令史	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	24.6.4	滝沢村	滝沢村
大友 令史	第1回りんご病虫害防除研修会	24.6.6	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
大友 令史	第2回りんご病虫害防除研修会	24.7.13	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
大友 令史	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	24.7.13	滝沢村	滝沢村
大友 令史	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	24.8.30	滝沢村	滝沢村
大友 令史	岩手県植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
大友 令史	水稲の病虫害防除研修	24.12.6	やはば腕まくり根っこの会	北上市 (農研センター)
大友 令史	盛岡地方りんご病虫害防除検討会	24.12.25	盛岡地方農業農村振興協議	盛岡市
大友 令史	平成25年りんご防除暦(案)及び生産販売体制(案) 説明会	25.1.9	JAいわて中央農協	紫波町
大友 令史	一関地方りんご病虫害防除暦編集会議	25.1.10	一関地方農林業振興協議会	一関市
大友 令史	岩手県農薬卸商組合研修会	25.1.31	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
大友 令史	斑点米カメムシ防除対策研修会	25.2.1	ヤンマー農機	北上市
名久井 一樹	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	24.6.4	滝沢村	滝沢村
名久井 一樹	第1回りんご病虫害防除研修会	24.6.6	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	第2回りんご病虫害防除研修会	24.7.13	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	24.7.13	滝沢村	滝沢村
名久井 一樹	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	24.8.30	滝沢村	滝沢村
名久井 一樹	岩手県植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
名久井 一樹	普及指導員新任者研修、普及活動基本研修	24.11.12	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
名久井 一樹	高等学校農業部会技術研修会	24.11.16	岩手県高等学校農業部会	花巻市
名久井 一樹	農薬アドバイザー更新研修	24.11.21	農業普及技術課	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
名久井 一樹	農薬アドバイザー更新研修	24.12.5	農業普及技術課	奥州市
名久井 一樹	JAしんせら農薬適正使用講習会	25.1.10	JAしんせら	盛岡市
名久井 一樹	農薬アドバイザー養成研修	25.1.17	農業普及技術課	盛岡
名久井 一樹	江刺りんご栽培暦作成検討会	25.1.22	JA江刺	奥州市江刺区
阿部 弘	サトイモ生産振興大会	25.2.23	JAテラル越前	福井県大野市
加藤 清吾	岩手県園芸産地改革戦略会議	24.6.11	農産園芸課	奥州市
加藤 清吾	農薬アドバイザー更新研修	24.12.5	農業普及技術課	奥州市
加藤 清吾	りんどうスキルアップセミナー	24.12.19	中央農業改良普及センター 地域普及グループ	北上市 (農研センター)
加藤 清吾	りんどう専門部実績検討会	25.1.30	JA岩手ふるさと	奥州市
加藤 清吾	岩手県農薬卸商組合研修会	25.1.31	岩手県農薬卸商組合	盛岡市
加藤 清吾	営農指導員対象研修会	25.2.26	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
宍戸 貴洋	岩手県植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
吉田 雅紀	岩手県園芸産地改革戦略会議ねぎ研修会	24.5.22	農産園芸課	盛岡市
吉田 雅紀	新規就農者研修	24.5.25	岩手県立農業大学校	農業大学校
吉田 雅紀	岩手県園芸産地改革戦略会議	24.6.11	農産園芸課	奥州市
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	24.10.18	農業普及技術課	釜石市
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	24.11.21	農業普及技術課	盛岡市
吉田 雅紀	岩手県植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
吉田 雅紀	花き専門技術向上研修	24.11.30	中央農業改良普及センター 県域普及グループ	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	24.12.5	農業普及技術課	奥州市
吉田 雅紀	農薬アドバイザー更新研修	25.1.16	農業普及技術課	北上市 (農研センター)
吉田 雅紀	農薬アドバイザー養成研修	25.1.17	農業普及技術課	盛岡市
吉田 雅紀	病害虫防除・GAP研修会	25.1.29	二戸農業改良普及センター	二戸市
吉田 雅紀	野菜生産部会紫波支部通常総会	25.2.18	JAいわて中央	紫波町
吉田 雅紀	営農指導員対象研修会	25.2.26	全農岩手県本部	北上市 (農研センター)
村上 太郎	斑点米カメムシ類の特徴に関する研修会	24.5.28	JAいわい東	一関市千厩町
村上 太郎	農薬アドバイザー更新研修	24.10.18	農業普及技術課	釜石市
村上 太郎	岩手県植物防疫関係者技術研修会	24.11.27	(社)岩手県植物防疫協会	花巻市
村上 太郎	営農指導員シンポジウム	24.12.4	全農	仙台市
村上 太郎	農薬アドバイザー養成研修	25.1.17	農業普及技術課	盛岡市
村上 太郎	新岩手農協南部地域稲作生産部会雫石中央支部 研修会	25.2.1	新岩手農協南部地域稲作生 産部会雫石中央支部	雫石町
村上 太郎	室根地区斑点米カメムシ防除プロジェクト実績検討 会	25.2.13	JAいわい東	一関市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>畜産研究所</b>				
<b>家畜育種研究室</b>				
熊谷 光洋	第10回全国和牛能力共進会「肉牛の部」肥育農家 検討会	24.5.21	全農岩手県本部	雫石町
熊谷 光洋	家畜受精卵移植講習会	25.2.7,8,26	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
佐々木 睦美	奥州市エタノール化等研究開発調査検討委員会	24.7.30 25.2.21	奥州市	奥州市
児玉 英樹	第56回岩手県家畜共進会日本短角種の部審査員	24.8.30	岩手県畜産協会	雫石町
児玉 英樹	第64回九戸地方日本短角種子牛共進会審査員	24.10.23	九戸地方日本短角種子牛共 進会	久慈市
児玉 英樹	家畜人工授精講習会	24.11.16,20	畜産課	農業大学校
児玉 英樹	家畜受精卵移植講習会	25.2.5,12,15, 18~22	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
児玉 英樹	盛岡市認定農業者協議会専門部会研修会	25.1.24	盛岡市認定農業者協議会	盛岡市玉山区
佐藤 洋一	家畜人工授精講習会	24.10.30, 11.17	畜産課	農業大学校
鈴木 強史	農業大学校講義	24.10.24	岩手県立農業大学校	金ヶ崎町
鈴木 強史	新岩手くじ短角生産部会研修会	25.2.21	新岩手くじ短角生産部会	久慈市
神山 洋	第64回九戸地方日本短角種子牛共進会	24.10.23	九戸地方日本短角種子牛共 進会	久慈市
<b>家畜飼養・飼料研究室</b>				
佐藤 直人	岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究 センター第10回研修会	24.8.8	岩手大学農学部	盛岡市(岩手大学)
齋藤 浩和	家畜人工授精講習会	24.10.29, 11.12	畜産課	農業大学校
齋藤 浩和	家畜商講習会	24.12.20	流通課	盛岡市
木戸場 結香	家畜人工授精講習会	24.11.12, 11.15	畜産課	農業大学校
伊藤 孝浩	岩手県・若手酪農家の集い	24.11.27	岩手県乳質改善協議会	盛岡市
伊藤 孝浩	子牛市場ワンポイント講座	25.3.7	全農岩手県本部	奥州市
伊藤 孝浩	子牛市場ワンポイント講座	25.3.14	全農岩手県本部	雫石町
佐藤 まり子	子牛市場ワンポイント講座	25.3.15	全農岩手県本部	雫石町
山形 広輔	子牛市場ワンポイント講座	25.3.6	全農岩手県本部	奥州市
山形 広輔	子牛市場ワンポイント講座	25.3.13	全農岩手県本部	雫石町
<b>外山畜産研究室</b>				
太田原 健二	家畜人工授精講習会	24.11.20	畜産課	金ヶ崎町 (農業大学校)
太田原 健二	農業大学校講義	24.10.31	農業大学校	金ヶ崎町 (農業大学校)
佐々木 正俊	県北広域和牛繁殖経営担い手研修会	24.11.28	県北広域振興局	洋野町

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
<b>種山畜産研究室</b>				
西田 清	第10回全国和牛能力共進会「肉牛の部」肥育農家 検討会	24.5.21	岩手県立農業大学校	雫石町
西田 清	人工授精師講習会	24.11.7～	畜産課	農業大学校他
今野 一之	人工授精師講習会	24.11.6	畜産課	農業大学校
今野 一之	家畜受精卵移植講習会	25.2.6,13,14 18～22	畜産課	滝沢村 (畜産研究所)
今野 一之	家畜商講習会	24.12.21	流通課	盛岡市
小梨 茂	人工授精師講習会	24.11.7～9	畜産課	農業大学校他
<b>東北農業研究所</b>				
<b>作物研究室</b>				
菊池 利行 仲條 眞介	軽米町教育委員会視察	24.8.1	軽米町	軽米町 (県北農業研究所)
仲條 眞介	軽米町学校保健会研修会	24.11.20	軽米町	軽米町 (県北農業研究所)
仲條 眞介	二戸地域雑穀生産者大会	25.1.16	二戸地方農林水産振興 協議会 農産園芸部会	二戸市
阿部 亜希子	一戸町雑穀セミナー	25.2.26	一戸町	一戸町
<b>園芸研究室</b>				
藤沢 巧	第63回全日本野菜品種審査会	24.9.13～14	一社)日本種苗協会	群馬県 (高冷地野菜研究 所)
藤沢 巧	農業大学校新規就農者研修	24.9.27	岩手県立農業大学校	軽米町 (県北農業研究所)
藤沢 巧	JA新しいわて久慈野菜部会研修会	24.12.18	JA新しいわて久慈経済営農セン ター	軽米町 (県北農業研究所)
藤沢 巧	県北地域ホウレンソウ生産者大会	24.12.20	久慈地域農業農村活性化協 議会	久慈市
小菅 裕明 鹿糠 美雪 武田 純子	岩手県農業農村指導士研修会	25.1.31	岩手県農業農村指導士協会	盛岡市
武田 純子	久慈農業改良普及センター普及指導活動の内部 評価	25.2.6	久慈農業改良普及センター	久慈市
鹿糠 美雪	平成24年度さく生産・販売実績検討会	25.1.30	九戸村	九戸村
田代 勇樹	春まきたまねぎ研修会	25.3.14	二戸青果生産組合	軽米町 (県北農業研究所)



### 3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	来所者数	参観デー来場者数	合計	備 考
本 部	1,066 人	2,500 人	3,566 人	・平成24年4月～平成25年3月
畜産研究所	860 人	1,000 人	1,860 人	
県北農業研究所	288 人	350 人	638 人	
計	2,214 人	3,850 人	6,064 人	

### 4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場 所	参 集 人 員
春季一般公開	24.4.19～24	農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	57 名
参観デー(本部)	24.9.7～8	農業研究センター本部 農業ふれあい公園 「農業科学博物館」	2,500 名
参観デー(畜産研究所)	24.8.24～26	岩手産業文化センター(アピオ)	1,000 名
一般公開デー(県北農業研究所)	24.8.31～9.1	県北農業研究所	350 名

### 5 現地ふれあい農業研究センター

開催期日	開催場 所	主 な 内 容	参集人員
(開催なし)			

### 6 一日子供農業研究員

名 称	開催期日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み農業 研究体験～	24.8.9	小学5年生を対象とした研究体験 ・リンドウを使って実験しよう ・「くだもの」の味の違いを知ろう! ・イネの一生としくみ 講師:農業研究センター職員	23名

### 7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項 目	主 な 内 容	開催期日	参集人数	
農業科学博物館	入館者数	入館者総数(企画展、イベント、その他を含む来館者数)	4,250名	
		農業研究センター春季一般公開	24.4.19～24 (57名)	
		農業研究センター参観デー	24.9.7～8 (591名)	
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		—
		第52回「畜力と農作業～稲作業実態調査から～」	24.4.8～6.29	
		第53回「むかしの暮らし～台所の道具～」	24.7.5～9.30	
		第54回「むかしの岩手～地域食生活と作物脱穀・加工調整用具～」	24.10.6～12.27	
		第55回「生活に使われた道具」	25.1.11～3.30	
イベント	「松飾り作り体験」	24.12.23	19名(9組)	
その他	学校教育支援活動 16校(社会科実習、校外学習等の受入)	-	995名	
	在宅高齢者支援活動(博物館見学会)	-	78名	
農業ふれあい公園 ゲートボール場	ゲートボール、グラウンドゴルフなど	利用期間 4月～11月	6,508名 (329件)	
農業ふれあい公園 加工工房	加工研修準備	農業起業者向食品加工研修準備	24.10.31 5名	
	加工研修	農業起業者向食品加工研修	24.11.2 45名	
	加工試作	食品加工試作	25.1.8 3名	
	加工試作	食品加工試作	25.2.19 10名	
	加工試作	食品加工試作	25.2.20 6名	

## 8 研修生の受け入れ

### (1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
該当なし				

### (2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
齋藤 生	地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所	小麦品種選抜並びに原種生産	作物研究室	24.10.17～18

### (3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
千葉 勉	岩手ふるさと農業協同組合	いちごの栽培管理全般 いちごの定植とその後の管理	南部園芸研究室	24.8.20 ～24.8.24

### (4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校体験学習	職場体験学習(米食味試験等)	2	作物研究室	24.11.8
北上市立鬼柳小学校体験学習	職場体験学習(水稻試験研究状況等)	58	作物研究室	24.9.13
花巻市立太田小学校体験学習	職場体験学習(水稻試験研究状況等)	26	作物研究室	24.10.30
北上市立上野中学校	職場体験学習(天敵防除試験圃場(ハウス)の調査等)	2	プロジェクト推進室 研究企画室 総務課 南部園芸研究室 生産環境研究室 病理昆虫研究室	24.11.9
軽米町立晴山中学校 2年生	体験学習	1	県北農業研究所	24.8.22～24

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手県立花巻農業高等学校	現場体験実習	2	作物研究室	24.8.1
弘前大学農学生命科学部3年生、4年生、修士学生	アスパラガス伏せ込み促成栽培について	4	野菜花き研究室	24.11.30
盛岡農業高校専攻科	津波被災地復興に対する農研センターの取り組みについて	10	南部園芸研究室	24.9.12
盛岡農業高校環境科学科2学年	津波被災地復興に対する農研センターの取り組みについて	5	南部園芸研究室	25.3.19
明治大学農学部農学科	岩手らしい農業の風景と現地での試験状況	15	病理昆虫研究室	24.8.8
岩手大学農学部獣医学課程 4年	家畜衛生学実習:各種家畜の飼養管理方法や衛生管理などを理解する。	41	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	24.05.14
県立農業大学校畜産科1年 事例視察研修	畜産研究所における牛の研究概要	20	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	24.06.14
岩手大学農学部生命科学課程 3年	牧草放射線測定, 日本短角種飼養による環境負荷低減や資源有効利用, 光触媒技術についての理解を深める。	33	家畜飼養・飼料研究室 家畜育種研究室	24.07.12
帯広畜産大学4年	東北農業研究センター インターシップ(7.10~7.20)における見学対応	1	家畜育種研究室	24.07.13
盛岡農業高校2年	酪農実習	1	家畜飼養・飼料研究室	24.07.26~27、 30
日本獣医生命科学大学3年	乳用牛・肉用牛の飼養管理	1	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	24.08.20~28
日本大学4年	行政体験研修:畜産研究所における獣医師の業務	1	家畜育種研究室	24.08.28
日本大学5年、岩手大学3年	行政体験研修:畜産研究所における獣医師の業務	2	家畜育種研究室	24.09.14
岩手大学農学部動物科学課程 2年	動物管理学分野における施設見学	24	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	24.10.11
岩手大学大学院農学研究科(海外留学生)	動物管理学分野における施設見学	5	家畜育種研究室 家畜飼養・飼料研究室	25.1.22
岩手県立軽米高等学校 2年生	職場見学	1	県北農業研究所	24.8.1
岩手大学農学部 農学生命課程 農業科学専攻 3年生	現場研修	1	県北農業研究所	24.9.3~7

ウ インターンシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
小野寺美咲	岩手大学	キュウリ病害(現地試験)、斑点米カメムシ・天敵防除試験の調査等	研究企画室 病理昆虫研究室 病害虫防除課	24.9.18~21

## 9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	所長	商工労働観光部科学・ものづくり振興課
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長	農業普及技術課
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	所長	農業普及技術課
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 果樹研究室長 作物研究室長(技術部) 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物研究室長(県北研) 病虫害防除所次長 (病虫害防除課長)	農業普及技術課
環境と共生する産地づくり運動推進協議会	幹事	環境部長	農業普及技術課
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	副会長 委員	病虫害防除部長 環境部長	農業普及技術課
放射性物質の農作物等への影響に係る 生産管理指導対策会議	構成員	環境部長 畜産研究所次長	農業普及技術課
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	技術部長	団体指導課
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	技術部長	流通課
いわての大豆普及推進協議会	委員	技術部長	流通課
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事 中央幹事	企画管理部長 技術部長 県北農業研究所長 農業経営研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 園芸研究室長(県北研)	農村計画課
岩手県農業農村整備事業地区 担い手育成協議会	委員	農業経営研究室長	農村建設課
農作物奨励品種検討会議	構成員	所長	農産園芸課

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 農業経営研究室長 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県農作業安全対策協議会	委員	副所長	農産園芸課
岩手県農業機械士認定委員会	委員	技術部長	農産園芸課
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 技能検定員	上席専門研究員 (プロジェクト推進室) 技能員 (プロジェクト推進室、 技術部、環境部)	農産園芸課
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	技術部長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
全国豆類経営改善共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
全国麦作共励会岩手県審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	技術部長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長 審査委員 審査委員	県北農業研究所長 作物研究室長(技術部) 作物研究室長(県北研)	農産園芸課
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部)	農産園芸課
県産米食味向上プロジェクトチーム	構成員 構成員 構成員	プロジェクト推進室長 作物研究室長(技術部) 生産環境研究室長	農産園芸課
「農業機械安全使用講習会開催業務委託」 契約候補者審査委員会	委員	プロジェクト推進室長	農産園芸課
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員 委員	農業経営研究室長 野菜花き研究室長	農産園芸課
(公財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	所長	(公財)岩手生物工学研究センター
花北地方農業農村振興連絡協議会 (花巻地域希望農業技術サポート会議を兼ねる)	構成員	企画管理部長	県南広域振興局農政部 花巻農林振興センター
大船渡地方農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター
中央環境審議会土壌農薬部会農薬小委員会	専門委員	病虫害防除部長	環境省 水・大気環境局
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	東北農政局
北上市みどりのまちづくり審議会	委員	企画管理部長	北上市
住田町農業振興協議会	構成員	南部園芸研究室長	住田町
日本農業経営学会	理事	農業経営研究室長	(独)中央農業総合研究センター
東北農業試験研究協議会	理事	所長	(独)農研機構・東北農業研究センター
東北農業経済学会	評議員	農業経営研究室長	東北大学農学部
岩手農林研究協議会 (AFR)	副会長(委員) 幹事	所長 技術部長	岩手大学農学部
いわて純情米体質強化推進協議会	幹事	技術部長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員長	所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部

協議会、委員会等の名称	役 職	職 名	担 当 機 関
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	環境部長 畜産研究所長 プロジェクト推進室長 果樹研究室長 野菜花き研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 県北農業研究所次長兼 作物研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	技術部長 果樹研究室長 主査専門研究員 (果樹研究室) 病理昆虫研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
いわてフラワーコンテスト	審査委員長 審査委員	技術部長 野菜花き研究室長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	作物研究室長(技術部)	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県農業共済組合連合会損害評価会	損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (農作物・水稲) 損害評価委員 (果樹) 損害評価委員 (果樹) 損害評価委員 (農作物・麦) 損害評価委員 (畑作物・大豆・ ホップ) 損害評価委員 (畑作物・麦・ 大豆・ホップ) 損害評価委員 (園芸施設)	病害虫防除課長 作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長 果樹研究室長 主任主査 (病害虫防除課) 上席専門研究員 (技術部作物研究室) 主任専門研究員 (技術部作物研究室) 主任主査 (病害虫防除課) 野菜・花き研究室長	岩手県農業共済組合連合会
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	病害虫防除課長	岩手県農業共済組合連合会
(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部	委員 監事	作物研究室長(技術部) 果樹研究室長	(公財)日本植物調節剤研究協会東北支部
(社)岩手県植物防疫協会	運営部会幹事 運営部会幹事 運営部会幹事 事業部会幹事 事業部会幹事 事業部会幹事 事業部会幹事 事業部会幹事 事業部会幹事	技術部長 環境部長 病害虫防除所長 (病害虫防除部長) 作物研究室長(技術部) 果樹研究室長 野菜花き研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病害虫防除所次長 (病害虫防除課長)	(社)岩手県植物防疫協会

協議会、委員会等の名称	役職	職名	担当機関
種子価格設定委員会	委員	作物研究室長(技術部)	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
種子事故防止委員会兼種子事故調査委員会	委員 委員	作物研究室長(技術部) 病理昆虫研究室長	(公社)岩手県農産物改良種苗センター
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課
いわて短角和牛改良推進協議会	委員	家畜育種研究室長 外山畜産研究室長	日本短角種集団育種推進協議会 畜産課
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	畜産課 全国農業協同組合連合会岩手県本部
畜産環境整備事業農機具導入委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県飼料増産推進協議会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	畜産課
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所長	畜産研究所
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	外山畜産研究室長	盛岡市
岩手県農協大型酪農経営連絡協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
岩手県乳質改善協議会	委員	畜産研究所長	全国農業協同組合連合会岩手県本部
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	家畜飼養・飼料研究室長	(社)岩手県畜産協会
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	参与 参与 委員	畜産研究所長 畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会
和牛改良専門委員会	委員 委員	畜産研究所次長兼 種山畜産研究室長 家畜育種研究室長	全国和牛登録協会岩手県支部
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	主査専門研究員 (種山畜産研究室)	全国和牛登録協会岩手県支部
日本短角種検定委員会	委員	家畜育種研究室長	日本短角種登録協会
日本短角種研究会	評議員	家畜育種研究室長	日本短角種研究会
日本短角種枝肉情報分析委員会	委員	家畜育種研究室長	肉用牛改良情報活用協議会
岩手県獣医師会学術広報委員会	副委員長	家畜育種研究室長	岩手県獣医師会
八戸平原地域営農推進協議会	委員	県北農業研究所長	東北農政局 北奥羽調査管理事務所





# 職員研修



## VI 職員研修

### 1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 野々上慈徳	技術部 作物研究室	イネの多収に関わる遺伝子の解析	岩手大学大学院 連合農学研究科 (連携院:岩手生物 工学研究センター)	24.4～
主任専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	休眠特性の解明によるアスパラガス新作型の開発	岩手大学大学院 連合農学研究科 (弘前大学)	24.4～
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	キュウリホモブシス根腐病の発生病態と防除に関する研究	岩手大学大学院 連合農学研究科	21.10～ 25.3.22
主任専門研究員 佐藤 洋一	畜産研究所 家畜育種研究室	日本短角種におけるDNA情報を活用した育種に関する研究	東北大学大学院 農学研究科	22.4～
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	高標高・寒冷地域における粗飼料調製技術に関する研究	岩手大学大学院連 合農学研究科 (岩手大学)	23.4～

### 2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
該当なし				

### 3 国内研修への派遣

#### (1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	水稲鉄コーティング散播栽培に関する研究	独立行政法人・食品 産業技術総合研究 機構・東北農業研究 センター	24.5.1～7.31
主任専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	トマトにおけるユビキタス環境制御技術に関する研究	(独)農業・食品産業 技術総合研究機構 野菜茶業研究所 野菜生産技術研究 領域 施設野菜生 産技術研究グルー プ(つくば研究拠点)	24.10.1～ 12.21 (58日間)
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	岩手県内各地のリンゴ園地から採取したハダニ類の個体群識別	農研機構 中央農 業研究センター病害 虫研究領域	24.10.1～ 12.27

#### (2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 小綿 寿志	技術部・作物研究室	青森県における麦品種選定及び栽培研究、と主要実需者との意見交換	地方独立行政法人 青森県産業技術セ ンター農林総合研 究所	24.6.5～6
主査専門研究員 佐々木 睦美	畜産研究所 家畜育種研究室	種鶏飼養・ふ卵・衛生管理技術について	(地独)青森県産業 技術センター畜産 研究所	24.6.18～20
主査専門研究員 中西 商量 主査専門研究員 鹿糠 美雪	県北農業研究所	植物工場(太陽光利用型)での試験研究の研修	(地独)青森県産業 技術センター 農林総合研究所	24.7.5
専門研究員 田代 勇樹 専門研究員 武田 純子	県北農業研究所	寒冷地ねぎ栽培技術の研修	秋田県農業試験場	24.7.27～28

**(3) 農林水産関係研究リーダー研修**

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
企画管理部長 前田 一人	企画管理部	変革時代のリーダーシップ・マネジメント他	東京都 中央合同庁舎	24.5.24～25
技術部長 及川 一也	技術部	変革時代のリーダーシップ・マネジメント他	東京都 中央合同庁舎	24.5.24～25

**(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修**

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 中西 商量	県北農業研究所	数理統計研修(基礎編)	茨城県 農林水産技術会議 事務局筑波事務所	24.11.5～9

**(5) 農林水産関係研究者研修**

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 高橋 智宏	技術部 作物研究室	平成24年度農林水産中堅研究者研修	茨城県つくば市(農 林水産技術会議事 務局筑波事務所)	24.6.20～22
主任専門研究員 高橋 拓也	技術部 野菜花き研究室	平成24年度農林水産中堅研究者研修	茨城県つくば市(農 林水産技術会議事 務局筑波事務所)	24.6.20～22
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	食肉の官能評価ワークショップ	農研機構畜草研	24.11.1～ 11.2
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	アミノ酸分析、豚肉せん断力測定技術研修	農研機構東北農研	24.10.11～ 12.26(実11 日)

**(6) その他**

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	第14回東北雑草研究会(日本雑草学会東北支 部会)研究発表会、現地見学会、東北農業試験 研究推進会議農業基盤推進部会作業技術研 究会検討会	宮城県仙台市、名 取市	24.8.30～31
プロジェクト推進室長 扇 良明	プロジェクト推進室	東北農業試験研究推進会議農業基盤推進部会 作業技術研究会 平成24年度合同シンポジウム 「被災地の復旧状況と復興に向けた取組と課 題」	宮城県仙台市	24.8.30
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	平成24年東北農業試験研究推進会議稲推進部 会直播研究会、水稻直播等低コスト技術現地 検討会	秋田県鹿角市	24.9.4～5
主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	日本作物学会第234回講演会	宮城県仙台市	24.9.10～11
プロジェクト推進室長 扇 良明 上席専門研究員 高橋 昭喜 主任専門研究員 寺田 道一 主任専門研究員 藤田 智美 主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	岩手・青森連携シンポジウム ～水稻直播栽培の多収・低コスト化の実践と展 望～	盛岡市	25.2.6
上席専門研究員 高橋 昭喜 主任専門研究員 臼井 智彦	プロジェクト推進室	青森・岩手連携シンポジウム ～水稻直播栽培の多収・低コスト化の実践と展 望～	青森県青森市	25.2.25
主任専門研究員 藤田 智美	プロジェクト推進室	平成24年度新技術セミナー	埼玉県さいたま市	25.3.13
主任専門研究員 臼井 智彦 主任技能員 菅野 輝彦	プロジェクト推進室	平成24年度生研センター研究報告会・農業機 械開発改良試験研究打合せ会議	埼玉県さいたま市	25.3.14～15
主任専門研究員 寺田 道一	プロジェクト推進室	日本作物学会第235回講演会	神奈川県川崎市	25.3.28～29

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 熊谷 拓哉 主任専門研究員 沼田 芳宏	企画管理部 研究企画室	政策評価セミナー	盛岡市	24.5.24
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITマスタ研修会	盛岡市	24.6.1
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポーター研修会(第1回)	花巻市	24.6.6
主査専門研究員 熊谷 拓哉 主任専門研究員 沼田 芳宏	企画管理部 研究企画室	会計事務担当職員研修(基礎編)	盛岡市	24.6.6
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	広報研修(第1回)	盛岡市	24.6.18
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	ITサポーター研修会(第2回)	盛岡市	24.9.12
主査専門研究員 土田 泰輔	企画管理部 研究企画室	アグリビジネス創業塾	北上市(本部)	24.9.27
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	広報研修(第2回)	盛岡市	24.11.6
主任専門研究員 伊勢 智宏	企画管理部 研究企画室	著作権セミナー	仙台市	24.11.21
主査専門研究員 山田 修	企画管理部 農業経営研究室	施設園芸・植物工場展2012	東京都	24.7.26
主査専門研究員 山田 修	企画管理部 農業経営研究室	園芸学会秋季大会	福井県	24.9.22～23
主査専門研究員 山田 修	企画管理部 農業経営研究室	園芸学会春季大会	東京都	25.3.23～24
主任主査 吉田 勝	企画管理部 総務課	会計事務担当職員研修(出納局主催)	盛岡市	24.6.6
主幹兼総務課長 澤口 総一	企画管理部 総務課	安全運転管理者等講習 (公安委員会による研修)	北上市	24.10.4
技師 田口 礼人	技術部 果樹研究室	岩手県果実酒研究会講演会	盛岡市	25.3.5
技師 川代 早奈恵	技術部 作物研究室	「お米アドバイザー」認定スクーリング	仙台市(TAC株式会社 社仙台校)	24.8.28～29
主任専門研究員 高橋 拓也 主任専門研究員 山口 貴之	技術部 野菜花き研究室	平成24年度園芸学会秋季大会	福井県	24.9.22～24
主任専門研究員 山口 貴之 主任専門研究員 藤尾 拓也	技術部 野菜花き研究室	平成25年度園芸学会秋季大会	東京都	25.3.23～24
主査専門研究員 星 伸枝	技術部 野菜花き研究室	平成24年度花き研究シンポジウム	茨城県	24.10.23～24
南部園芸研究室長 佐々木 裕二	技術部 南部園芸研究室	いわて産学官連携フォーラム ～リエゾン-Iマッチングフェア2012～	盛岡市	24.11.9
南部園芸研究室長 佐々木 裕二	技術部 南部園芸研究室	施設園芸・植物工場展2012	東京都	24.7.26
主任専門研究員 小田島 雅	環境部 生産環境研究室	園芸学会春季大会	東京都	25.3.23～24
主任専門研究員 小田島 雅	環境部 生産環境研究室	第34回施設園芸総合セミナー・機器資材展	東京都	25.2.21～22
主任専門研究員 桐山 直盛 主任専門研究員 大友 英嗣	環境部 生産環境研究室	γ線核種分析のための講習会	社団法人日本アイソ トープ協会	24.4.16
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	アイソトープ基礎技術入門講習会	社団法人日本アイソ トープ協会	24.5.14～17
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	ゲルマニウム半導体検出器による測定法	財団法人日本分析 センター	24.7.17～19

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	放射線測定入門	財団法人日本分析センター	24.7.23～24
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	ゲルマニウム半導体検出器による測定法	財団法人日本分析センター	24.10.3～5
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	放射線影響を正しく伝えるスキルアップセミナー 第2回「放射線と健康影響」	奥州市	24.7.11
生産環境研究室長 小林 卓史	環境部 生産環境研究室	放射線影響を正しく伝えるスキルアップセミナー 第3回「特措法と除染実施計画」 第4回「放射線の測定技術」	環境保健研究センター	24.7.18
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	食総研シンポジウム	つくば市	24.7.20
生産環境研究室長 小林 卓史 上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	放射線セミナー	北上市	24.10.12
生産環境研究室長 小林 卓史 主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	飼料作物放射線対策セミナー	岩手大学	24.11.5
上席専門研究員 佐藤 喬 主任専門研究員 大友 英嗣	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会東北支部会	日本土壌肥料学会	24.7.4～5
上席専門研究員 佐藤 喬 主任専門研究員 大友 英嗣	環境部 生産環境研究室	日本土壌肥料学会(鳥取大会)	日本土壌肥料学会	24.9.4～6
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	野菜適正施肥研修会	農研機構	24.10.29～30
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	土壌調査研修	土壌協会	24.11.8～9
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第17回農林害虫防除研究会新潟大会	長岡市	24.6.14～15
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第18回農作物病虫害防除フォーラム	東京都	24.9.11
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	「第16回バイオロジカルコントロール協議会講演会」および「第5回環境保全型農業シンポジウム」 共催シンポジウム	仙台市	24.11.7
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第22回天敵利用研究会	岡山県倉敷市	24.12.12～13
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	シンポジウム「環境保全型農業と病虫害防除を考える」	東京都	25.1.15
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	第66回北日本病虫害研究発表会 発表	秋田市	25.2.14～15
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度北海道・東北地区植物防疫職員等 技術研修会	仙台市	25.2.21
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	関東東山病虫害研究会第60回研究発表会	千葉市	25.3.1
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第66回北日本病虫害研究発表会 発表	秋田市	25.2.14～15
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	薬剤抵抗性水稻病虫害対策検討会	岡山市	25.2.26
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	平成25年度日本植物病理学会大会	岐阜県岐阜大学	25.3.27～29
主査専門研究員 富永 朋之	環境部 病理昆虫研究室	第23 回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム	岐阜県岐阜大学	25.3.30
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	シンポジウム「薬剤抵抗性対策の課題と対応」	東京都	24.9.12
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第66回北日本病虫害研究発表会 発表	秋田市	25.2.14～15
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本生態学会第60回大会	静岡市	25.3.5～7

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	中央農研オープンラボ活用セミナー	つくば市	24.3.14
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	日本農薬学会第38回大会	つくば市	24.3.15～16
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	第57回日本応用動物昆虫学会大会 発表	神奈川県藤沢市	25.3.27～29
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	第17回農林害虫防除研究会新潟大会	長岡市	24.6.14～15
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	日本昆虫学会第72回大会	神奈川県町田市	24.9.15～17
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	環境保全型農業での水稲病害虫管理に関する 先進地視察研修	滋賀県(滋賀県農業 技術振興センター)	24.8.3～4
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度普及指導員等研修「環境に配慮し た病害虫防除技術」	つくば市	24.10.10～11
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	「第16回バイオロジカルコントロール協議会講演 会」および「第5回環境保全型農業シンポジウム」 共催シンポジウム	仙台市	24.11.7
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	第22回天敵利用研究会	岡山県倉敷市	24.12.12～13
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	シンポジウム「環境保全型農業と病害虫防除を 考える」	東京都	25.1.15
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	第66回北日本病害虫研究発表会 発表	秋田市	25.2.14～15
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度北海道・東北地区植物防疫職員等 技術研修会	仙台市	25.2.21～22
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	関東東山病害虫研究会第60回研究発表会	千葉市	25.3.1
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	日本生態学会第60回大会	静岡市	25.3.5～7
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	第57回日本応用動物昆虫学会大会 発表	神奈川県藤沢市	25.3.27～29
主任専門研究員 岩舘 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本土壌微生物学会2012年度大会 発表	神戸市	24.6.23～24
主任専門研究員 岩舘 康哉	環境部 病理昆虫研究室	ウリ科土壌病害視察研修	宮崎県(宮崎県総合 農業試験場)	24.7.3～5
主任専門研究員 岩舘 康哉	環境部 病理昆虫研究室	EBC研究会ワークショップ2012	神奈川県平塚市	24.9.11
主任専門研究員 岩舘 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会東北部会 発表	山形県鶴岡市	24.9.13～14
主任専門研究員 岩舘 康哉	環境部 病理昆虫研究室	第66回北日本病害虫研究発表会 発表	秋田市	25.2.14～15
技師 熊谷 親一	環境部 病理昆虫研究室	イネ籾枯細菌病にかかる技術研修	つくば市(農業環境 技術研究所)	24.10.23～24
主任主査 大友 令史	病害虫防除部 病害虫防除課	水稲害虫管理に関する先進地研修	滋賀県	24. 8. 2～4
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	日本植物防疫協会シンポジウム 「薬剤抵抗性対策の課題と対応」	東京都	24.9.12
主任 阿部 弘	病害虫防除部 病害虫防除課	園芸学会平成24年度秋季大会	福井県	24.9.22～24
主任 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	オオタバコガ防除対策先進事例研修	長野市	24.9.25～26
主任 宍戸 貴洋	病害虫防除部 病害虫防除課	第26回土壌伝染病談話会	千葉県柏市	24.9.20
主任主査 大友 令史	病害虫防除部 病害虫防除課	平成24年度革新的農業技術習得支援研修	茨城県つくば市	24.10.10～11
主任 宍戸 貴洋	病害虫防除部 病害虫防除課	農業環境技術研究所技術講習	茨城県つくば市	24.10.23～24

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任 宍戸 貴洋 主任 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	平成24年度病害虫防除所職員中央研修	横浜市	24.12.10～13
主任 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	北海道東北地区植物防疫職員等技術研修会	茨城県つくば市	25.1.10～11
部長 築地 邦晃	病害虫防除部	日本植物防疫協会シンポジウム 「環境保全型農業と病害虫防除を考える」	東京都	25.1.15
主任主査 大友 令史 外7名	病害虫防除部 病害虫防除課	北日本病害虫研究会	秋田市	25.2.14～15
主任主査 大友 令史 技師 村上 太郎	病害虫防除部 病害虫防除課	北海道東北地区植物防疫職員等技術研修会	宮城県仙台市	25.2.21～22
主任主査 大友 令史 技師 村上 太郎	病害虫防除部 病害虫防除課	日本応用動物昆虫学会大会	神奈川県藤沢市	25.3.27～29
主任主査 名久井 一樹	病害虫防除部 病害虫防除課	日本植物病理学会大会	岐阜市	25.3.27～29
主任専門研究員 齋藤 浩和	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	(株)丹波屋酪農セミナーCNCPS	帯広市	25.2.15
専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	生研センター研究報告会	埼玉県	25.3.14～15
技師 木戸場 結香	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	LIAJ酪農講演会	県内	25.3.6
主任専門研究員 佐藤 まり子	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	有機溶剤作業主任者技能講習	県内	25.2.14～15
技能員 畠山 博文	畜産研究所 総務課	チェーンソー従事者講習会	県内	25.3.14～15
主任技能員 菅原 薫 技能員 西野 聖	畜産研究所 総務課	玉掛け技能講習	県内	24.10.23～26
主任技能員 松本 徹	畜産研究所 総務課	小型移動式クレーン運転技能講習	県内	24.11.26～29
技師 大崎 翔	畜産研究所 種山畜産研究室	中央畜産技術研修(畜産物のリスク管理)	福島県	24.6.25～28
主査専門研究員 仲條 眞介	県北農業研究所 作物研究室	水稲用除草剤試験に関する研修会	茨城県牛久市 日本植物調整剤研究協会 研究所	24.4.25～26
主査専門研究員 中西 商量 主査専門研究員 仲條 眞介	県北農業研究所 作物研究室	日本作物学会東北支部	秋田県秋田市	24.6.21～22
専門研究員 田代 勇樹 専門研究員 武田 純子	県北農業研究所 園芸研究室	日本園芸学会秋期大会	福井県福井市(福井 県立大学)	24.9.21～23
次長兼作物研究室長 小菅 裕明 主査専門研究員 仲條 眞介	県北農業研究所 作物研究室	雑穀の国内生産・需要動向及び遺伝資源に関する調査	茨城県つくば市及び 東京都中央区(日本 雑穀協会)	24.10.24～25
主任専門研究員 阿部 亜希子	県北農業研究所 作物研究室	環境保全型シンポジウム	宮城県仙台市	24.11.7
所長 菊池 利行 主査専門研究員 鹿糠 美雪	県北農業研究所 園芸研究室	平成24年度土づくり研究会	東京都千代田区(全 農全国本部)	24.11.14
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	NIASシンポジウム「第5回殺虫剤抵抗性」	東京都千代田区	24.11.15
主任専門研究員 阿部 亜希子	県北農業研究所 作物研究室	地域経営推進研修	久慈市(久慈地区合 庁)	24.11.15～16



職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	岩手県植物防疫関係者研修会	花巻市	24.11.27～28
専門研究員 田代 勇樹	県北農業研究所 園芸研究室	地球温暖化委託プロジェクト成果検討会	東京都千代田区	24.12.10
上席専門研究員 藤沢 巧 主任専門研究員 阿部 亜希子	県北農業研究所 園芸研究室 作物研究室	北日本病害虫研究会	秋田県秋田市	25.2.14～15
主任専門研究員 阿部 亜希子	県北農業研究所	一戸町雑穀栽培セミナー	一戸町(一戸町役場)	25.2.26
所長 菊池 利行 次長兼作物研究室 長 小菅 裕明 主査専門研究員 仙修 眞介	県北農業研究所 作物研究室	INS第13回土づくり研究会	盛岡市(岩手大学)	25.3.6
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	日本応用動物昆虫研究会	神奈川県藤沢市(日本大学)	25.3.26～29
主査専門研究員 鹿糠 美雪	県北農業研究所 園芸研究室	日本園芸学会春期大会	東京都府中市(東京農工大学)	25.3.22～24
上席専門研究員 大里 達朗	県北農業研究所 作物研究室	生研センター新技術セミナー	埼玉県さいたま市(生研センター)	25.3.14

#### 4 所内研修等

##### (1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 熊谷 拓哉	企画管理部 研究企画室	ブレイング・マネージャー研修	人事課主催	24.8.2～3
主査専門研究員 土田 泰輔	企画管理部 研究企画室	ファシリテーションスキル養成講座	人事課主催	24.9.21
専門研究員 川代 早奈恵	技術部 作物研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	24.11.12～14
主査専門研究員 及川 耳呂	技術部 果樹研究室	ブレイング・マネージャー研修(第3期)	人事課主催	24.9.6～7
主任専門研究員 桐山 直盛	環境部 生産環境研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
主任専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	eラーニング 企業会計講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
主任専門研究員 大友 英嗣	環境部 生産環境研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
上席専門研究員 多田 典穂	環境部 病理昆虫研究室	選択研修 行政実務入門講座	人事課主催	24.9.3～4
主任 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	選択研修 経済学入門講座	人事課主催	24.10.22-23
主任専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	選択研修 交渉力向上講座	人事課主催	24.10.29-30
主任専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	選択研修 交渉力向上講座	人事課主催	24.10.29-30
上席専門研究員 佐藤 喬	環境部 生産環境研究室	選択研修 交渉力向上講座	人事課主催	24.10.29-30
主任 阿部 弘	病害虫防除部 病害虫防除課	選択研修 ファシリテールスキル養成講座	人事課主催	24.7.30
主任 吉田 雅紀	病害虫防除部 病害虫防除課	能力開発研修 「経済学入門講座」	人事課主催	24.10.23～24
専門研究員 山形 広輔	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	中堅職員研修	人事課主催	24.7.9～7.11

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主査専門研究員 西田 清	畜産研究所 種山畜産研究室	ファシリテーションスキル養成講座	人事課主催	24.7.30
主任専門研究員 小梨 茂	畜産研究所 種山畜産研究室	行政法実務入門講座	人事課主催	24.9.3～9.4
専門研究員 佐々木 康仁	畜産研究所 家畜育種研究室	政策形成実践力向上講座	人事課主催	24.9.3～9.4
主任 村上 和也	畜産研究所 種山畜産研究室	政策形成実践力向上講座	人事課主催	24.9.3～9.4
主査専門研究員 今野 一之	畜産研究所 種山畜産研究室	新任主査研修	人事課主催	24.9.12～ 9.14
主査専門研究員 児玉 英樹	畜産研究所 家畜育種研究室	ブレイング・マネジャー研修(第4期)	人事課主催	24.9.18～ 9.19
技師 木戸場 結香	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	24.9.26～ 9.28
主任 鷲田 昭雄	畜産研究所 総務課	eラーニング 企業会計講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
主任専門研究員 佐藤 洋一	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
主任専門研究員 鈴木 強史	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
専門研究員 神山 洋	畜産研究所 家畜育種研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
専門研究員 佐々木 正俊	畜産研究所 外山畜産研究室	eラーニング プレゼンテーション講座	人事課主催	24.10.9～ 12.28
主査専門研究員 増田 隆晴	畜産研究所 外山畜産研究室	コンプライアンス研修	人事課主催	24.4.27
所長 菊池 利行	県北農業研究所	新任総括課長研修	人事課主催	24.6.14～15
総務課長 高橋 啓三	県北農業研究所 総務課	新任担当課長等研修	人事課主催	24.5.14～15
専門研究員 武田 純子	県北農業研究所 園芸研究室	採用3年目職員研修	人事課主催	24.11.12～14
主査専門研究員 仲條 真介 主任専門研究員 阿部 亜希子	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング 問題発見・解決力向上講座	人事課主催	24.11.1～ 12.28
専門研究員 田代 勇樹	県北農業研究所 園芸研究室	eラーニング 企業会計講座	人事課主催	24.11.1～ 12.28
主査専門研究員 中西 商量	県北農業研究所 作物研究室	eラーニング マーケティング講座	人事課主催	24.11.1～ 12.28

## (2) 岩手県農林水産部主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
技師 田口 礼人	技術部 果樹研究室	平成24年度農林水産部新採用職員研修	農林水産部農林水産企画室主催	24.6.11～12
技師 田口 礼人	技術部 果樹研究室	平成24年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	24.7.17～24
技師 熊谷 親一	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度農林水産部新採用研修	農林水産部農林水産企画室主催	24.6.11～12
技師 熊谷 親一	環境部 病理昆虫研究室	平成24年度農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部農林水産企画室主催	24.9.24～ 10.5
技師 大崎 翔	畜産研究所 種山畜産研究室	農林水産部新採用職員農林漁家体験研修	農林水産部	24.10.9～15

## (3) 所内研修

研修会名称	所属部所・研究室	研修内容	主催	開催日
情報セキュリティ研修会	本部	情報の安全・安心10のポイント・情報セキュリティ対策 講師:研究企画室員	研究企画室	24.4.12
広報技法研修会	本部	新聞記事の見方と効果的なプレスリリースの書き方 講師:岩手日日新聞社記者	研究企画室	24.7.3
会計事務等研修会	本部	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員	総務課	①24.6.15 ②24.11.14
交通安全研修会	本部	交通安全の啓発ビデオ上映、講話 講師:北上警察署員	総務課	24.7.20
救急救命・AED操作講習会	本部	一般救命講習 講師:北上消防署員	総務課	①24.8.28 ②25.1.15
保健衛生教室	本部	「心の健康を守るために」 講師:(財)岩手県予防医学協会 臨床心理士	総務課	24.10.10
会計事務研修	畜産研究所	会計の基本原則、適正な会計事務処理の方法、経理事務処理方法等 講師:総務課員	総務課	①24.10.29 ②24.11.12
交通安全研究会	畜産研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、交通安全知識 講師:総務課長	総務課	24.9.13
社会貢献活動に係る職場研修会	県北農業研究所	国際協力活動に参加した県職員から体験を学ぶ 講師:二戸農業改良普及センター職員	総務課	24.6.29
三公所合同交通安全研修会	県北農業研究所	交通安全の啓発ビデオ上映、講話 講師:二戸警察署員	総務課	24.7.18
二戸地域誘致加工企業研修会	県北農業研究所	(株)二戸食品、日本一フード(株)	総務課	24.10.30

## 5 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
<b>【本部】</b>			
<b>[プロジェクト推進室]</b> プロジェクト推進室ゼミ	25.3.19	水稲鉄コーティング散播栽培に関する研究 (依頼研究員派遣研修報告会プレ発表) 臼井 智彦(主任専門研究員)	6 名
	25.3.19	岩手県における水稲鉄コーティング湛水直播栽培のコーティング 播種時期および播種後の水管理が苗立ちに及ぼす影響 (日本作物学会講演会プレ発表(ポスター発表)) 寺田 道一(主任専門研究員)	6 名
<b>【企画管理部】</b> 大学院派遣研究成果発表会 並びに依頼研究員研修成果 発表会	25.3.21	岩手県におけるキュウリホモシプス根腐病の発生生態と防除に関する 研究(大学院派遣) 岩館 康哉(病理昆虫研究室 主任専門研究員) 水稲鉄コーティング散播栽培に関する研究(依頼研究員) 臼井 智彦(プロジェクト推進室 主任専門研究員) トマトにおけるコビキタス環境制御技術に関する研究(依頼研究員) 藤尾 拓也(野菜花き研究室 主任専門研究員) 岩手県内各地のリンゴ園から採取したハダニ類の個体群識別(依頼 研究員) 羽田 厚(病理昆虫研究室 主任専門研究員)	36 名
<b>【技術部】</b> 技術部ゼミ	24.4.10	外部資金2次審査プレゼンテーション検討 山口 貴之(野菜花き研究室 主任専門研究員) 藤尾 拓也(野菜花き研究室 主任専門研究員)	21 名
	24.6.28	研究実施圃場の状況確認(作物研究室、果樹研究室、野菜花き 研究室) 技術部各担当(作物研究室、果樹研究室、野菜花き研究室)	24 名
	24.10.22	米食味試験パネラー適性テスト 川代 早奈恵(作物研究室 専門研究員)	26 名
<b>【環境部】</b> 環境部ゼミ	25.3.22	JICAフィリピン派遣報告 大友 英嗣(生産環境研究室 主任専門研究員)	40 名
	25.2.6	発病枝の吊り下げ接種によるリンゴ腐らん病の薬剤防除効果の検討 富永 朋之(病理昆虫研究室 主査専門研究員) マメシクイガに対する袖手薬剤の時期別防除効果. 横田 啓(病理昆虫研究室 主任専門研究員) 岩手県におけるヒメボクトウの発生状況と防除対策の確立に向けた 羽田 厚(病理昆虫研究室 主任専門研究員) 岩手県の夏秋ピーマンにおけるアカメガシワクダアザミウマ剤による アザミウマ防除効果. 多田 典穂(病理昆虫研究室 上席専門研究員)	15 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
<b>[病害虫防除部]</b> 病害虫防除部オープンゼミ	24.4.25	りんごモニリア病について 講師:岩手県植物防疫協会 事務局長 仲谷 房治 氏	20 名
	24.6.8	水稻病害について 講師:全農岩手県本部 技術主幹 武田 眞一 氏	50 名
	25.2.8	水稻細菌病について 講師:農業環境技術研究所 農業環境インベントリーセンター長 對馬 誠也 氏	50 名
<b>[畜産研究所]</b> 第1回所内セミナー(予演会)	24.5.18	パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料用米への 全量代替給与技術の確立 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員)	10 名
第2回所内セミナー(ゼミ)	24.5.25	放射線の基礎知識 佐藤 直人(家畜飼養・飼料研究室長)	27 名
第3回所内セミナー(ゼミ)	24.6.14	岩手県の監視伝染病の発生状況と留意すべき牛の伝染性疾病に ついて 鈴木 啓太(岩手県中央家畜保健衛生所 主任獣医師)	15 名
第4回所内セミナー(予演会)	24.8.27	岩手県内の黒毛和種および日本短角種集団における <i>PLAG1</i> 遺伝 多型が枝肉形質に及ぼす影響 佐藤 洋一(家畜育種研究室 主任専門研究員)	6 名
第5回所内セミナー(予演会)	25.1.29	パークシャー種における輸入トウモロコシから飼料用米への 全量代替給与技術の開発 佐々木 康仁(家畜育種研究室 専門研究員) 遺伝子発現調節による和牛肉の不飽和度向上技術の開発 神山 洋(家畜育種研究室 専門研究員)	8 名
第6回所内セミナー(予演会)	25.3.21	岩手県内の黒毛和種と日本短角種の枝肉形質における枝肉重量 佐藤 洋一(家畜育種研究室 主任専門研究員)	10 名
<b>[県北農業研究所]</b> 第1回所内ゼミ	24.7.11	試験圃場説明会	20 名
第2回所内ゼミ	24.10.30	地元野菜加工企業への視察研修 二戸市「二戸食品(株)及び(株)日本一フード」	12 名
第3回所内ゼミ	24.12.13	学会等発表報告会 中西 商量(作物研究室 主査専門研究員) 中條 眞介(作物研究室 主査専門研究員)	10 名
第4回所内ゼミ	24.3.19	先輩職員から学ぶ 講師 前所長 茂市 修平 氏	25 名



## 試験研究以外の業務概要





## VII 試験研究以外の業務概要

### 1 作物の原々種の採種

#### (1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	ひとめぼれ	3	45	農業研究センター
	いわてっこ	5	115	〃
水稻(もち)	ヒメノモチ	3	109	〃
	もち美人	2	41	〃
小麦	生産無し	—	—	—
大豆	生産無し	—	—	—

#### (2) その他原々種種子の生産

種 類	品 種	面 積(a)	採種量(g)	備考(採種場所等)
小豆	生産無し	—	—	—
りんどう	Eng	—	2.88	農業研究センター
	IHO	—	0.9	〃
	EZ	—	1.65	〃
	HO2・1・4	—	0.5	〃
	Y5・1・4	—	0.11	〃
	Job	—	1.12	〃
	Ba	—	1.06	〃

## 2 作物の原種の採種

### (1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採 種 量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稻うるち	ひとめぼれ	330	12,400	農業研究センター
	あきたこまち	100	3,600	〃
	いわてっこ	50	1,480	〃
	どんびしやり	30	820	〃
	かけはし	20	580	〃 (県北農研産)
	ササニシキ	30	1,080	〃
酒造好適米	ぎんおとめ	-	-	〃
	吟ぎんが	-	-	〃
水稻非主食用米	つぶゆたか	30	1120	〃
	つぶみのり	-	-	〃
水稻もち	カグヤモチ	-	-	〃
	ヒメノモチ	80	2,900	〃 (うち紫波町産1,500kg)
	もち美人	13	380	〃
小麦	ナンブコムギ	300	5,760	〃
	ゆきちから	150	3,240	〃
大豆	ナンブシロメ	-	-	〃
	スズカリ	-	-	〃
	リュウホウ	103	1100	〃
	ユキホマレ	-	-	〃
	コスズ	10	45	〃
	青丸くん	-	-	〃

### (2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(kg)	備考(採種場所等)
小豆	-	-	-	農業研究センター
そば	-	-	-	-
ヒエ(低アミロース)	もじゃっぺ	-	3.1	県北農業研究所

### 3 種苗等の配布

#### (1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量(kg)	配 布 先
水稻うるち (平成25年採種圃播種用)	ひとめぼれ	11580	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	あきたこまち	3,120	〃
	いわてっこ	1,480	〃
	どんびしゃり	600	〃
	かけはし	280	〃
	ササニシキ	-	-
酒造好適米 (平成25年採種圃播種用)	ぎんおとめ	20	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	吟ぎんが	60	〃
水稻非主食用米 (平成25年採種圃播種用)	つぶゆたか	220	〃
	つぶみのり	200	〃
水稻もち (平成25年採種圃播種用)	カグヤモチ	-	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ヒメノモチ	1180	〃
	もち美人	140	〃
小麦原種 (24年採種圃播種用)	ナンブコムギ	5,760	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	3,240	〃
	ネバリゴシ	-	-
	コユキコムギ	-	-
大豆原種 (24年採種圃播種用)	ナンブシロメ	215	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	スズカリ	-	-
	青丸くん	32	〃
	ユキホマレ	24	〃
	すずほのか	6	〃
	コスズ	11	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

## (2) その他種苗の配布

種 類	品 種	数 量(単位)	配 布 先
水稻新形質米等	岩手酒98号(結の香)	90(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	岩手91号	72(kg)	〃
小豆原種	岩手大納言	8(kg)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	5(kg)	〃
ヒエ原種	軽米在来(白)	0.08(kg)	〃
キビ原種	釜石16	2.50(kg)	〃
アワ原種	虎の尾	0.15(kg)	〃
	大槌10	0.50(kg)	〃
そば原種	岩手早生		配付実績無し
えだまめ原種			配付実績無し
りんどう	採種用母株(組織培養株)		
	Sen2	700(株)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	Sen2A	90(株)	〃
	採種用母株(実生苗)		
	ENG	500(本)	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	IHO	300(本)	〃
	EZ	500(本)	〃
	HO2・1・4	500(本)	〃
	Y5・1・4	200(本)	〃
	Y5・3・1	500(本)	〃
Ba	250(本)	〃	

#### 4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成25年3月31日現在)

##### (1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	923	922	567	767	699	619	637	739	732	740	613		7,958
菊安舞鶴	178	167	205	173	132	188	157	181	235	186	88		1,890
来待招福	278	196	155	239	291	249	205	275	311	373	215		2,787
金菊徳	10	5	10	3	10	0	5	0	10	47	0		100
飛良美継	135	85	43	80	15	80	301	200	196	150	157		1,442
雪乃花	216	138	412	119	70	42	107	100	102	65	133		1,504
平北勝1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
北真鶴	0	0	11	13	10	0	0	20	0	0	0		54
岩輝57	5	10	0	10	0	0	0	10	0	0	5		40
房平茂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
城乃神	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		5
第5八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
秀福安	13	23	56	22	40	10	40	22	20	30	28		304
原茂勝	0	10	0	5	0	0	5	0	0	0	0		20
純康大	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		2
桜銀次	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
大和魂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
花安勝	132	167	170	210	100	145	80	139	171	109	130		1,553
平花丸	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	15		25
月山桜	90	20	5	110	0	0	0	66	5	60	16		372
その他	5	0	15	5	70	20	20	60	73	85	41		394
計	1,995	1,743	1,651	1,756	1,442	1,353	1,557	1,812	1,855	1,845	1,441	0	18,450

##### (2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松錦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
若鯨	0	10	5	0	10	0	0	0	0	0	0		25
勝富	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
福藤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
川辰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
木川12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
慶一	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0		10
辰錦	0	10	0	0	0	0	0	0	0	5	0		15
辰福	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0		10
辰郎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
高福	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0		5
計	0	30	5	10	10	0	0	0	0	10	0	0	65

## 5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成25年3月31日現在)

### (1) 種豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(頭)	雄(頭)	計(頭)	
L	1	0	1	県内養豚農場
B	12	4	16	県内養豚農場
LW	0	0	0	
計	13	4	17	

### (2) 種鶏等の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計(羽)	
南部かしわ雛	4,872	611	5,083	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他

## 6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成25年3月31日現在)

### (1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	55	1	50	106

### (2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	15	1	5	16

**人事、予算、財産**





## Ⅷ 人事、予算、財産

### 1 岩手県農業研究センター予算 (H24年度・2月現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
<b>【農業費】</b>		
人件費(本部・県北)		745,493
庁舎管理費(本部)		107,271
ほ場管理費(本部)		50,442
ふれあい公園管理運営費		14,631
庁舎管理費(県北)		26,715
ほ場管理費(県北)		2,233
試験研究費(国庫、委託試験等)		96,088
(1)植物防疫研究費	11,928	
(2)土壌対策研究費	4,064	
(3)外部資金等農業試験研究費	80,096	
高生産性農業新技術開発促進研究費(県単研究費)		22,156
主要農作物採種管理費		18,579
令達事業(本部)		
令達事業(県北)		
合 計		1,083,608
<b>【畜産業費】</b>		
人件費(畜産)		431,464
庁舎管理費		67,894
飼育管理費		110,594
管理運営費(種山畜産研究室分)		115,190
試験研究費(国庫、委託試験等)		11,784
農業関係試験研究委託事業	11,784	
高生産性畜産新技術開発促進研究費(県単研究費)		17,662
令達事業		
合 計		754,588
合 計		1,838,196

## 2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H25.3.31現在)

### (1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)							建物(m <sup>2</sup> )		
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	28	21		79	16	23	118	73	27,776
北 上	26	18	21		65		18	84	32	19,198
<b>【主な施設面積(内数)】</b>										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	17	13	3,431
南部園芸研究室		1			1		0	2	—	—
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,306
その他		8			8		0	8	3	841
畜産研究所		136		1,535	1,671	399	38	2,108	181	36,427
滝沢(本所)		68		14	82	50	33	165	124	23,299
外山畜産研究室		6		1,471	1,477	241	5	1,722	42	6,676
種山畜産研究室		63		50	112	108	0	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	17	8,083
合 計	31	175	21	1,535	1,763	415	69	2,246	271	72,286

### (2) 飼養家畜頭数 (H25.2.1現在)

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		56	56	ホルスタイン種 89
	育成牛(子牛含む)		33	33	
肉用牛	(滝沢)	88	41	129	黒毛和種 33、日本短角種 83、交雑種 13
	(外山)	24	187	211	
	(種山)	95	54	149	
		(雄36, 去勢52)	(雄10, 去勢14)	(雄63, 去勢32)	
牛 計		207	371	578	
豚	種豚	16	29	45	<b>【種豚の内訳】</b> パークシャー種 31、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 8、大ヨークシャー種 1、デュロック種 1、雑種 4
	その他	79	80	159	
	計	95	109	204	
鶏	種鶏	492	1,381	1,873	岩手地鶏 266、岩手大型ロード 296、基礎鶏 352、ホワイトロックロード 602、軍鶏 292、ホワイトロック 65

### 3 種苗登録、特許等

#### (1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて	第 311号	S52. 9. 7	育成者権消滅
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	〃
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	〃
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	〃
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	〃
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	〃
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	育成者権放棄
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	育成者権消滅
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	品種登録取消
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権放棄
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	品種登録取消
大豆	ちゃげ丸	第11,099号	H15.3.17	
大豆	ぷっくらこ	第11,100号	H15.3.17	
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	
きく	アイمامアアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	
りんご	紅いわて	第18,415号	H21. 9.10	
りんどう	いわて夢あおい	第18,762号	H22. 1.14	
りんどう	ももずきんちゃん	第20,210号	H23. 1.25	
りんどう	いわてDPB1号	第20,345号	H23. 2.15	
稲	かぐやの舞	第20,350号	H23. 2.15	
稲	つづみ星	第20,351号	H23. 2.15	
稲	つづみのり	第20,535号	H23. 3. 9	
稲	あけのむらさき	第20,710号	H23. 3.18	
稲	吟さやか	第20,711号	H23. 3.18	
稲	ゆきおとめ	第20,712号	H23. 3.18	
稲	つづゆたか	第20,716号	H23. 3.18	
ひえ	ねばりっこ1号	第21,577号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ2号	第21,578号	H24. 3. 9	
ひえ	ねばりっこ3号	第21,579号	H24. 3. 9	
りんご	大夢	第22,369号	H25. 3. 6	
ぶどう	エーデルロツソ	第22,547号	H25. 3. 25	
りんどう	いわて夢みのり	出願番号第26,503号	出願(H23.11.30)	
稲	結の香	出願番号第27,277号	出願(H24. 8. 6)	
りんどう	いわて夢みつき	出願番号第27,278号	出願(H24. 8. 6)	
稲	岩手91号	出願番号第27,998号	出願(H25. 3.15)	

## (2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8) ※H22. 3.19存続期間満了
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の育成状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特開2010-124775(H22. 6.10)	4854045(H23.11. 4)
りんごの鮮度保持用包装袋及びりんごの保存方法	特開2010-163197(H22. 7.29)	(公開・審査請求中)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特開2010-227008(H22.10.14)	4900735(H24. 1. 13)
樹皮繊維培土の製造方法及び樹皮繊維培土	特開2012-24006(H24. 2. 9)	5013558(H24. 6.15)

## (3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 大里 達朗)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.3.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)
園芸畑作施肥設計支援シート	平成24年 2月 7日	ver.1.0	生産環境研究室 (主任専門研究員 大友 英嗣)

4 表彰

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)			表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(内部表彰) 事績顕著者表彰 (岩手県知事表彰)	畜産研究所 畜産課推薦	種山畜産研究室	機関表彰		黒毛和種優良種雄牛の造成とその普及推進	24.10.31
(内部表彰) 農林水産部長表彰	畜産研究所 ※グループ ○印はリーダー、以下同じ	種山畜産研究所	次長兼室長 主任 主査専門研究員 主査専門研究員 主任専門研究員 技師	○菊池 雄 村上 和也 西田 清 今野 一之 小梨 茂 大崎 翔	全国和牛能力共進会における上位入賞	25.3.25
	県南家畜保健衛生所 畜産課 畜産研究所 ※グループ 県南家保推薦	家畜育種研究室	上席獣医師 主査 室長	○北川 睦 長谷川 和弘 熊谷 光洋	牛肉中放射性物質濃度の生体推定	25.3.25
(内部表彰) 平成24年度第1回 農業研究センター 所長表彰 (通算21回)	企画管理部 経理事務検討チーム ※グループ	総務課 総務課 総務課 研究企画室 研究企画室	主任主査 主査 主事 室長 主査専門研究員	○吉田 勝 茨島 あゆみ 佐々木あき子 泉川 澄男 土田 泰輔	新たな経理システムの構築により予算執行の管理手法を改善	24.7.31
	技術部	作物研究室	主査専門研究員	日影 勝幸	効果が高い水稲除草剤の選定により水稲の安定生産に貢献	
	技術部	野菜花き研究室	主査専門研究員	星 伸枝	リンドウ越冬芽を用いた超低温保存法を開発	
	環境部	生産環境研究室	専門研究員	高橋 彩子	乾田直播栽培技術マニュアル(プラウ耕・グレーンドリル播種体系)の制作	
	環境部	病理昆虫研究室	主任専門研究員	羽田 厚	りんご害虫シンクイムシ類識別用PCRプライマーの開発	
	病虫害防除部 ※グループ	病虫害防除課	主任 主任	○吉田 雅紀 加藤 清吾	的確な予察、防除指導によりオオタバコガ被害を軽減	
(内部表彰) 平成24年度第2回 農業研究センター 所長表彰 (通算22回)	プロジェクト 推進室 ※グループ		上席専門研究員 主任専門研究員 主任専門研究員	○高橋 昭喜 寺田 道一 臼井 智彦	新たな作溝装置及び関連技術の開発による水稲湛水直播栽培での多収実証	25.2.20
	企画管理部 ※個人	農業経営研究室	主任専門研究員	松浦 貞彦	岩手県生産技術体系の整備と営農計画作成ツールを開発	
	環境部 技術部 環境部 ※グループ 圃場管理委員会 有機資源循環 担当グループ	生産環境研究室 プロジェクト推進室 果樹研究室 " " " 生産環境研究室 "	室長 主任技能員 主任技能員 技能員 技能員 技能員 主任技能員 技能員	○小林 卓史 菅野 輝彦 菊地 徳章 西野 哲仁 小黒澤 清人 中軽米 徳典 佐藤 広昭 猪澤 哲哉	有機質資源を有効活用した堆肥生産業務の工夫・改善	
	技術部 ※個人	果樹研究室	技師	田口 礼人	ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」の短梢せん定技術を開発	
	技術部 ※個人	野菜花き研究室	上席専門研究員	漆原 昌二	点滴かん水を利用した露地ピーマンのリン酸減肥技術を開発	
	技術部 企画管理部 環境部 ※グループ	南部園芸研究室 農業経営研究室 生産環境研究室	室長 主査専門研究員 主任専門研究員	○佐々木 裕二 山田 修 小田島 雅	イチゴ高設栽培システムの普及により被災地域の園芸振興に貢献	
	環境部 ※個人	生産環境研究室	主任専門研究員	大友 英嗣	カリ施用による大豆子実中の放射性セシウム低減効果を解明	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	主任専門研究員	横田 啓	水稲出穂期以降のアカスジカスミカメの防除対策	
	環境部 ※個人	生産環境研究室	主任専門研究員	桐山 直盛	牧草地除染のためのカリ施用効果を解明	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	上席専門研究員	多田 典徳	天敵製剤と物理的防除技術による果菜類の防除対策	
	環境部 ※個人	病理昆虫研究室	主任専門研究員	岩舘 康哉	キュウリ黒星病に対するきゅうり品種の抵抗性を解明	
	病虫害防除部 ※グループ	病虫害防除課	主任主査 主任主査	○大友 令史 名久井 一樹	的確な予察、防除指導によりりんごのカメモシ被害を回避	

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日	
(内部表彰) 平成24年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算9回)	畜産研究所 ※個人	総務課	主任主査	菅原 宣年	放射能汚染対応に係る予算要求とりまとめと懸案の支障木の伐採に貢献	25.3.19	
	畜産研究所 ※個人	総務課	運転技士 兼技能員	吉田 正弘	長年にわたる公用車の安全運行と自家水道設備の適切な維持管理による水の安定供給に貢献		
	畜産研究所 ※個人	家畜育種研究室	室長	熊谷 光洋	スペクトロサラーバイメータによる「と畜生体検査」体制の確立と制度の高い検査の実施に貢献		
	畜産研究所 ※個人	家畜育種研究室	主査専門研究員	児玉 英樹	牛白血病の蔓延防止体制の確立に貢献		
	畜産研究所 ※個人	家畜育種研究室	主任専門研究員	佐藤 洋一	遺伝性乳頭異常検査や改良指標に有用なDNAマーカーを活用し、本県肉用牛集団の枝肉形質や美味しさに関する遺伝的特徴を解明		
	畜産研究所 ※個人	総務課	主任技能員	関村 武志	長年にわたる鶏の品種改良と飼養管理技術の確立に貢献するとともに、「人工授精」「孵卵・育雛管理」「選抜」等の卓越した技能を後進に継承		
	畜産研究所 ※個人	家畜飼養・飼料研究室	室長	佐藤 直人	原発事故による汚染牧草の除染を推進するとともに、国内で初めて再除染対策を盛り込んだ「岩手県牧草地除染マニュアル」の策定に貢献		
	畜産研究所 ※グループ	家畜飼養・飼料研究室	主任専門研究員	○伊藤 孝浩	原発事故による放射能汚染のため利用自粛が要請された所内牧草地において、土壌の反転や攪拌作業等の実施により許容値を下回る平成並みの粗飼料生産を実現し、汚染牧草の処分に貢献		
			主任専門研究員	佐藤 まり子			
			専門研究員	山形 広輔			
			総務課	主任技能員			工藤 明彦
			総務課	主任技能員			松本 徹
			総務課	主任技能員			菅原 薫
			総務課	技能員			畠山 博文
	畜産研究所 ※個人	総務課	主任技能員	石川 勝美	長年にわたり「イワテハヤチネ」など豚の系統造成及び乳牛飼養技術の向上に貢献		
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	主査専門研究員	○増田 隆晴	原発事故による放射能汚染により利用自粛が要請された外山の放牧・採草地の除染に貢献		
			主任技能員	竹田 政則			
			技能員	鳴海 茂樹			
			非常勤専門職員	藤原 時夫			
	畜産研究所 ※グループ	外山畜産研究室	専門研究員	○佐々木 正俊	牛舎での除糞や石灰散布等により、衛生環境を改善し、下痢・呼吸器関係の発症頭数と発症率の低下に貢献		
主任技能員			荒木田 俊一				
非常勤職員			室坂 光榮				
期限付臨時職員			八重畑 功				

表彰名称(表彰団体)	表彰の対象者(組織)				表彰の対象となった事績内容	表彰年月日
(内部表彰) 平成24年度第1回 農業研究センター 畜産研究所長表彰 (通算9回)	畜産研究所 ※個人	種山畜産研究室	主査専門研究員	今野 一之	第10回全国和牛能力共進会長 崎大会における絹美継号の第2 位の受賞において、牛の飼養・ 栄養管理、疾病予防対策及び 調教に貢献	25.3.19
	畜産研究所 ※グループ	種山畜産研究室	次長兼室長	○菊池 雄	第10回全国和牛能力共進会に おいて、絹美継号の第2位と、 出品団体としての第5位という快 挙を果たし、県内の家畜市場の 活性化や肉牛生産者の意欲向 上に貢献	
			主査専門研究員	西田 清		
			主査専門研究員	今野 一之		
			主任専門研究員	小梨 茂		
技師	大崎 翔					
(内部表彰) 平成24年度第1回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算5回)	県北農業研究所 ※個人	総務課	主任主査	竹澤 秀典	生き倒れ者発見時に適切に対 処	24.8.27
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	主査専門研究員	仲條 眞介	公舎管理と地域活動に貢献	
(内部表彰) 平成24年度第2回 農業研究センター 県北農業研究所長 表彰 (通算6回)	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	主査専門研究員	中西 商量	アワ、キビの移植栽培における 移植時期と適する栽培密度の 解明	25.2.19
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	主査専門研究員	仲條 眞介	粒が黄色く大きい短稈・多収の 糯アワ新品種「アワ岩手糯3号」 の育成	
	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	主査専門研究員	鹿糠 美雪	県北地域におけるりんどう「いわ て夢あおい」露地トンネル栽培 の不織布被覆期間及びその効 果の解明	
	県北農業研究所 ※個人	作物研究室	主任専門研究員	阿部 亜希子	ヒエを加害するイネヨトウの越冬 世代羽化消長とBT剤による防 除時期の解明	
	県北農業研究所 ※個人	園芸研究室	専門研究員	武田 純子	ほうれんそう産地における土壌 中の硫酸イオン蓄積の実態と蓄 積要因の解明	
	県北農業研究所 ※グループ	作物研究室	主査専門研究員	中西 商量	新規雑穀機械化栽培の普及に 向けた作業機械の提供及びオ ペレーター活動等の支援	
総務課		運転技師兼技能 員	日山 千代司			



5 職員名簿

(平成25年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名
<b>所長</b>	<b>高橋伸夫</b>	主査専門研究員	高橋智宏
<b>副所長</b>	(欠員)	主査専門研究員	日影勝幸
<b>プロジェクト推進室長</b> 〔水田農業チーム〕	<b>扇良明</b>	主任専門研究員	伊藤信二
上席専門研究員(総括)	高橋昭喜	<b>野菜花き研究室長</b>	<b>本田純悦</b>
主任専門研究員	寺田道一	〔野菜チーム〕	
主任専門研究員	臼井智彦	上席専門研究員(総括)	漆原昌二
主任専門研究員	藤田智美	主任専門研究員	高橋拓也
主任技能員	菅野輝彦	主任専門研究員	山口貴之
<b>企画管理部長</b>	<b>前田一人</b>	主任専門研究員	藤尾拓也
<b>研究企画室長</b>	<b>泉川澄男</b>	〔花きチーム〕	
〔企画チーム〕		上席専門研究員(総括)	藤原一道
主査専門研究員(総括)	熊谷拓哉	主査専門研究員	星伸枝
主査専門研究員	土田泰輔	主任専門研究員	赤坂志保
主任専門研究員	伊勢智宏	主任専門研究員	中里崇
主任専門研究員	沼田芳宏	<b>南部園芸研究室長</b>	<b>佐々木裕二</b>
<b>農業経営研究室長</b>	<b>小野寺郁夫</b>		
〔経営チーム〕		<b>環境部長</b>	<b>木内豊</b>
上席専門研究員(総括)	及川浩一	<b>生産環境研究室長</b>	<b>小林卓史</b>
主査専門研究員	山田修	〔環境チーム〕	
主任専門研究員	土澤一博	上席専門研究員(総括)	佐藤喬
主任専門研究員	松浦貞彦	主任専門研究員	桐山直盛
<b>主幹兼総務課長</b>	<b>澤口総一</b>	主任専門研究員	大友英嗣
〔総務チーム〕		主任専門研究員	小田島雅
主任主査(総括)	吉田勝	専門研究員	高橋彩子
主査	茨島あゆみ	主任技能員	佐藤広昭
主事	佐々木あき子	技能員	猪澤哲哉
〔管理チーム〕		<b>病理昆虫研究室長</b>	<b>一守貴志</b>
主査(総括)	加藤泰彦	〔病理チーム〕	
主任	高橋俊也	主査専門研究員(総括)	富永朋之
<b>技術部長</b>	<b>及川一也</b>	主任専門研究員	岩館康哉
<b>果樹研究室長</b>	<b>小原繁</b>	技師	熊谷親一
〔果樹チーム〕		〔昆虫チーム〕	
主査専門研究員(総括)	及川耳呂	上席専門研究員(総括)	多田典穂
主査専門研究員	川守田真紀	主任専門研究員	羽田厚
主任専門研究員	畠山隆幸	主任専門研究員	横田啓
技師	田口礼人	<b>病害虫防除部長</b>	<b>築地邦晃</b>
主任技能員	菊地徳章	<b>病害虫防除課長</b>	<b>田中英樹</b>
技能員	西野哲仁	〔予察・防除チーム〕	
技能員	小黒澤清人	主任主査(総括)	大友令史
技能員	中軽米徳典	主任	阿部弘
<b>作物研究室長</b>	<b>佐々木力</b>	主任	宍戸貴洋
〔水稲育種チーム〕		技師	村上太郎
上席専門研究員(総括)	菅原浩視	〔農薬指導チーム〕	
主査専門研究員	野々上慈徳	主任主査(総括)	名久井一樹
専門研究員	小館琢磨	主任	加藤清吾
専門研究員	川代早奈恵	主任	吉田雅紀
〔作物栽培・種子チーム〕			
上席専門研究員(総括)	小綿寿志		

職名	氏名	職名	氏名
<b>畜産研究所長</b>	<b>高橋喜和夫</b>	<b>外山畜産研究室長</b>	<b>長内幸一</b>
次長	袴田尚武	主査専門研究員	増田隆晴
次長	山田和明	主査専門研究員	太田原健二
次長	菊池雄	専門研究員	佐々木正俊
<b>主幹兼総務課長</b>	<b>大峠英光</b>	主任技能員	荒木田俊一
主任主査	菅原宣年	主任技能員	竹田政則
主任	鷺田昭雄	技能員	鳴海茂揮
運転技士兼技能員	吉田正弘	<b>種山畜産研究室長 (次長兼務)</b>	<b>菊池雄</b>
主任技能員	関村武志	主査専門研究員	西田清
主任技能員	石川勝美	主査専門研究員	今野一之
主任技能員	小林雄二	主任専門研究員	小梨茂
主任技能員	米澤健治	主任	村上和也
主任技能員	右京隆二	技師	大崎翔
主任技能員	工藤明彦	主任技能員	斎藤和一
主任技能員	上野由克	主任技能員	佐藤洋貴
主任技能員	菅原薫	主任技能員	中村健
主任技能員	永洞俊司	技能員	後藤克明
主任技能員	細野貴樹	<b>県北農業研究所長</b>	<b>菊池利行</b>
主任技能員	松本徹	次長	小菅裕明
技能員	水澤博征	<b>総務課長</b>	<b>高橋啓三</b>
技能員	鷺見義信	主任主査	竹澤秀典
技能員	畠山博文	運転技士兼技能員	日山千代司
技能員	上澤賢輝	技能員	清水賢一
技能員	谷地館透	技能員	藤根寛道
技能員	葉木澤一也	<b>園芸研究室長</b>	<b>(欠員)</b>
技能員	荒屋康之	上席専門研究員	藤沢巧
技能員	西野聖	主査専門研究員	鹿糠美雪
<b>家畜育種研究室長</b>	<b>熊谷光洋</b>	専門研究員	田代勇樹
主査専門研究員	佐々木睦美	専門研究員	武田純子
主査専門研究員	児玉英樹	<b>作物研究室長(次長兼務)</b>	<b>小菅裕明</b>
主任専門研究員	佐藤洋一	上席専門研究員	大里達朗
専門研究員	鈴木強史	主査専門研究員	中西商量
専門研究員	佐々木康仁	主査専門研究員	仲條眞介
専門研究員	神山洋	主任専門研究員	阿部亜希子
<b>家畜飼養・飼料研究室長</b>	<b>佐藤直人</b>		
主任専門研究員	佐藤まり子		
主任専門研究員	伊藤孝浩		
主任専門研究員	齋藤浩和		
専門研究員	山形広輔		
技師	木戸場結香		

# 東日本大震災津波への対応



## Ⅸ 東日本大震災津波への対応

### 1 農業研究センター復旧・復興支援プロジェクトチームの活動

(1)地域の復旧・復興対策会議等への対応

会議の名称	主催者	開催回数	延べ対応者数
災害復興営農対策会議	大船渡地方農業振興協議会	5	12

(2)復旧支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
津波被災地の園芸復興支援(陸前高田市、大槌町)	25	30
塩害土壌モニタリング及び断面調査	2	4

(3)復興支援業務の実施

業務内容	実施日数	延べ対応者数
山田町 大豆小畦立て播種実証圃の設置(宮古農業改良普及センター)	1	3
釜石大槌地域 ソバ小畦立て播種技術支援(釜石地域農業技術サポート会議)	2	4
野田村被災地(仮設住宅)へのボランティア活 プランター作成(花苗等更新)	1	8

### 2 放射性物質に係る農業技術対策調査検討チームの活動

業務内容	実施日数	延べ対応者数
本部		
放射性物質調査に係る野菜サンプリング	5	7
農作物および土壌における放射性物質のモニタリング調査	120	600
大豆の放射性セシウム吸収抑制対策現地試験	16	80
基準超過したそばの要因調査	5	10
基準値を超過した大豆の要因調査	4	12
牧草のコンテナ栽培によるセシウム吸収に関する基礎試験	120	360
畜産研究所		
原乳放射線測定	27	108
牧草等放射線検査 24年4月2日～25年3月29日	220	400
廃用牛の生体推定検査のための予備調査・検討	18	21
測定器遮蔽体作成および測定能力調査	12	12
廃用牛の生体推定検査(岩手畜産流通センター)24年10月1日～25年3月25日	23	23

※本部の実施日数、延べ対応者数は中央農業改良普及センター(県域)を含む

### 3 復旧・復興支援の取組み紹介(農業研究センター主催含む)

会議等の名称	主催者	研究室名	発表者職・氏名	参加者数(人)
INS第13回土づくり研修会	INS土づくり研究会	南部園芸研究室 生産環境研究室	室長 佐々木 裕二 主任専門研究員 桐山 直盛	50
大船渡農業振興協議会総会	大船渡農業振興協議会	南部園芸研究室	室長 佐々木 裕二	30



# 沿革





## X 沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。  
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫部(5部制)を新設。  
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。  
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。  
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。  
農業試験場畜産部を種畜場と併設。  
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。  
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。  
農業試験場に遠野試験地が国から移管。  
農業試験場に農業経営研究部門設置。  
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産)。  
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。  
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。  
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。  
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。  
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病害虫科、経営部:経営科・流通経済科)。  
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。  
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。  
園芸試験場に環境部を設置。  
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。  
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。

昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病虫害部を新設し、病虫害防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病虫害防除課県北農業研究所駐在を廃止、病虫害防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。
平成23年	プロジェクト推進室を1プロジェクト体制、技術部園芸研究室を果樹研究室と野菜花き研究室に再編整備。 技術部南部園芸研究室(陸前高田市)が東日本大震災で被災し、研究員は本部勤務で研究を継続。

< 所 在 >

<b>岩手県農業研究センター</b>		
<b>本 部</b>	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ <a href="http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/">http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/</a> Email : CE0008@pref.iwate.jp (本部) Email : CE0001@pref.iwate.jp (病虫害防除所)
<b>畜産研究所</b>	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 Email : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市玉山区藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 Email : CE0034@pref.iwate.jp
<b>県北農業研究所</b>	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 Email : CE0009@pref.iwate.jp

**平成 24 年度 岩手県農業研究センター年報**

平成 25 年 10 月発行

**岩手県農業研究センター**

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL (0197) 68-2331 FAX (0197) 68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan